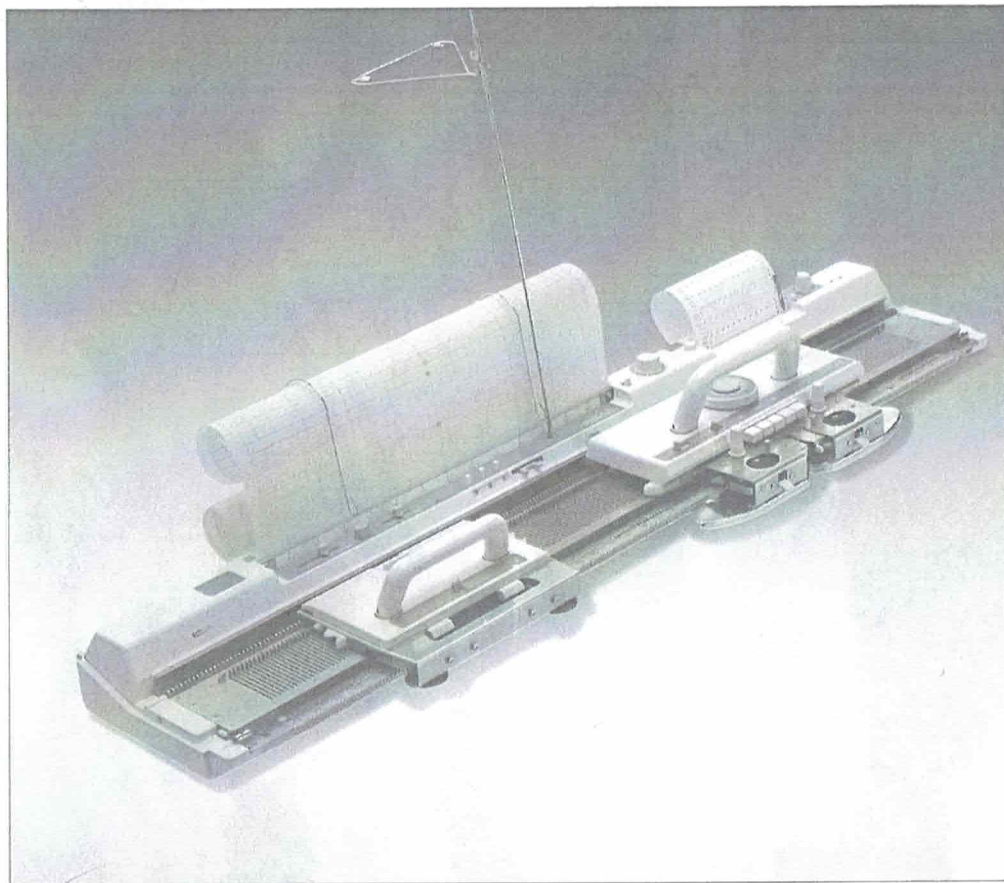


brother



ブラザー編機

palie A
パリエエース

KH-891

取扱説明書



お買い上げまことにありがとうございます。この製品のすばらしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この《取扱説明書》を最後までよくお読みください。

お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。



ニットの基本、
平編のプルオーバー

パリエはあなただけの
おしゃれなニットイングライフをお約束します。

配色を楽しむ
同時編込のプルオーバー



楽しんで編む
ワンポイント模様ベスト



編地の立体感が魅力。
タック模様のタンクトップ

美しく繊細な
レース編のカーディガン

もくじ

模様編集..... 1~8

編機操作

編物の組み立て方..... 9~10
各部の名称とはたらき..... 11~14
編む前の知識..... 15~16
基本操作..... 17~20
模様編の編み方..... 21~46
副袋のしまい方..... 47~48

作品を編む前に

編ゲージ..... 49
編ゲージの作り方..... 50~52
編ゲージの測り方..... 53~54
編ゲージのセットのしかた..... 53~55
シートへのパターンの写し方..... 55~56
シートのセットのしかた..... 57~58
編目スケールの目盛りの読み方..... 57~58

編物知識

ウツシの使い方・タツビの使い方..... 59~60
編目の増し方..... 59~60
編目の減らし方..... 61~62
引返し編(平編・模様編の場合)..... 63~64
(レース・タックレース編の場合)..... 65~66
編出しを使わずに編み始める方法..... 67~68
なわ編(交差模様)・ひも編..... 67~68

こんなときには

編んでいる途中でKキャリジが
動かなくなったときには..... 69~70
編んでいる途中でLキャリジが
動かなくなったときには..... 71~72
編針が曲がったときには..... 73~74
Kキャリジをカラ送りするには..... 73
編目があちてしまったときには
(編目の扱い方)..... 74

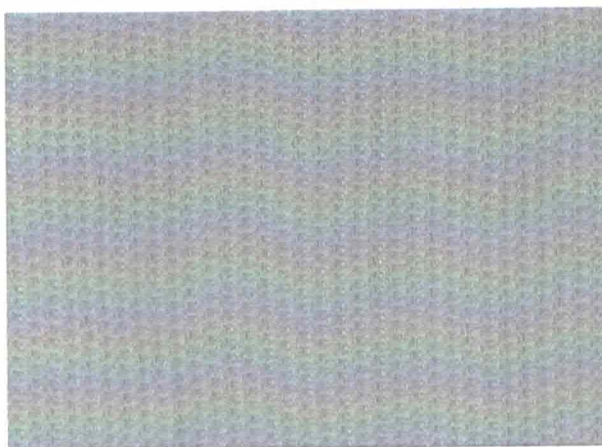
お手入れ..... 75

編目スケールを段方向(段数)に使うときの早見表..... 76

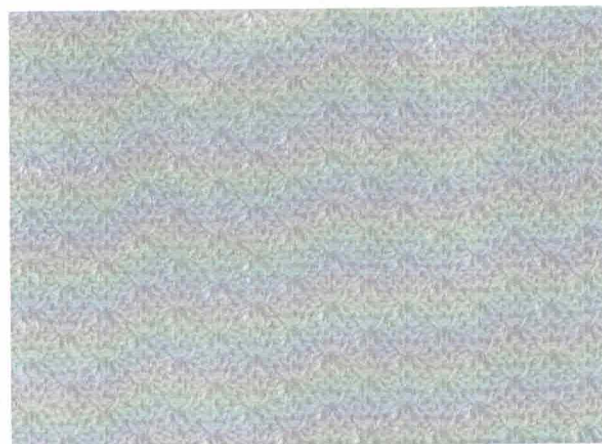
イメージデザイン / 増田泰子

模様編集

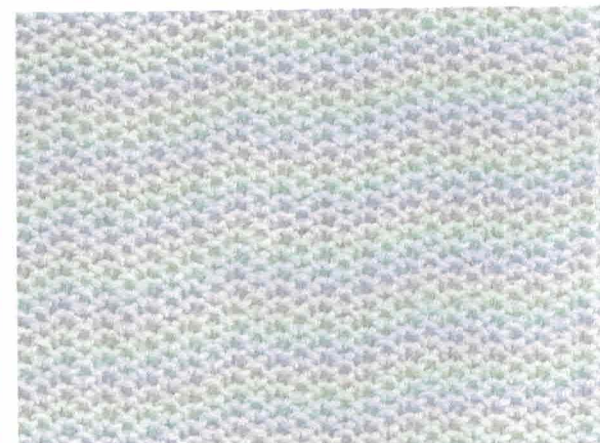
タツク模様 利用できるカード：No1_K, 2_K, 3_K, 7_K, 8_K



カードNo1_K

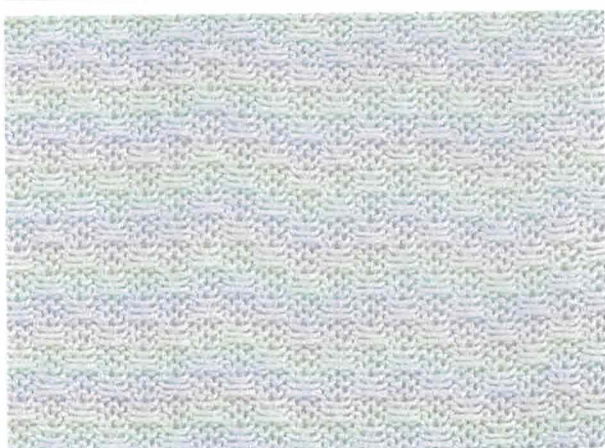


カードNo2_K

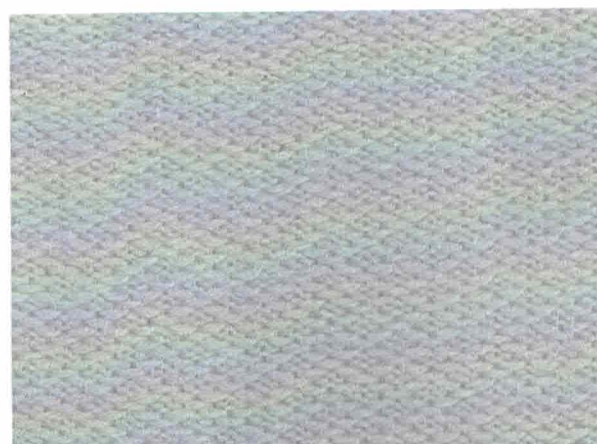


カードNo3_K

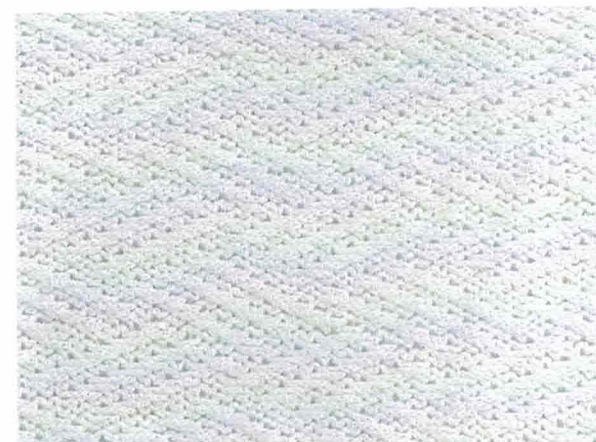
すべり目模様 利用できるカード：No1_K, 2_K, 3_K, 5_K, 7_K, 8_K, 11_K



カードNo2_K

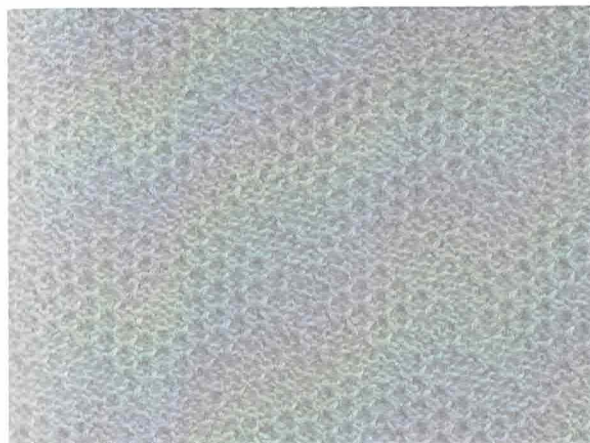


カードNo3_K



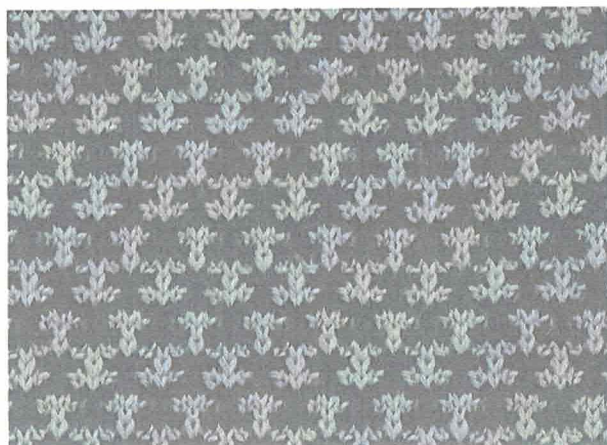
カードNo5_K

編み方25ページ



カードNo.7_k

配色タック模様 利用できるカードは、タック模様と同じです。



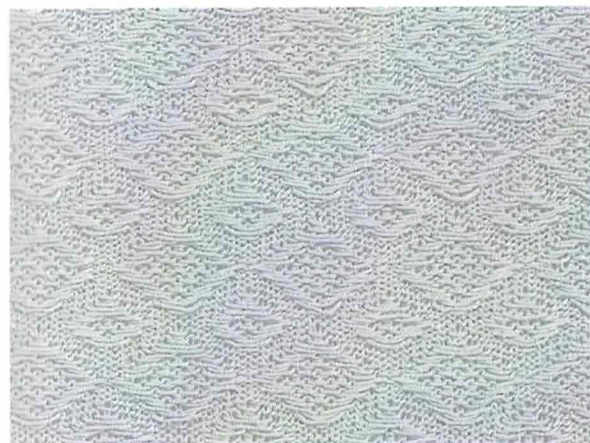
カードNo.2_k

編み方26ページ



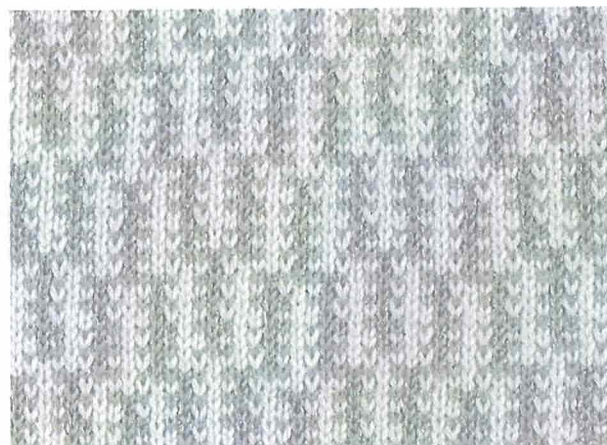
カードNo.3_k

編み方25ページ



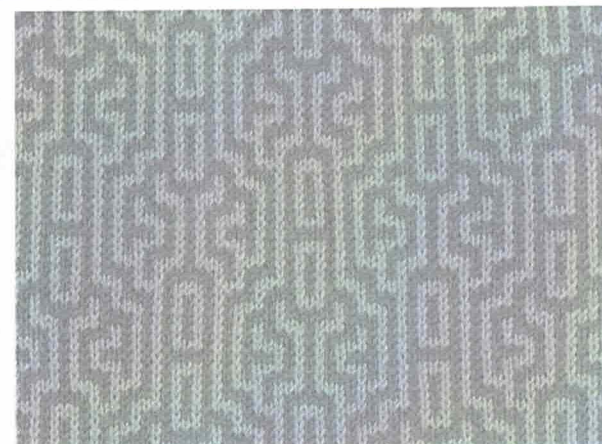
カードNo.11_k

配色すべり目模様 利用できるカードは、すべり目模様と同じです。



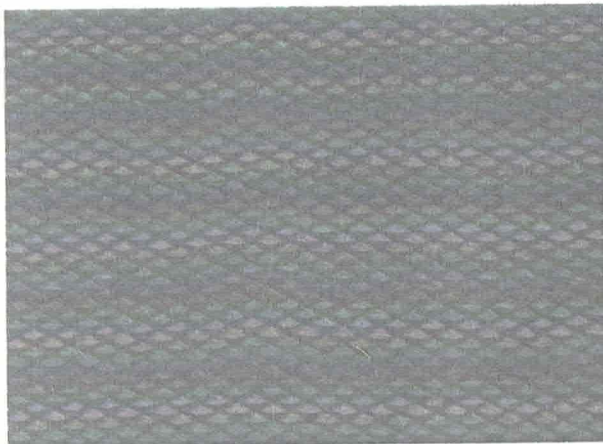
カードNo.5_k

編み方26ページ

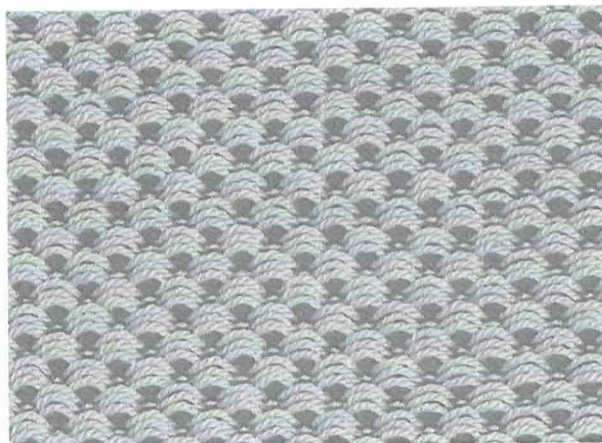


カードNo.7_k

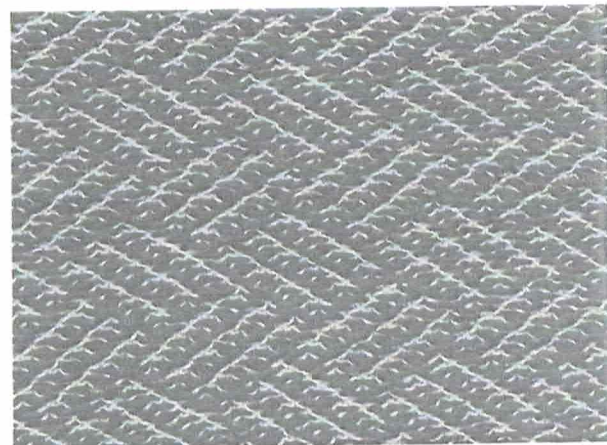
スレッド模様 利用できるカード：No1_K, 2_K, 3_K, 5_K, 7_K, 8_K, 11_K, 12_K



カードNo1_K



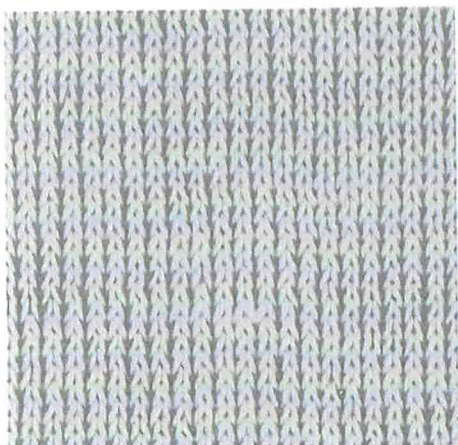
カードNo2_K



カードNo5_K

添え糸模様

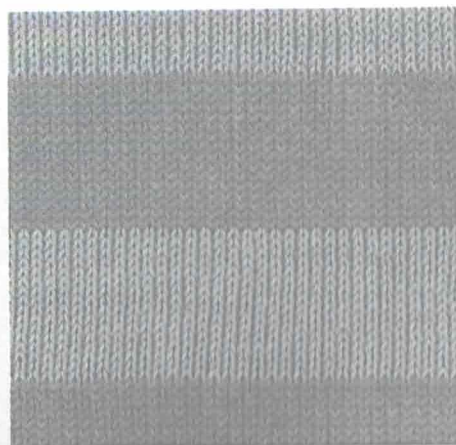
編み方41ページ



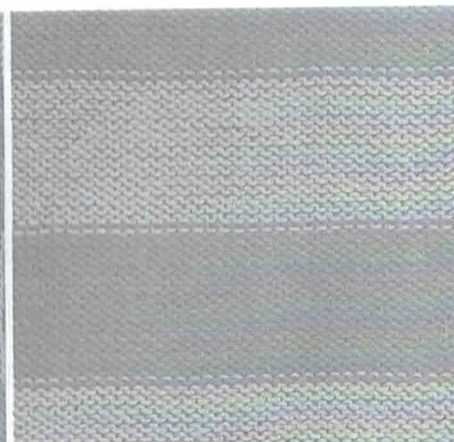
表



裏



表



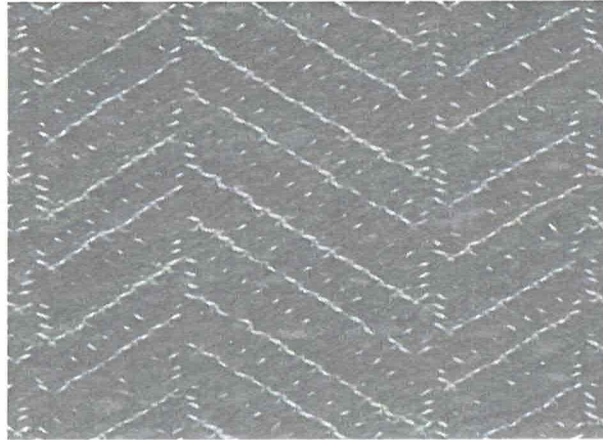
裏

編み方27ページ

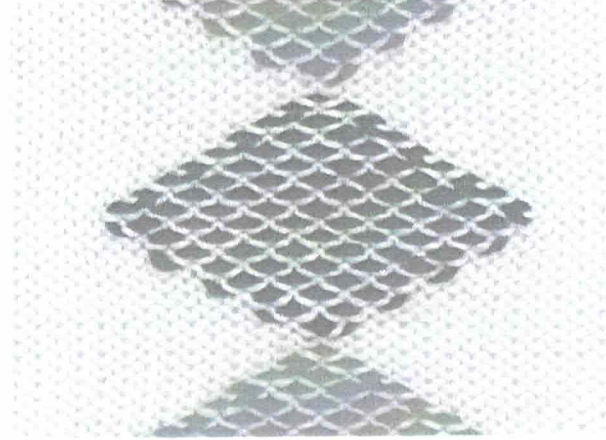
ポイント・スレッド模様 利用できるカード：No1k 28ページ



カードNo7k



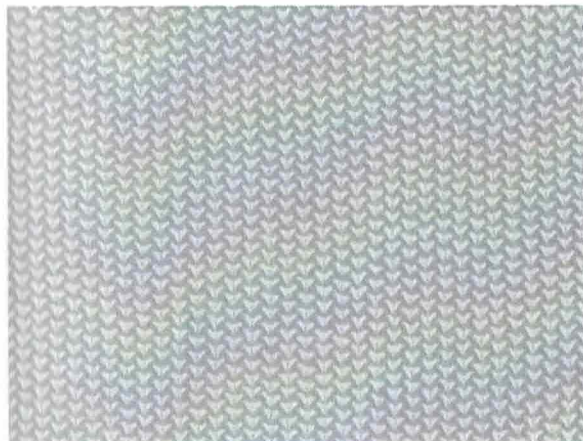
カードNo12k



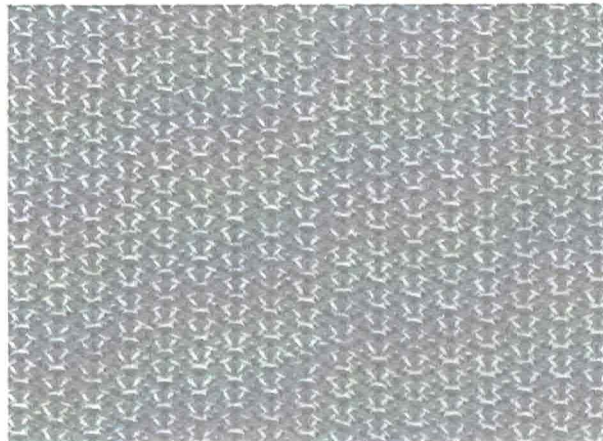
カードNo1k

糸タック模様 利用できるカード：No1k, 3k, 8k

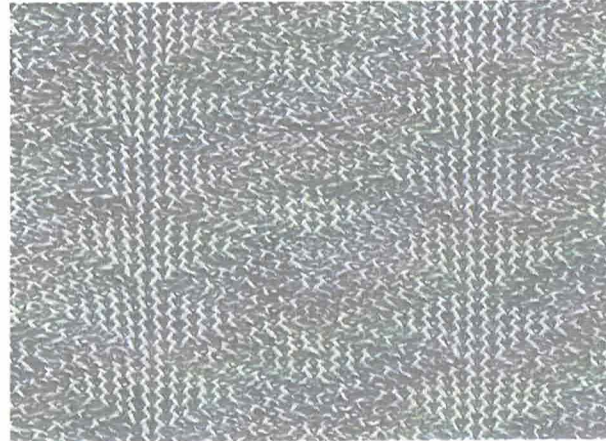
編み方43ページ



カードNo1k
裏

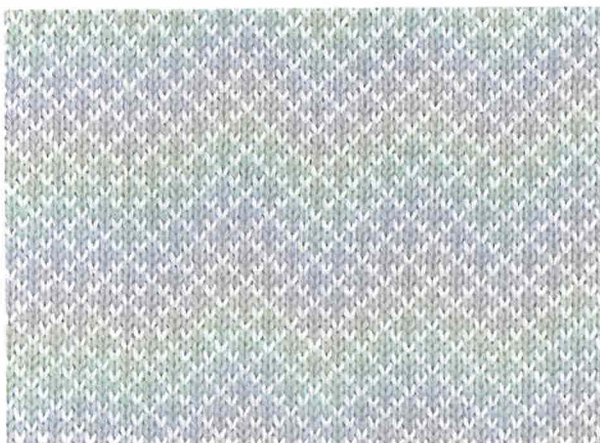


カードNo3k
裏

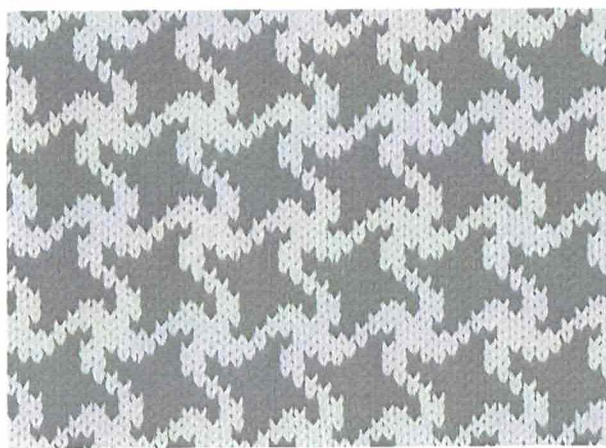


カードNo8k
裏

同時編込模様 利用できるカード：No1_k, 2_k, 3_k, 4_k, 5_k, 6_k, 7_k, 8_k, 9_k, 10_k, 11_k, 12_k, 13_k, 14_k, 15_k



カードNo3_k

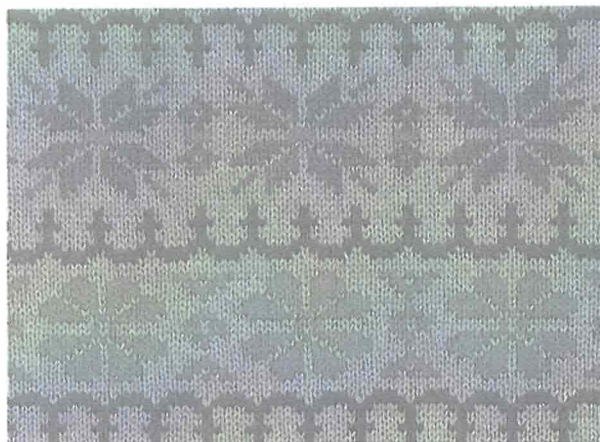


カードNo4_k



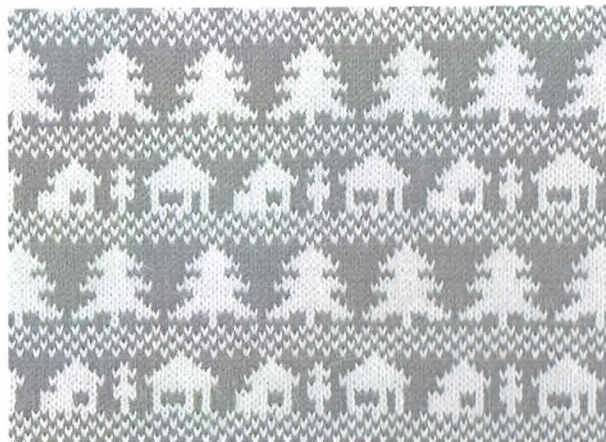
カードNo5_k

同時編込模様

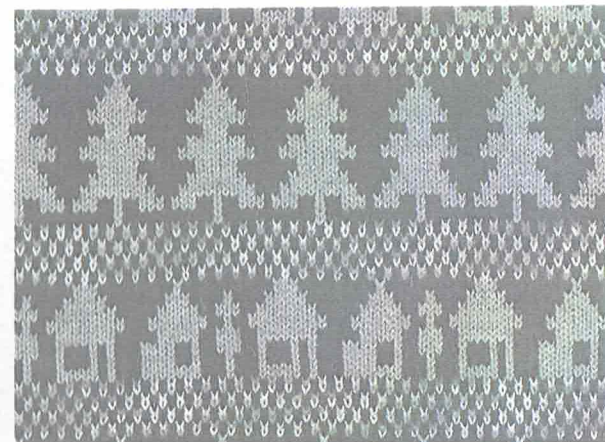


カードNo13_k

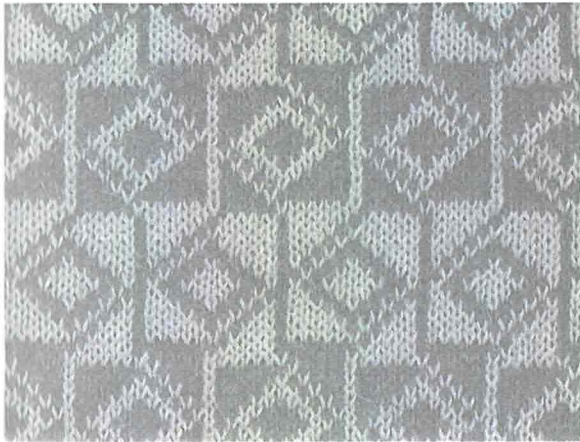
間欠送り模様 利用できるカードは同時編込模様と同じです。



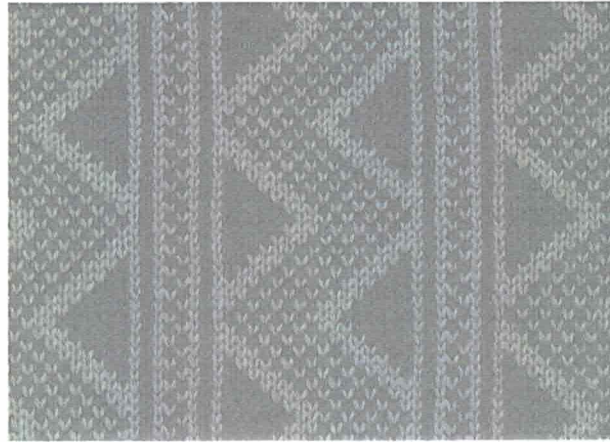
カードNo14_k
〈普通の同時編込模様〉



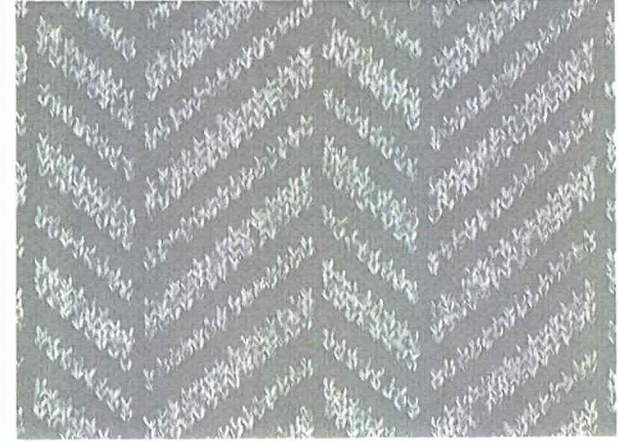
カードNo14_k
〈間欠送り使用〉



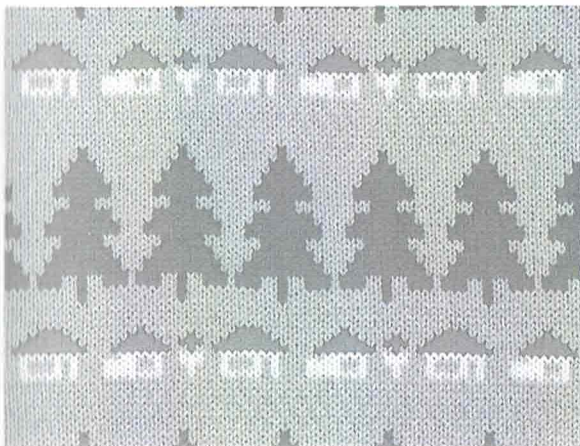
カードNo6k



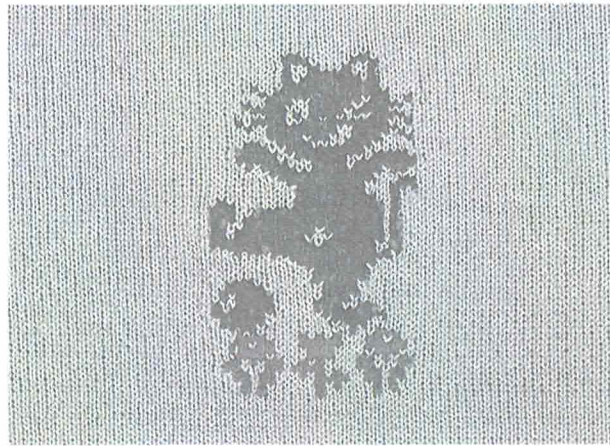
カードNo10k



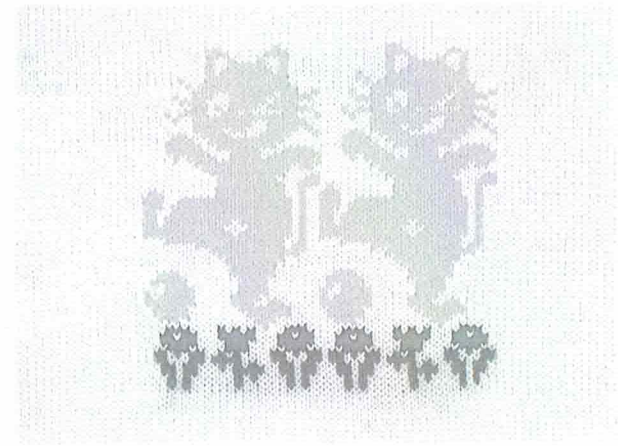
カードNo12k



カードNo14k
〔間欠送りを部分的に使用〕

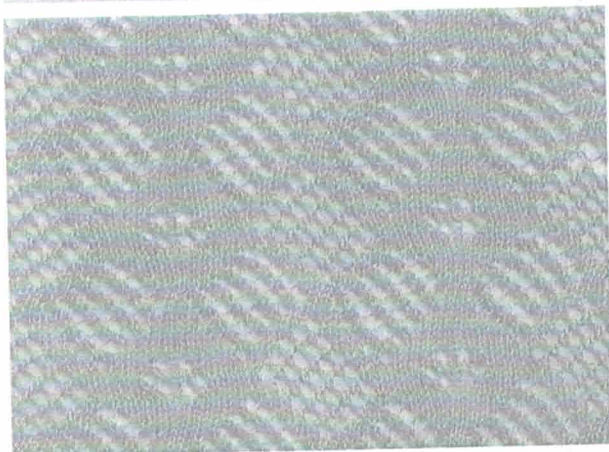


カードNo15k

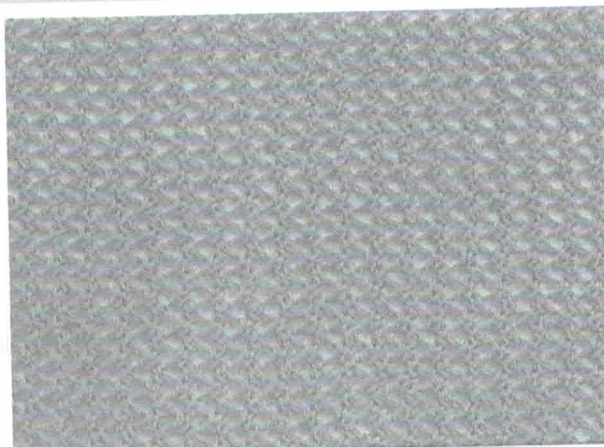


カードNo15k

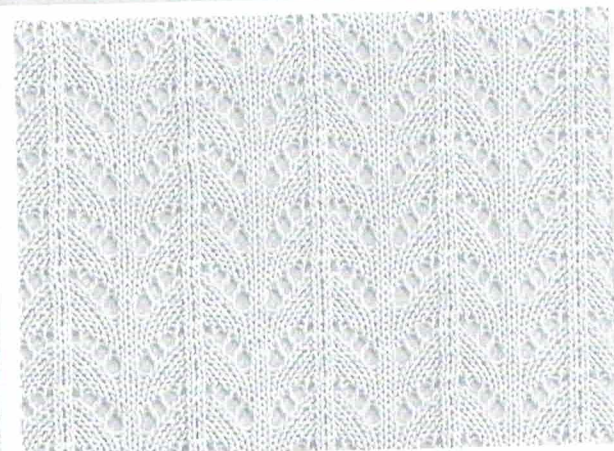
レース模様 利用できるカード：No16_K, 17_K, 18_K, 19_K, 20_K



カードNo16_K

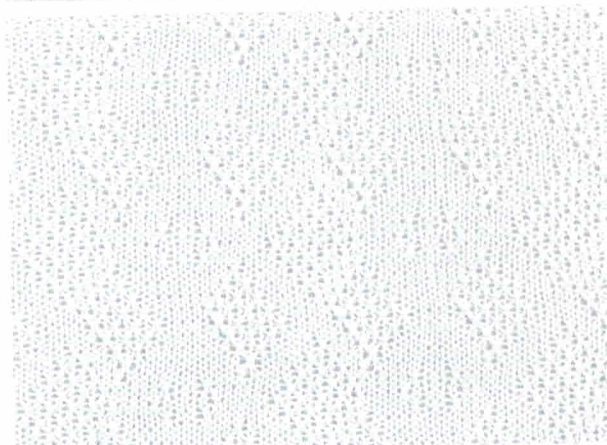


カードNo17_K

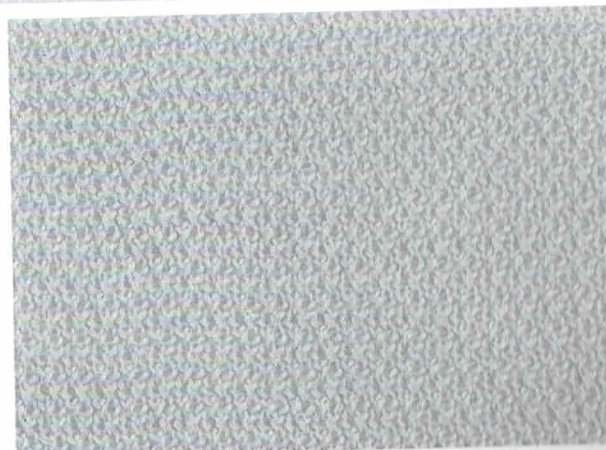


カードNo18_K

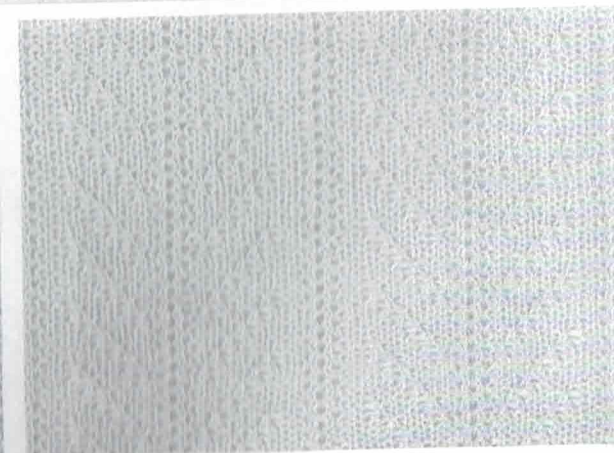
タックレース模様 利用できるカード：No16_K, 17_K, 19_K, 20_K



カードNo16_K



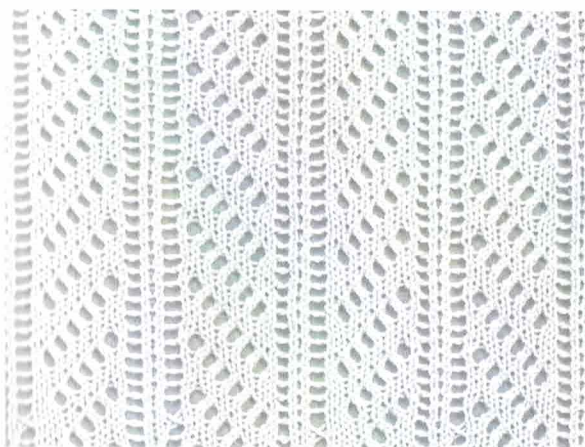
カードNo17_K



カードNo20_K

ポイント・レース模様 利用できるカードは、レース模様と同じです。

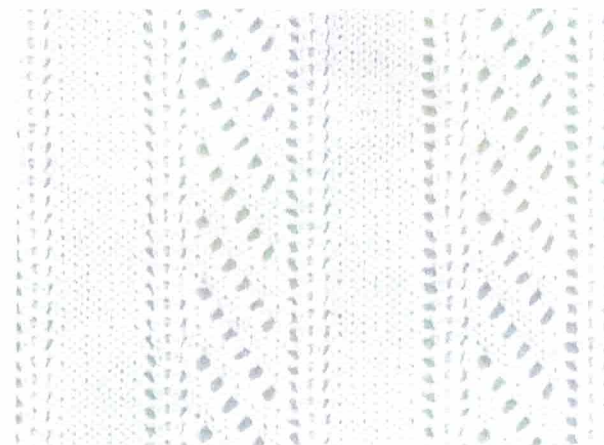
編み方39ページ



カードNo20_k
〈普通のレース模様〉



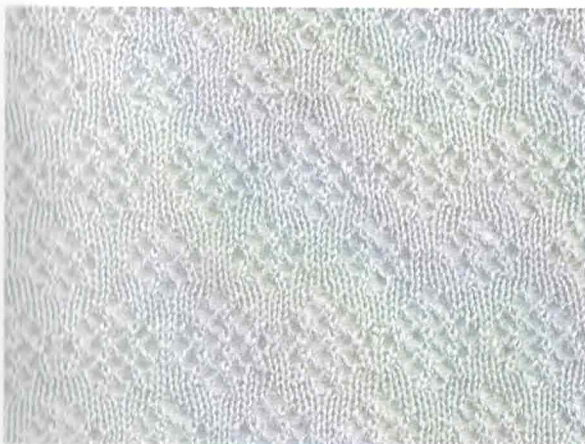
カードNo20_k
〈Lポイントカム4使用〉



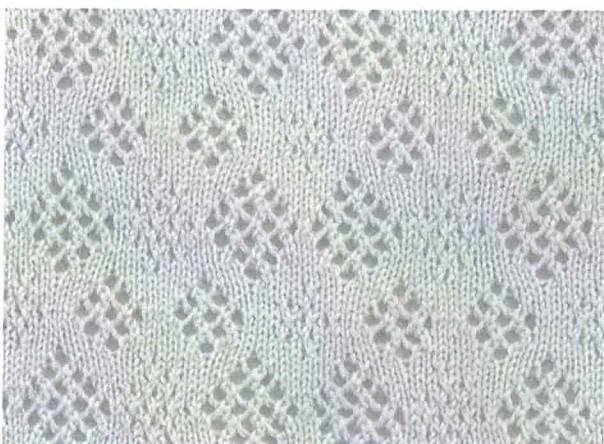
カードNo20_k
〈Lポイントカム8使用〉

レース・タックレース混合模様 利用できるカード：No19_k

編み方38ページ



カードNo19_k
〈普通のレース模様〉



カードNo19_k
〈レースから編み始めた場合〉



カードNo19_k
〈タックレースから編み始めた場合〉

編機操作

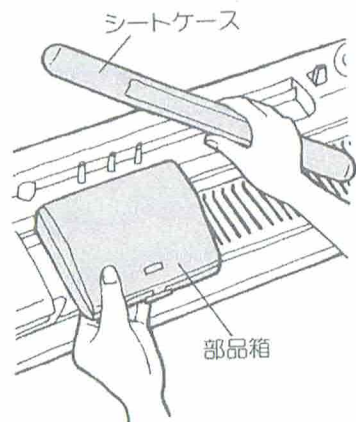
編機の組み立て方

- 1 取っ手を向こう側にして置き、錠前をはずします。

ケースの両端を持ち上げ、手前に引いてはずします。



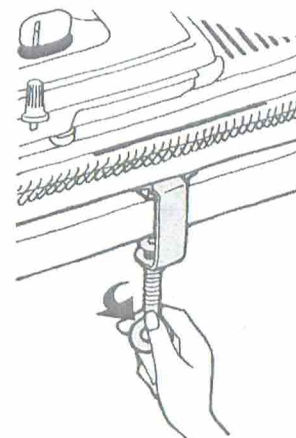
- 2 シートケースと部品箱をはずします。



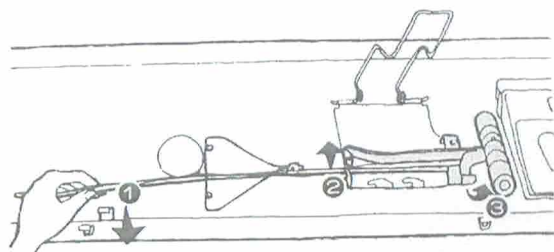
- 3 部品箱から取付金具を2個、取り出します。



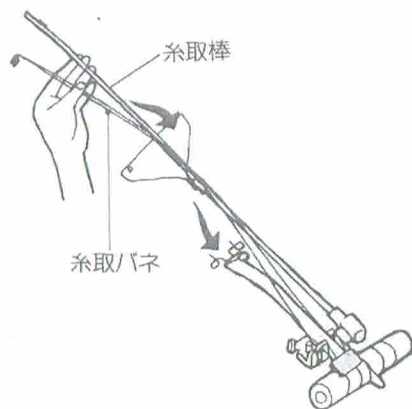
- 4 取付金具で、編機をテーブルに固定します。



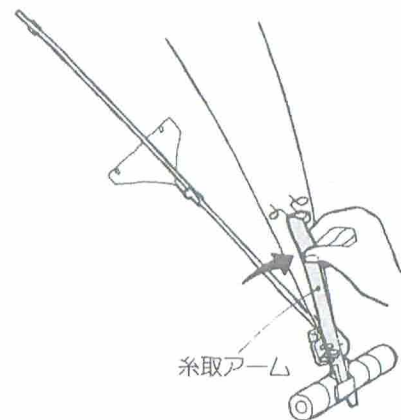
- 9 ①・②・③の順に、糸取装置をはずします。



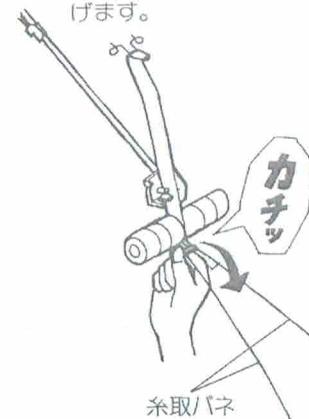
- 10 糸取棒から、糸取バネをはずします。



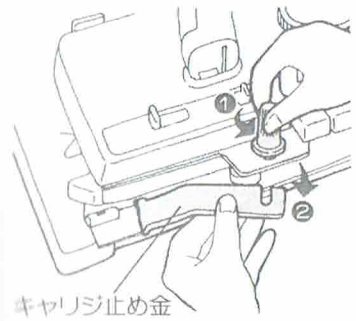
- 11 糸取アームを止まるまで上げます。



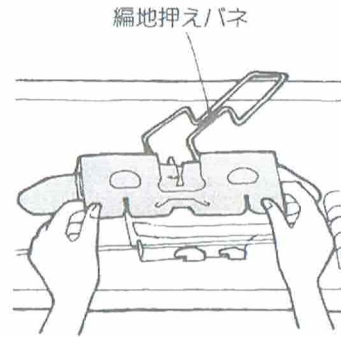
- 12 糸取バネの根元を持ち、カチッと音がするまで持ち上げます。



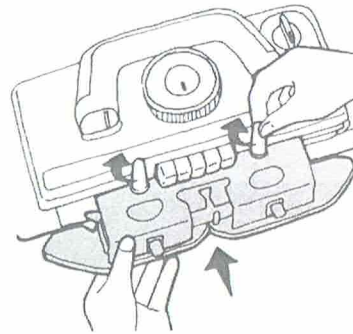
5 Kキャリジの編地押えツマミをゆるめ、キャリジ止め金をはずします。



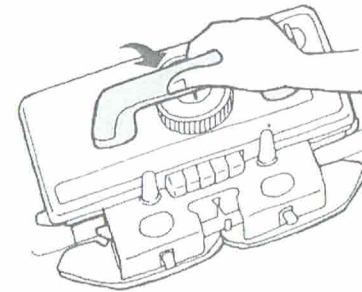
6 ケース内側の編地押えパネを開き、編地押えを取り出します。



7 左右のツマミをゆるめ、編地押えをいっぱいに差し込み締め付けます。



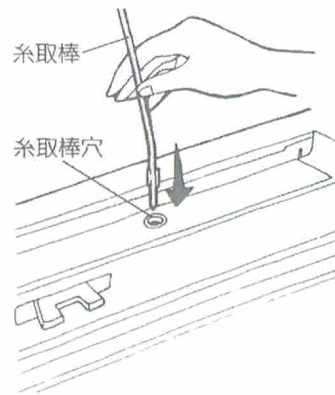
8 ハンドルを起こします。



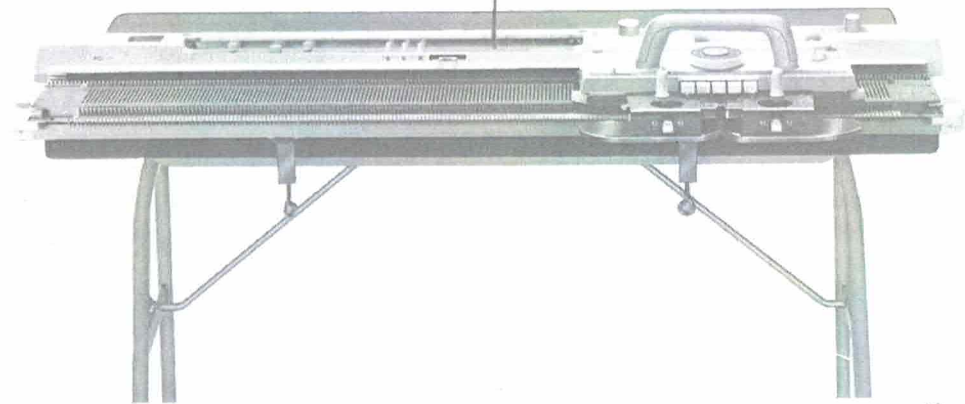
13 後糸案内を持ち上げます。



14 糸取棒を、糸取棒穴に差し込みます。



組み立てた状態



各部の名称とはたらき

Kキャリジ

編目ダイヤル

編糸の太さに応じて編目の大きさを調節します。
(15ページ参照)

段数計レバー

ボタンもどしレバー

カムボタンをもどす役目を行います。

引返しレバー

引返し編のときに使います。
(63～64ページ参照)

スレッド刷毛車

編地押え

スレッドレバー

スレッド模様を編むときに使います。

選針切替ツマミ

〈ひらあみ・レース〉〈もようあみ〉〈ワンポイント〉〈キャリジはずし〉の位置があります。

リーダーレバー

ニットリーダーを作動させます。

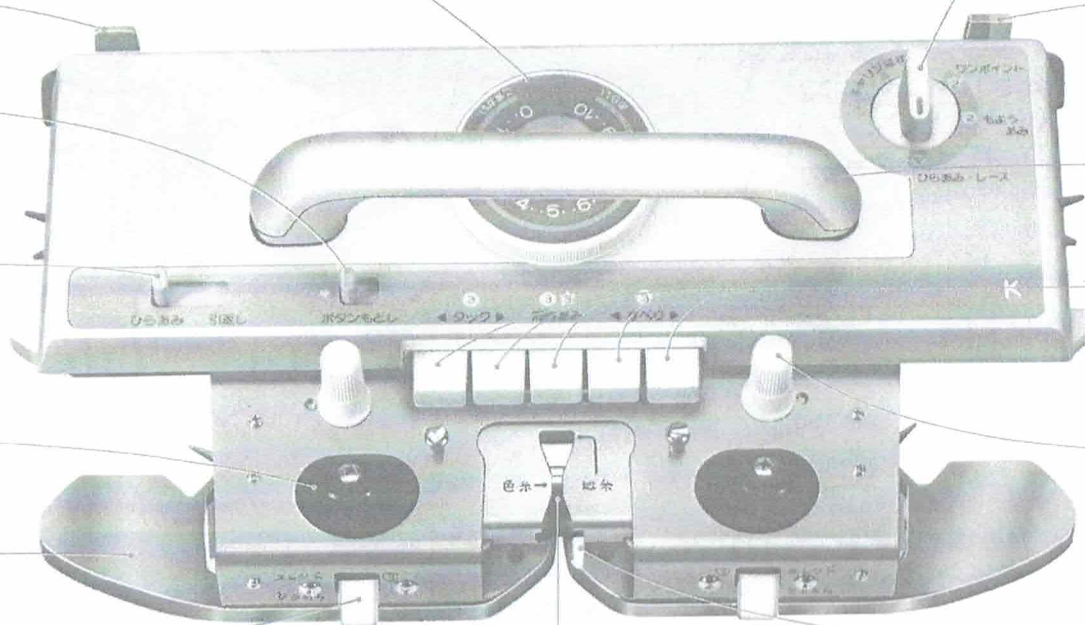
ハンドル

カムボタン

主に模様編のときに使います。

編地押えツマミ

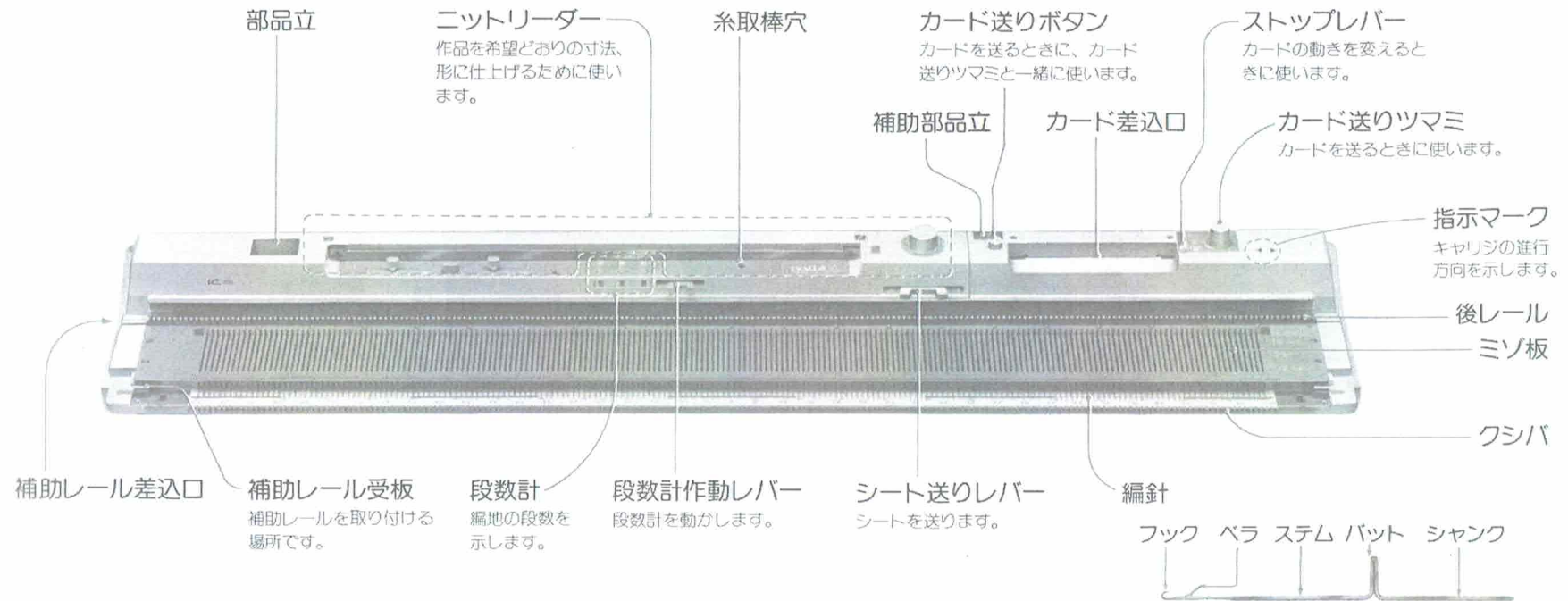
糸口レバー



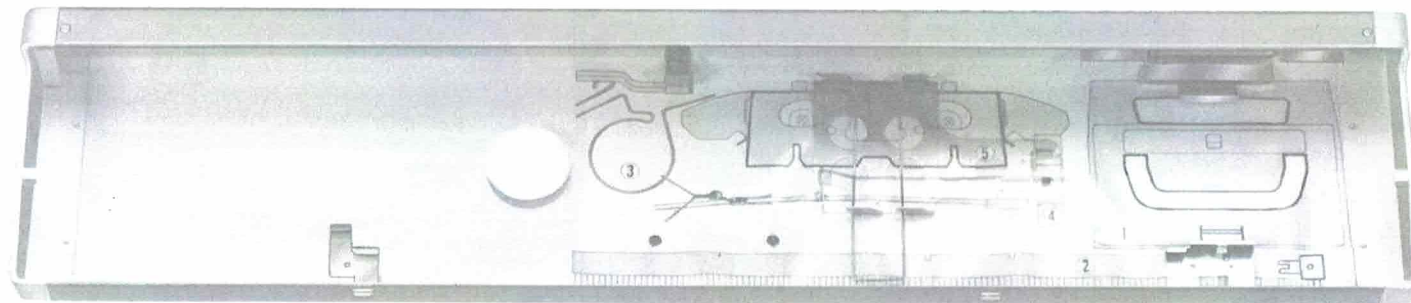
地糸・色糸口

地糸口…編糸を入れて編みます。
色糸口…同時編込模様するとき、配色糸を入れて編みます。

本体



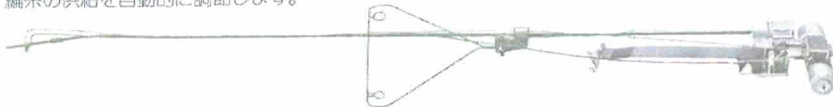
ケース



付属品

糸取装置

編糸の供給を自動的に調節します。



編出シ

編み始めを行うときに使います。



トジワイヤー

ミシン縫製するとき、編地の端をかがるのに使います。



補助レール(2本)

レースやタックレース模様を編むときに使い、キャリアジ落下防止の役目をします。



シートケース

編目スケールとシートを入れるケースです。



シート

製図を写します。

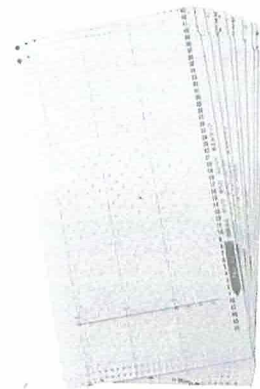


編目スケール(30枚)

シートの製図から目数を読みとるときに使います。



パンチカード(20枚)



シートガイド(2本)

シートを支える役目をします。

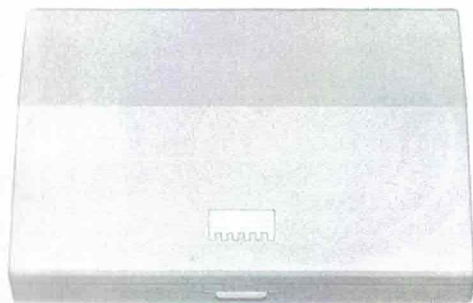


Lキャリアジ

レース模様、タックレース模様を編むときに使います。

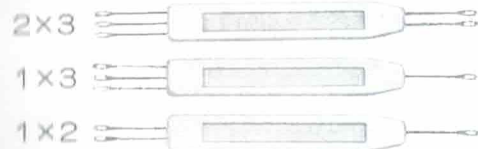


部品箱



ウツシ

減らし目、増し目などをするときに使用します。



タツビ

編目を返すときに使用します。



カギ針



模様板(0x1/1)



カラーウェイト(2個)

模様編を編むときに使うオモリです。



パラフィン(ケース付)



Lポイントカム

Lキャリジで、ポイントレース模様を編むときに使用します。



ワンポイントカム24

ワンポイント模様を編むときに使用します。



連続ポイントカム

接続して使用します。



トジ針

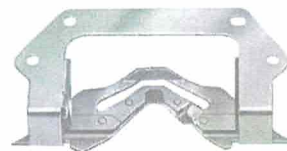


カードスナップ(4個)

パンチカードをつなぎ合わせるときに使用します。



添え糸・アーガイル用糸口



手入れ油



抜き糸

編み始め、捨て編の区別をするときに使用します。



編針(予備用3本)



取付金具(2個)

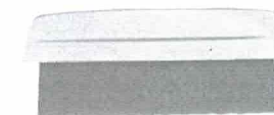
編機をテーブルに固定するときに使用します。



キャリジ止め金



手バケ



名札

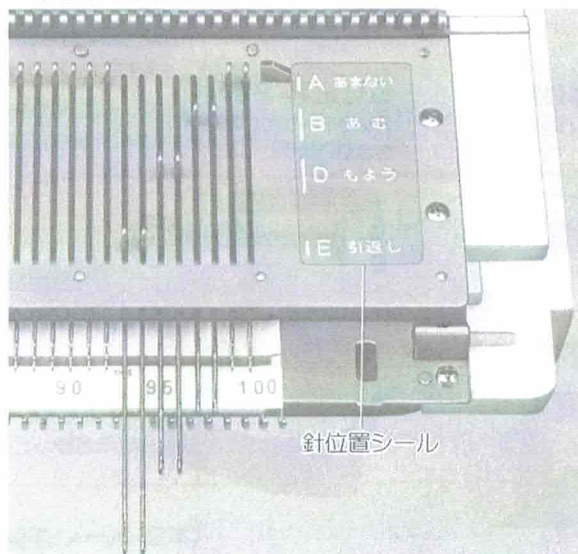


ブラザーペン



編む前の知識

■ 編針の位置



編機は、編針の位置によっていろいろな編み方ができます。

編針の位置はミノ板の左右の端に、A、B、D、Eの文字で表示してあります。

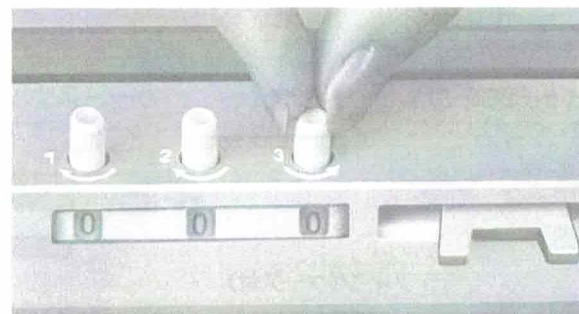
A (あまない位置) ……キャリジを操作しても編めません。

B (あむ位置) ……普通はこの位置で編みます。

D (もよう位置) ……模様編の場合の選針位置です。

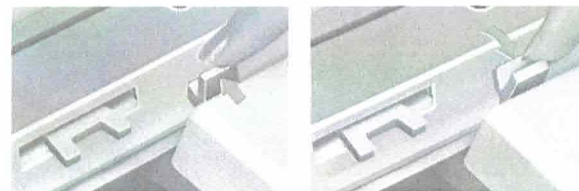
E (引返し位置) ……引返し編に使う位置です。

■ 段数計の使い方



段数計を使うとき

段数計を使わないとき



Kキャリジの操作によって編んだ段数を表示する装置です。

段数計に数字をセットするときはツマミを回して合わせます。

- **000**にセットする場合…左側のツマミから順に矢印の方向へ回してセットします。

- 数字をセットする場合…直したいケタのツマミを回してセットします。

※段数計を使うときは、Kキャリジ左側後方の段数計レバーを下げます。

■ 編目ダイヤルの使い方



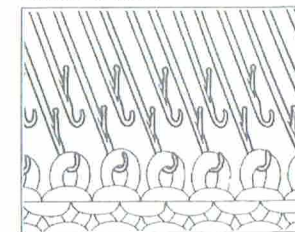
編糸に応じて、編目の大きさを調節する役目をします。数字が大きくなるほど、編まれる編目は大きく(あらく)なります。

編糸に応じて、ダイヤルの数字または●印を中央のキャップの|印に合わせます。

平編のときの標準編目ダイヤル

編糸タイプ	編目ダイヤル
極細	0~3
合細	3~4
中細	4~6
合太	7~10
並太 (針抜き)	4~6

針抜きの方法



編糸が太くなるほどキャリジの操作は重くなるため、編針を1本おきて編むと軽く操作できます。

■ボタンもどしレバーの使い方



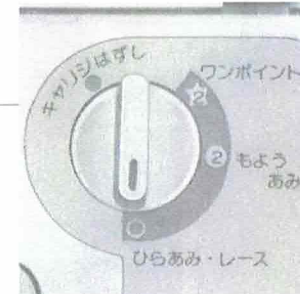
右方向へ押し、セットされたカムボタンがもどります。

■カムボタンの使い方

1回編むときに使うボタンで、いっぱい押しと押し位置でロック(止まる)させます。



■選針切替ツマミの使い方



※選針切替ツマミが〈ワンポイント〉か〈もようあみ〉になっているときは、選針切替ツマミを〈ひらあみ・レース〉にセットすると、押されているカムボタンが自動的にもどります。

●キャリジはずし

編み間違えたときや途中でKキャリジをはずすときに合わせます。

☆ワンポイント

ワンポイントカム24、連続ポイントカムを用いて編むときに合わせます。

②もようあみ

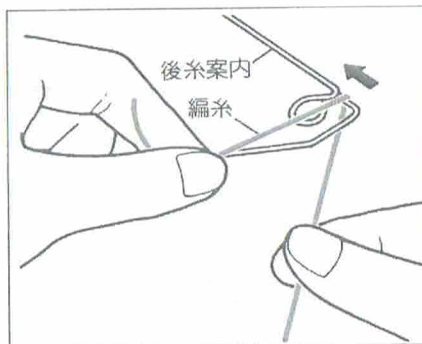
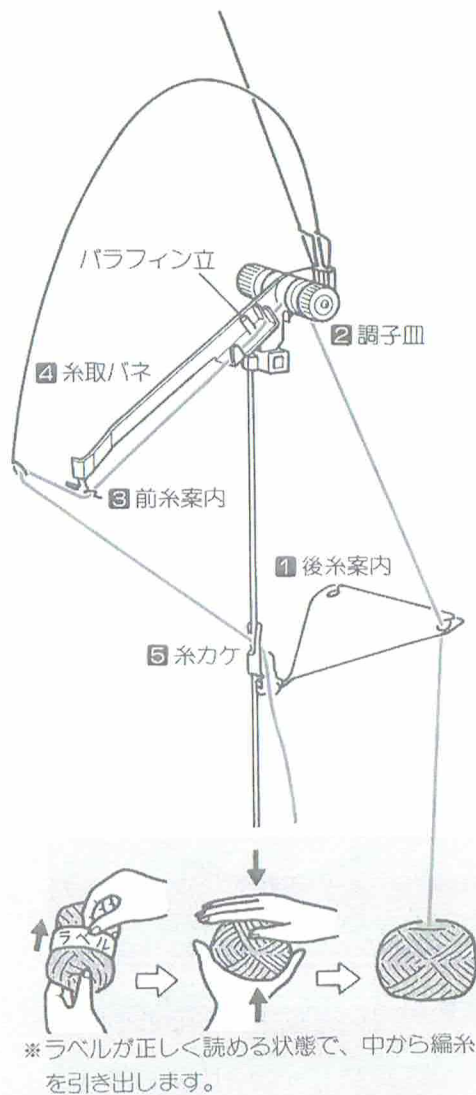
タック模様、すべり目模様、スレッド模様、同時編込模様などを編むときに合わせます。

○ひらあみ・レース

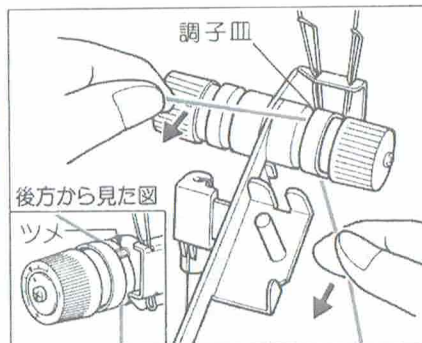
平編、レース模様を編むときに合わせます。

実際に編んでみましょう(基本操作)

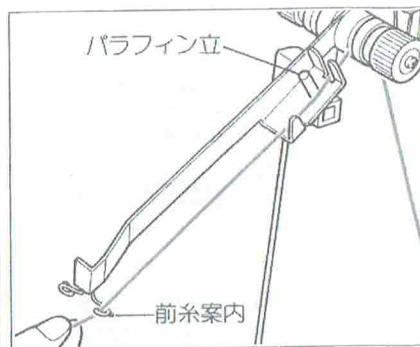
糸取装置への編糸の通し方



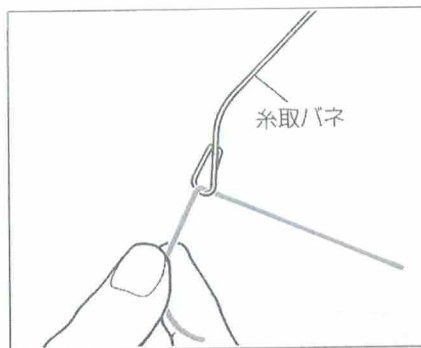
1 後糸案内の右側の穴に外側から編糸を通します。



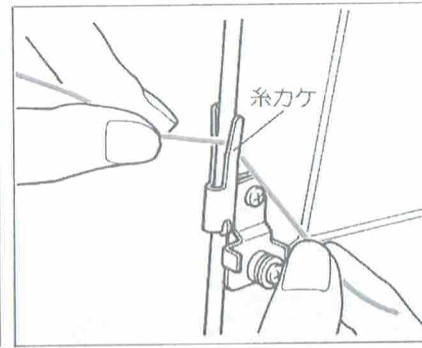
2 後方から編糸をツメの内側にすべらせ、調子皿にはさみます。
(上図のように糸を持ち、手前に引くと、ツメの内側に編糸が入ります。)



3 編糸をパラフィン立の上から引き、前糸案内に通します。



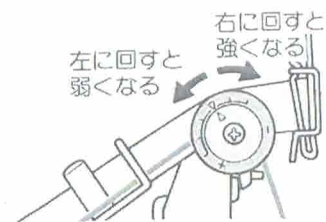
4 右側の糸取バネに通します。



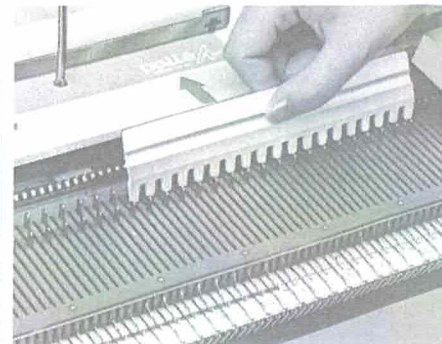
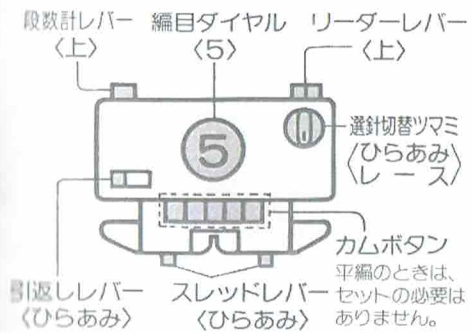
5 糸端を糸カケにはさみ込んで休めます。

●糸調子

糸取装置についているツマミを、編糸に応じて調節します。
+ (プラス)側に回すと糸調子が強くなり、
- (マイナス)側に回すと弱くなります。
※中細毛糸は▼印に合わせ、太糸は一側、
細糸は+側にします。



■平編の編み方(平編は編機の基本操作となりますのでよく覚えてください)

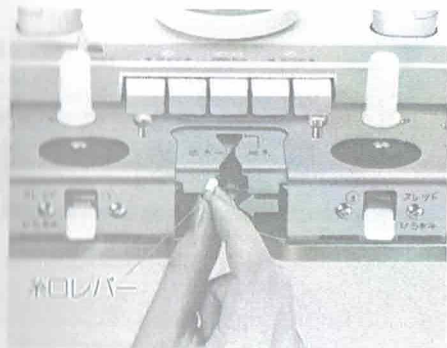


1 Kキャリジを図のようにセットします。

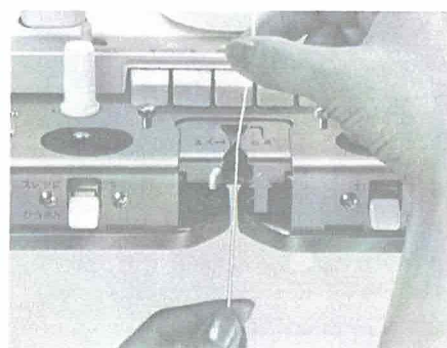
2 ミゾ板中心(ミゾ板目盛板の0の位置)から左40~右40間の編針80本を、模様板を使ってB位置(あむ位置)まで出します。

3 B位置に出した編針をそろえるため、Kキャリジを1~2回左右に動かし、ミゾ板の右側(Kキャリジの左端が右40の編針を通りすぎた位置)に置きます。

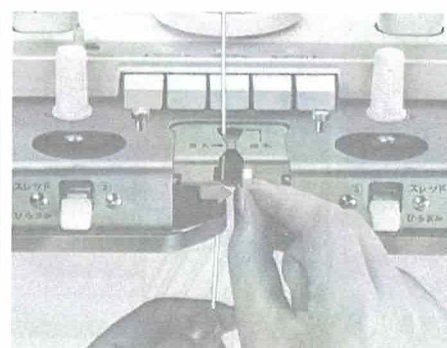
4 B位置に出した編針を模様板の1/4側を使って1本おきにA位置に下げます。



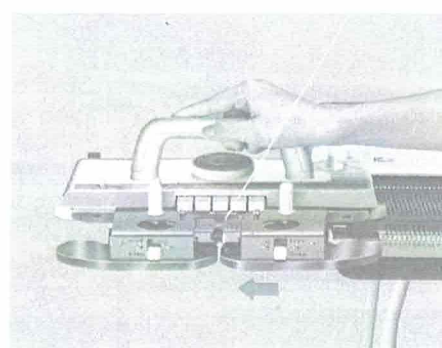
6 編地押えの糸口レバーを左側に開きません。



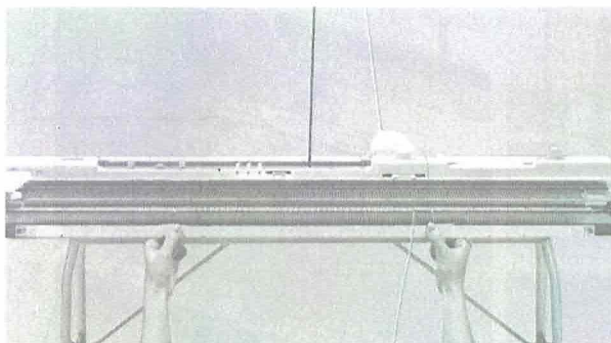
6 糸取装置の糸カケに休めてある編糸を地糸口の奥まで入れます。



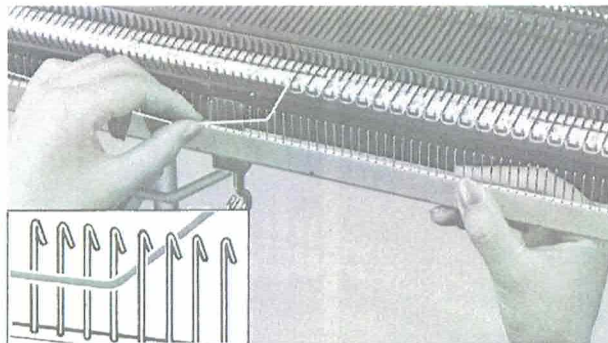
7 糸端を持ったまま、糸口レバーを右側にもどします。



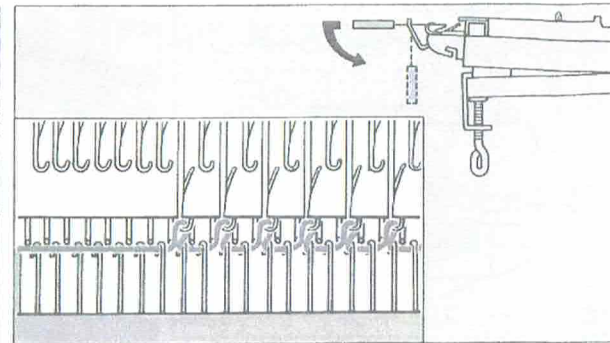
8 糸端をかるく下に引くように指でつまみ、Kキャリジをゆっくり右から左端(100の編針を通りすぎた位置)まで動かします。編糸が編針にかかります。



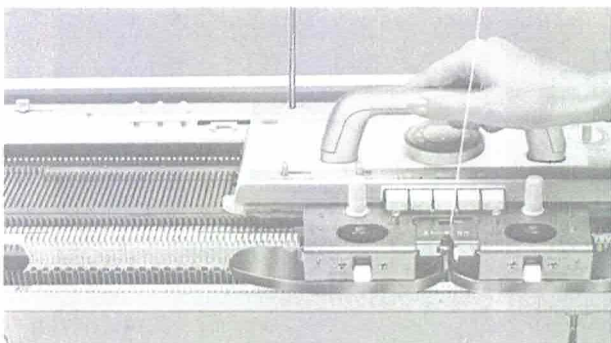
9 編出シのフック部先端を編機側にし、編幅に対して左右均等な位置に持ちます。



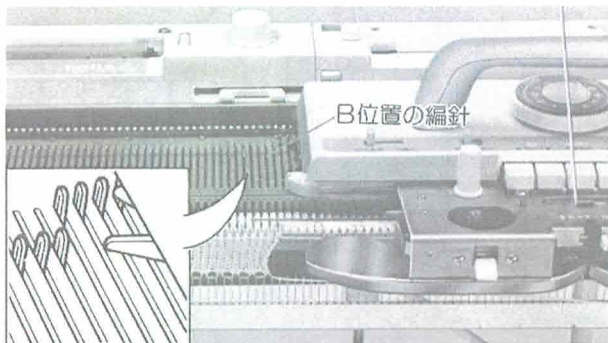
10 編まれていない編糸をつまんで手前に引き、編出シを下から入れます。
※編糸が他に引っかかっているようにします。



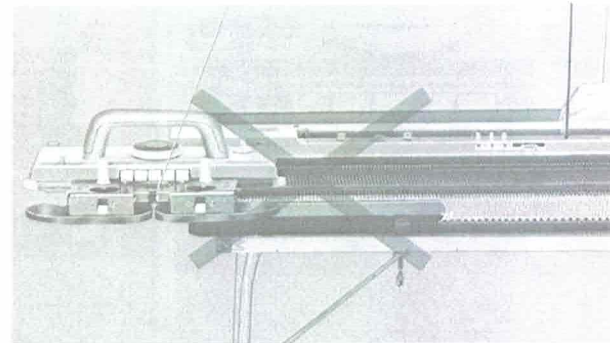
11 編出シを編機と水平にし、編めた編糸に編出シのフックをかけ、下へ引きます。



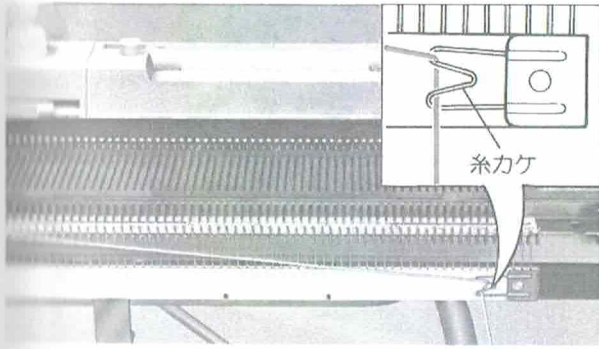
15 Kキャリジをそのまま左右に繰り返し操作すると平編が編めます。



注意1 Kキャリジの折り返しは、進行方向のB位置の端針がKキャリジの端から完全に抜けた位置から折り返します。



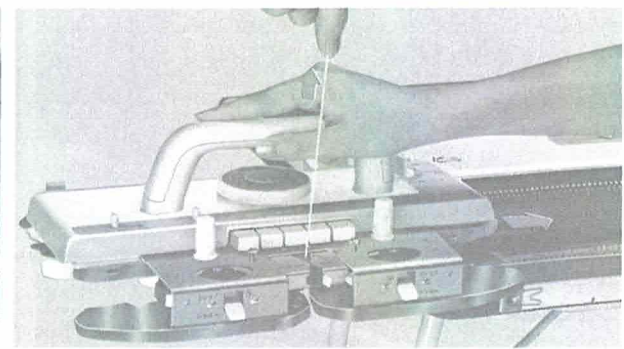
注意2 Kキャリジの折り返しで、B位置の端針とKキャリジの端との間を開けすぎると編糸がたるむ原因になりますので、開けすぎないようにしてください。



12 右側の糸端を手前に出し、編出シの糸カケにかけます。



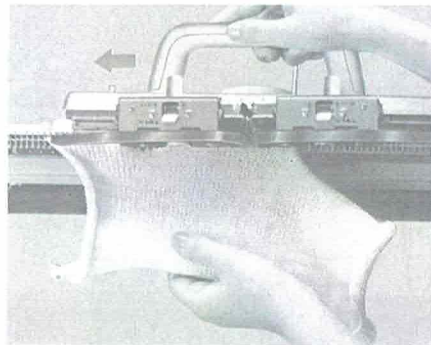
13 左40～右40間のA位置の編針を模様板を使ってB位置にそろえます。



14 編糸がたるまないように、かるく指で引きながらKキヤリジを右にゆっくり操作します。

綿・化繊・レース糸などで編むときは、編地押入の裏にあるゴム車を出して編んでください。

（ゴム車の出し方は25ページを参照してください。）

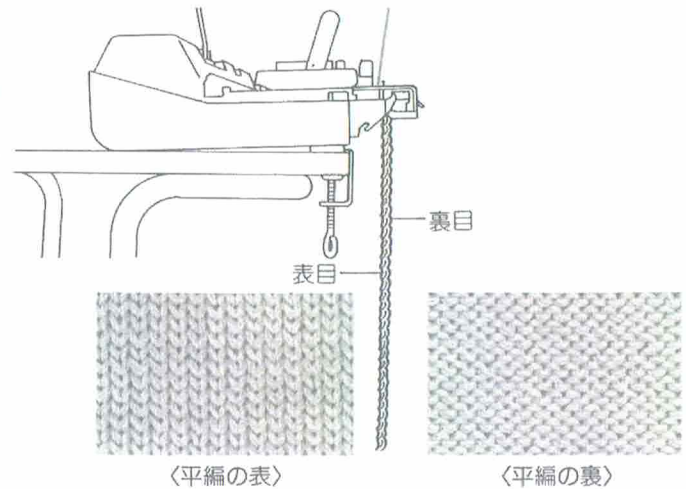


16 編み終わったら、編出シをはずして編糸を切り、糸カケに休めます。編地をはずすときは、地糸口に編糸を通さずにKキヤリジを操作します。

● 編地の表と裏

編地が編針にかかっているとき、手前に見える面を裏目、反対側の面を表目と言います。

● お好みにより表目、裏目のどちらでも作品として使うことができます。



模様編の編み方

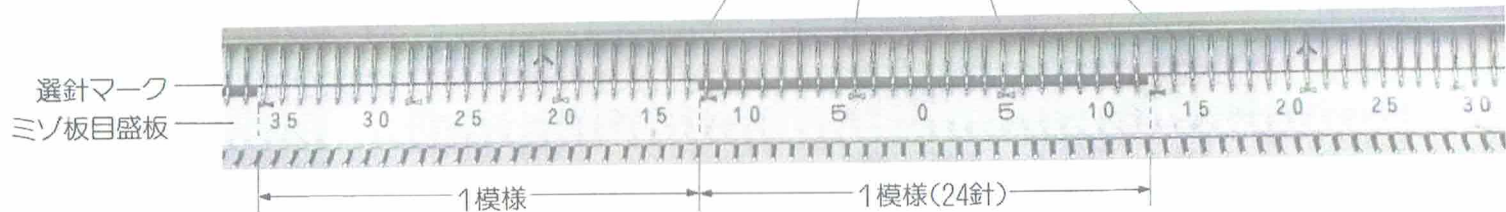
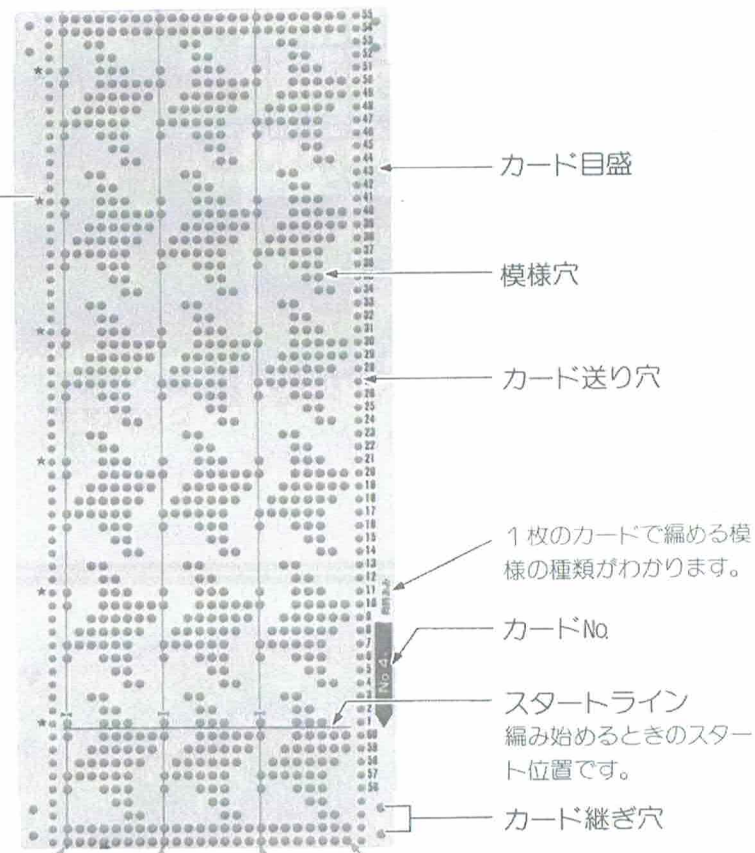
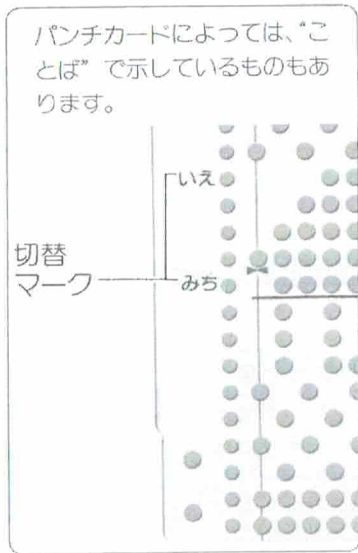
■パンチカードの見方と編針の関係

編機にパンチカードをセットすると、キャリジを左右に操作するだけでいろいろな模様を編むことができます。
パンチカードを使用すると、繰り返し何回でも同じ模様を編むことができます。

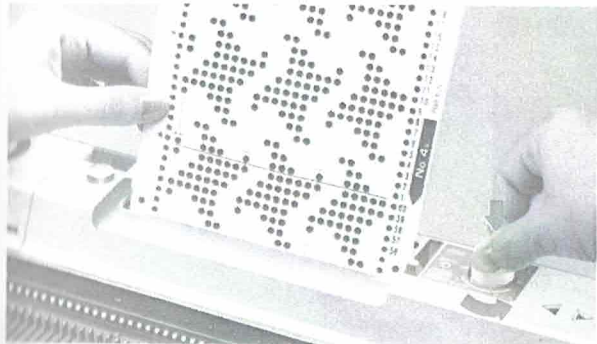
- パンチカードの1模様は24目(24針)です。
- 1模様は編機の中心(左12から右12の編針)に編め、その左右に繰り返して連続模様が編めます。
- ミノ板目盛板の選針マーク(赤い帯または線の部分)は1模様(24針)が編まれる位置を示しています。
- パンチカードの穴のあいている部分(模様穴)に対応する編針がD位置に選針されます。

パンチカードは折りたたんだり
折り目をつけないようにしてください

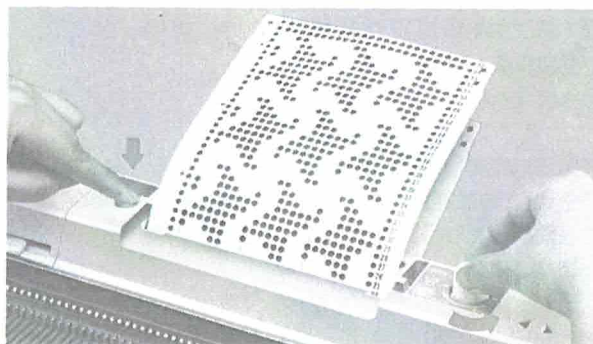
切替マーク
配色糸および間欠送りの切替位置を示しています。



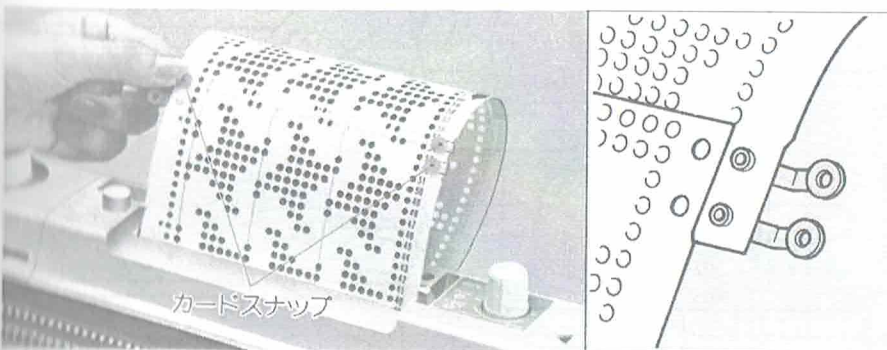
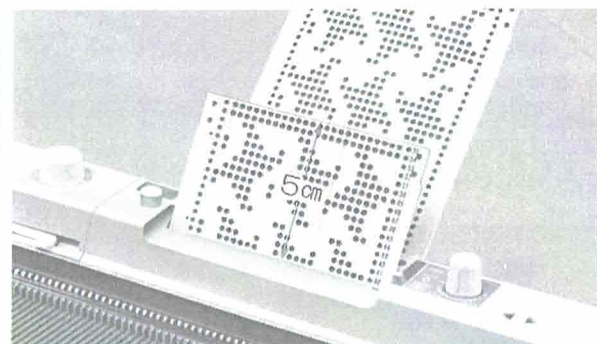
■パンチカードのセット方法



1 パンチカードのカードNoを右下にし、カード差込口へまっすぐに差し込みます。
カード送りツマミを押したまま2~3段〈おくる〉方向へ回し、正しく入れたかを確認します。



2 カード送りボタンをいっぱいにしたまま、カード送りツマミを〈おくる〉方向に回し、カード差込口から約5cmの位置まで送ります。



3 カード差込口から出ているカードの端を上にして、付属のカードスナップでカードの両端をつなぎます。

◀知識メモ▶

- カード送りツマミは、模様編の途中で編針が正しく選針されているかどうかを確認したいときにも使います。(75ページ参照)
- カード差込口に見えているカード目盛から7段もどった位置の模様穴が、選針されている編針と対応します。

■模様編の基本ステップ

模様編は、それぞれの模様により操作のしかたが異なりますが、基本的な順序として下記のようなステップに分けることができます。

編機には“ステップ番号”が表示されており、操作の手順がわかりやすくしてあります。

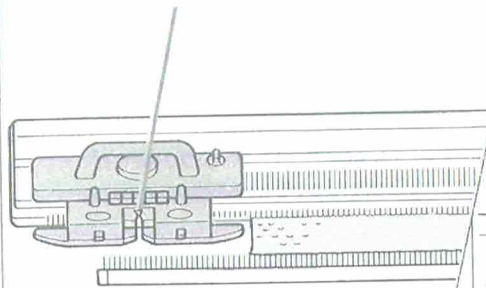
模様ごとの詳しい操作については、それぞれの項目で説明します。

ステップ1

1 編み始めを行います。

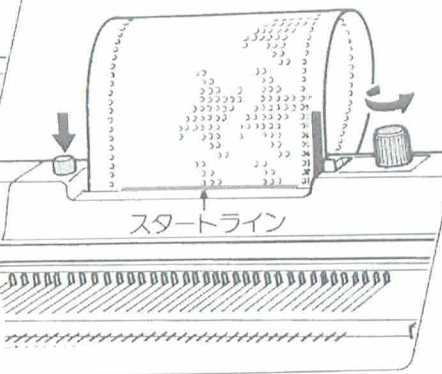
平編を10段ほど編んでから、Kキャリジを左側に置きます。

※間欠送り編、ワンポイント編に関しては、編む段数とKキャリジを置く位置が異なります。



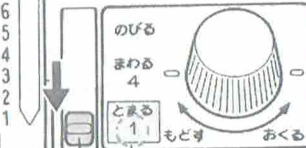
2 パンチカードをセットします。

各模様編に応じたパンチカードをセットし、カード送りボタンを押したままカード送りつまみを〈おくる〉方向に回し、カードのスタートラインをカード差込口のスタート位置に合わせます。



3 ストップレバーを〈とまる〉に合わせます。

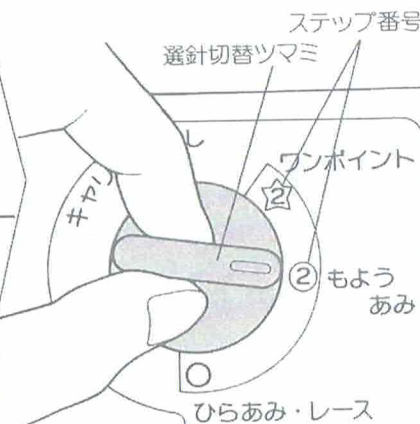
○15
○14
○13
○12
○11
○10
○9
○8
○7
○6
○5
○4
○3
○2
○1



ステップ番号
ストップレバー

ステップ2

1 選針切替つまみを切り替えます。



●指示マークについて

模様編のときに指示マークが作動し、キャリジの進行方向を示す◀▶（ピンク色）のサインが出ます。

◀▶……右へ進むとき

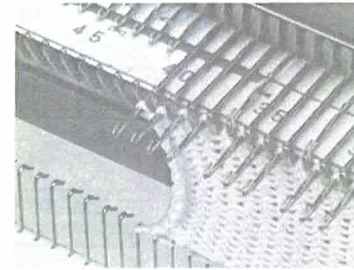
▶◀……左へ進むとき



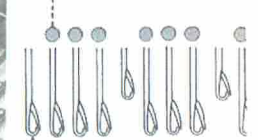
●端針選針機構について

端針選針機構は、選針切替ツマミが〈もようあみ〉のときにはたつきません。

パンチカードの模様穴に関係なく端針が自動的に選針されるので、端目が美しく編みあがります。



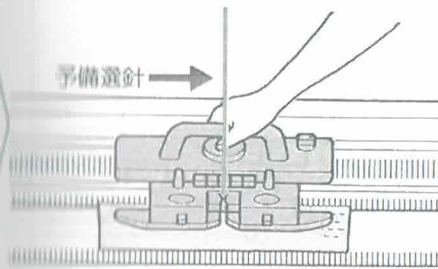
パンチカードの模様穴



端針選針機構により選針された編針

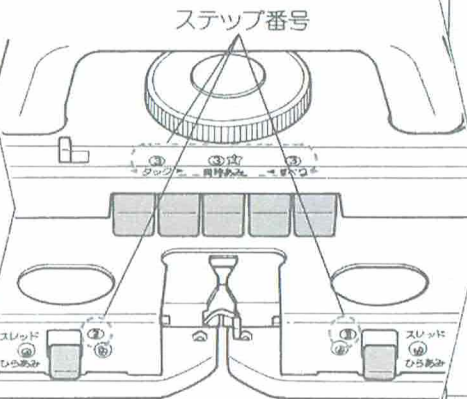
2 予備選針をします。

キャリジをゆっくり右側（間欠送り編のときは左側）へ操作すると編針が選針されます。



ステップ3

カムボタンまたはスレッドレバーをセットします。

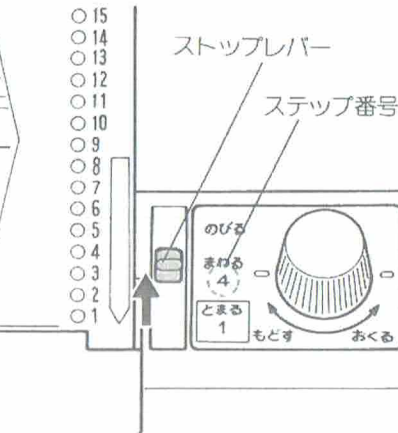


ステップ2で②印に合わせたときは③印のいずれかのボタンを、☆印に合わせたときは☆印のボタンを押します。

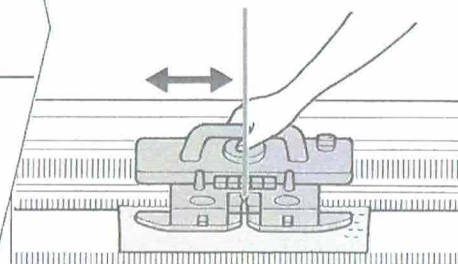
ステップ4

ストップレバーを合わせます。

ストップレバーを〈まわる〉（間欠送り編のときは〈のびる〉）に合わせます。



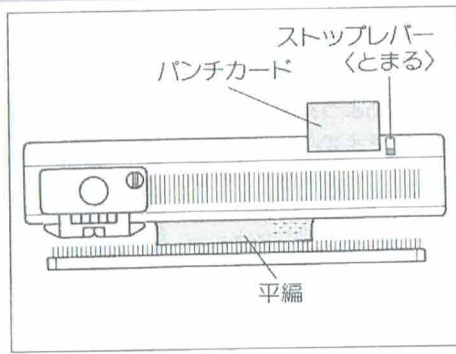
キャリジを操作し編み進めます。



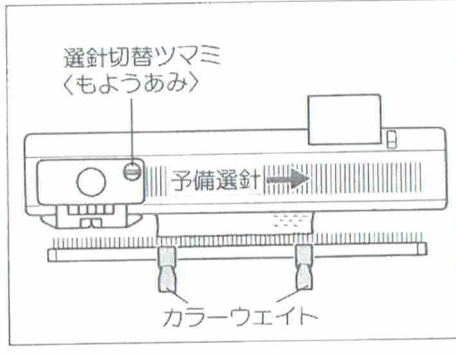
タック編 利用できるカード：No.1k, 2k, 3k, 7k, 8k



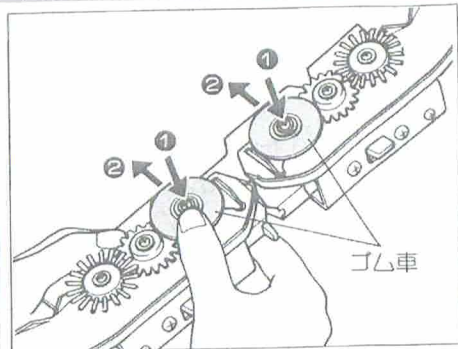
カードNo.2k



1 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。

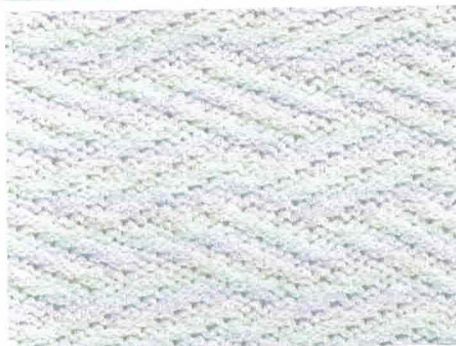


2 **ステップ2** 選針切替ツマミを<もようあみ>に合わせ、Kキャリジをゆつくり右側へ操作し予備選針をします。
3 カラーウエイトを左右均等にかけて編地が長くなったら編地の両端にかけ直します。

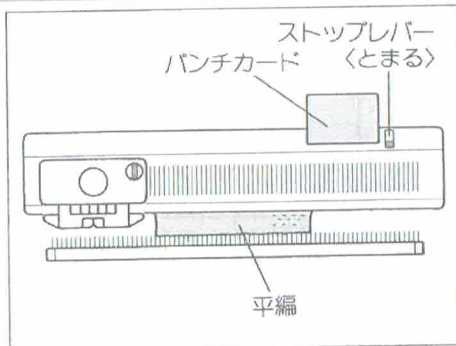


4 編地押えをKキャリジからはずして①ゴム車のネジ頭を押し、②そのまま矢印方向へ“パチッ”と音がするまで押し出します。
※ゴム車をもどすときは、この逆の操作をします。

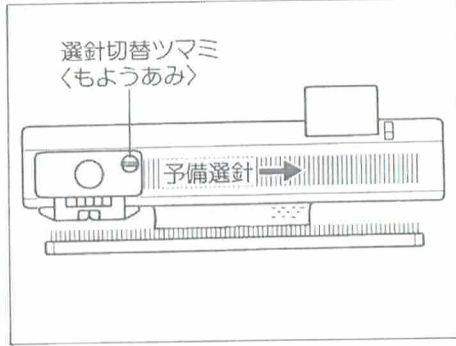
すべり目編 利用できるカード：No.1k, 2k, 3k, 5k, 7k, 8k, 11k



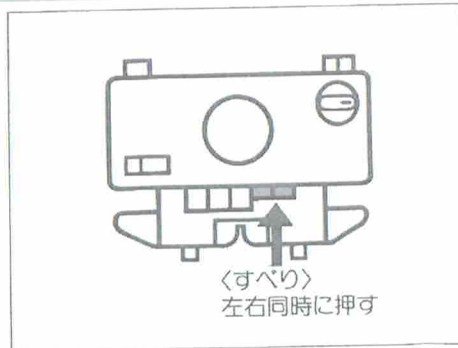
カードNo.5k



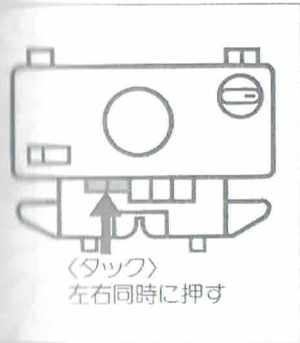
1 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。



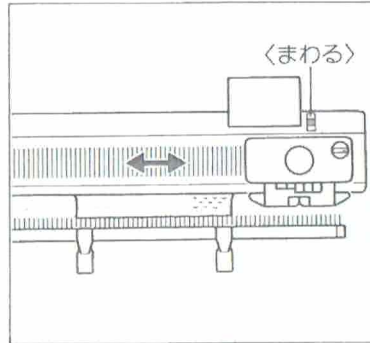
2 **ステップ2** 選針切替ツマミを<もようあみ>に合わせ、Kキャリジをゆつくり右側へ操作し予備選針をします。



3 **ステップ3** カムボタンの<すべり>を左右同時に押します。

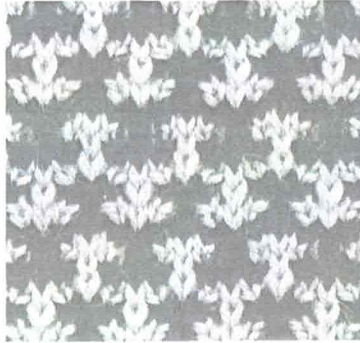


編地押えを取り付け、**ステップ3** カムボタンの<タック>を左右同時に押します。



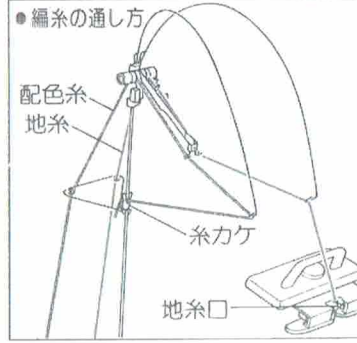
ステップ4 ストップレバーを<まわる>に合わせます。
7 Kキャリジを左右に操作して編み進みます。

配色タック編 利用できるカードは、タック編と同じです。

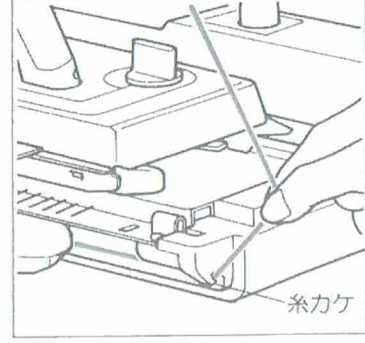


カードNo2k

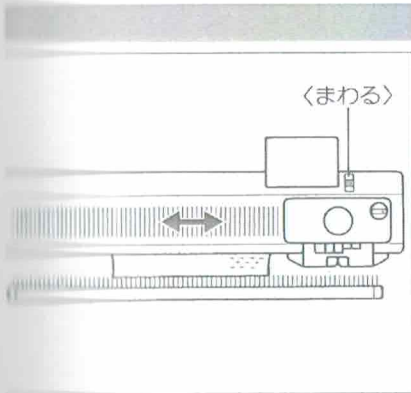
タック編と同じ操作で編みますが、2色の編糸を2段ごとに入れ替ながら編みます。



1 糸取装置の左右に2色の編糸を通し、右側に通した編糸を地糸口に入れてタック編の**1**~**6**を行い、Kキャリジで2段編みます。

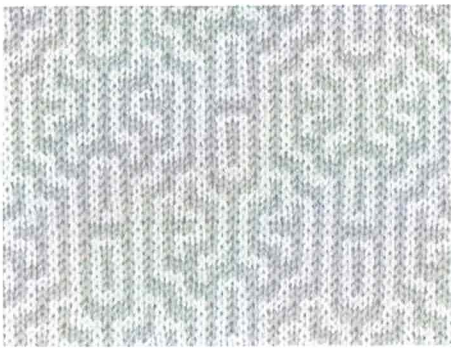


2 編糸を地糸口からはずし、本体右端の糸カケに休め、左側の編糸を地糸口に通して2段編みます。
※編糸を入れ替えるときに、前の編糸と交差しないように注意します。



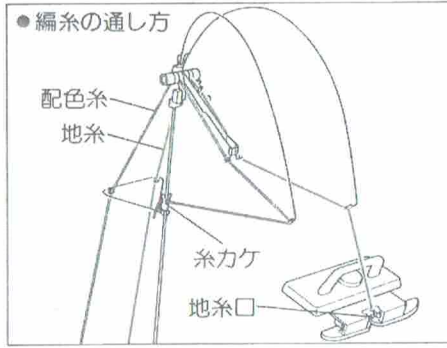
ステップ4 ストップレバーを<まわる>に合わせます。
7 Kキャリジを左右に操作して編み進みます。

配色すべり目編 利用できるカードは、すべり目編と同じです。

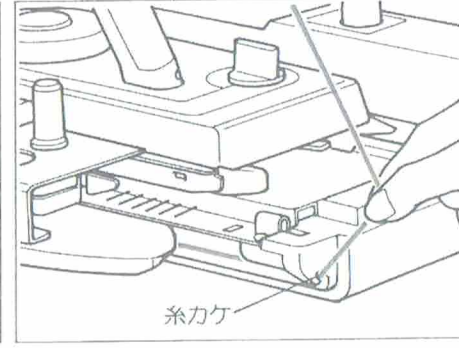


カードNo7k

すべり目編と同じ操作で編みますが、2色の編糸を2段ごとに入れ替ながら編みます。



1 糸取装置の左右に2色の編糸を通し、右側に通した編糸を地糸口に入れてすべり目編の**1**~**4**を行い、Kキャリジで2段編みます。

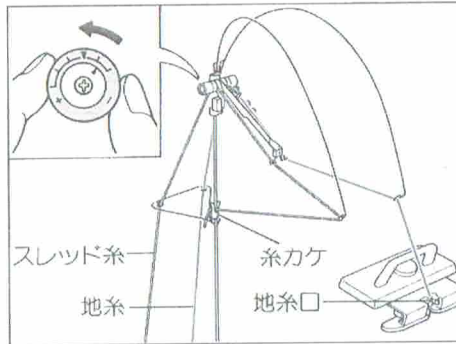


2 編糸を地糸口からはずし、本体右端の糸カケに休め、左側の編糸を地糸口に通して2段編みます。
※編糸を入れ替えるときに、前の編糸と交差しないように注意します。

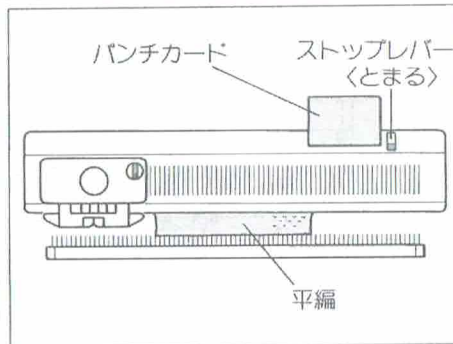
スレッド編 利用できるカード：No1_K, 2_K, 3_K, 5_K, 7_K, 8_K, 11_K, 12_K



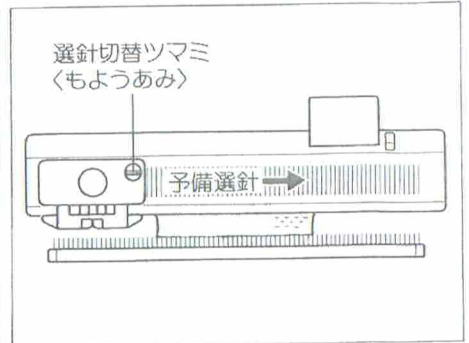
カードNo7_K



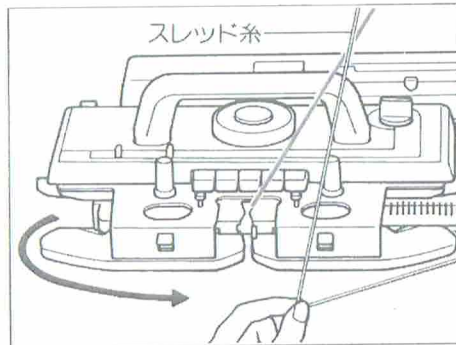
- 1** 糸取装置の右側へ地糸を、左側へスレッド糸を通します。
 ※スレッド糸が太いものや、すべりが悪いときには、糸調子を弱め（一側にし）、編目ダイヤルをあらかじめ合わせます。



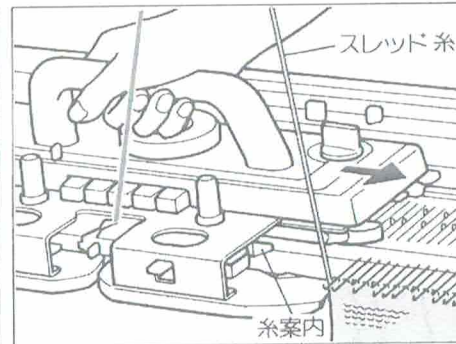
- 2** **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャリアジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。



- 3** **ステップ2** 選針切替ツマミを<もようあみ>に合わせ、Kキャリアジをゆつくり右側へ操作し予備選針をします。



- 7** スレッド糸を左側の糸案内から引き離し、編地押えの下をくぐらせKキャリアジの右側で離します。



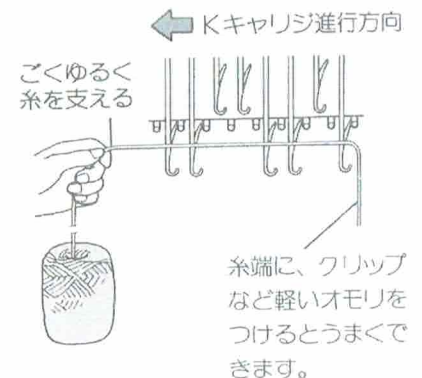
- 8** Kキャリアジを右側へ移動させ、スレッド糸が右側の糸案内に入るのを確かめてから1段編みます。このようにして毎段スレッド糸を左右の糸案内に入れ替えて編み進みます。

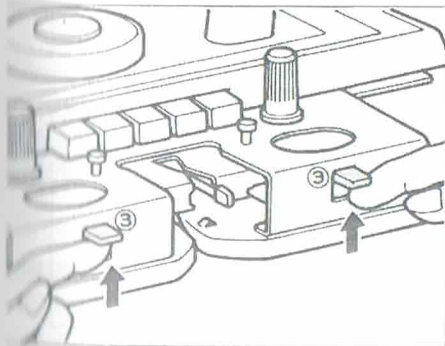
●スレッド糸が2色以上の場合

糸取装置のスレッド糸を入れ替える方法と、他のスレッド糸を手で編針の上に渡す方法があります。

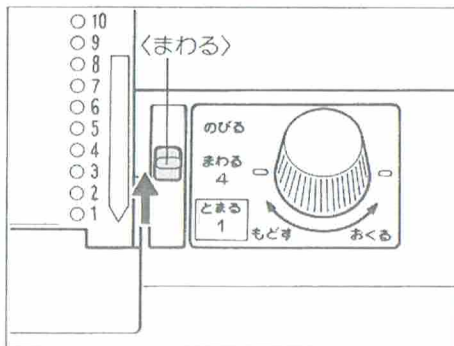
●スレッド糸を手で渡す方法

スレッド糸を必ずKキャリアジのある側からクシバに近寄らせて、選針されている編針の上に渡してから、Kキャリアジを1段操作します。毎段スレッド糸を渡しながらKキャリアジを操作して、編み進みます。

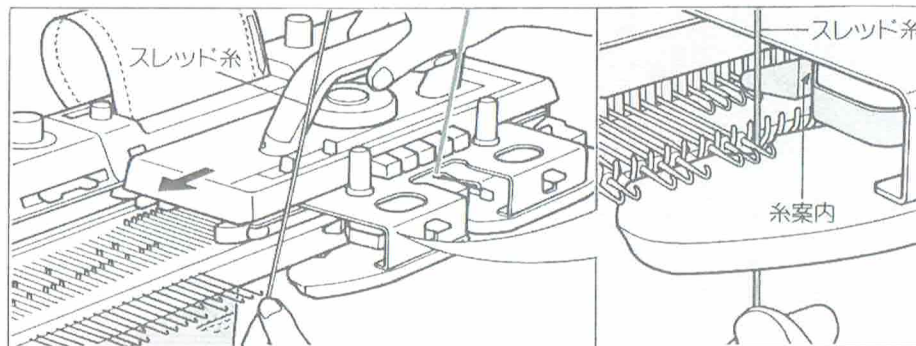




③ **ステップ3** 左右のスレッドレバーを「スレッド」に合わせます。

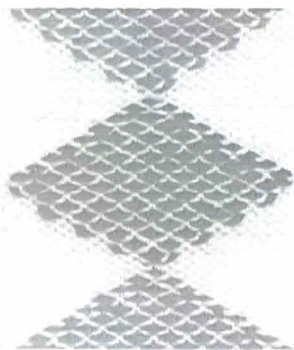


⑤ **ステップ4** ストップレバーを「まわる」に合わせます。



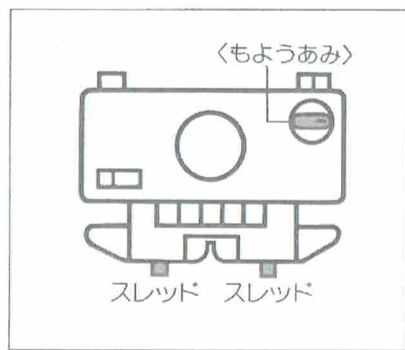
⑥ 糸取装置に休めてあるスレッド糸をKキャリジ左側の糸案内に入るように持ち、Kキャリジを左側へ1段操作します。
※スレッド糸の糸端は、1段編んで離します。

ポイント・スレッド編 利用できるカード：No1_K

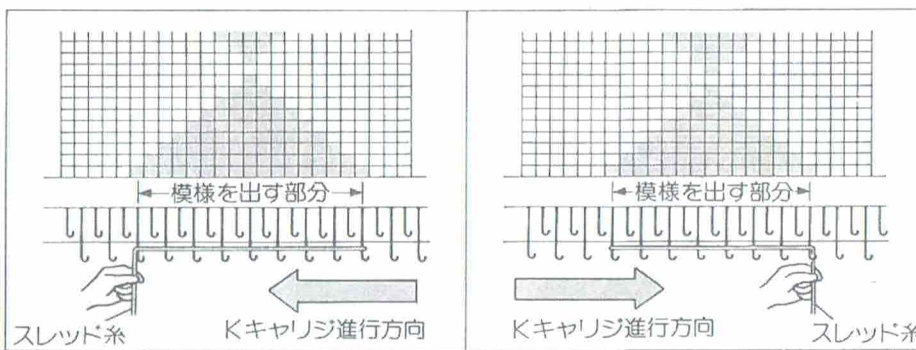


カードNo1

模様を出したい部分だけにスレッド糸を渡して編みます。



① スレッド編の②～⑤を行います。

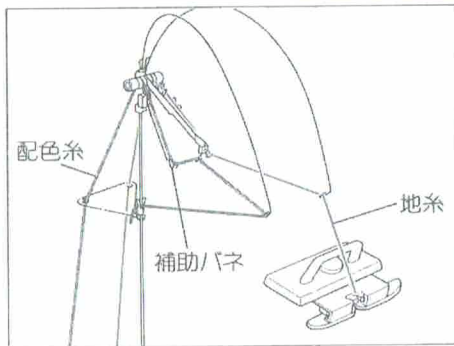


② スレッド糸を必ずKキャリジのある側からクシバに近寄らせて、模様を出す部分の選針されている編針の上に渡してから、Kキャリジを1段操作します。毎段スレッド糸を模様部分に渡しながらKキャリジを操作して、編み進みます。
※図案は、グラフ状に描いたり、ニットリーダーのシートに描きます。

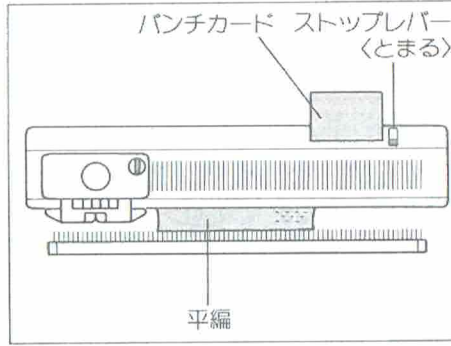
同時編込編 利用できるカード：No.1_k, 2_k, 3_k, 4_k, 5_k, 6_k, 7_k, 8_k, 9_k, 10_k, 11_k, 12_k, 13_k, 14_k, 15_k



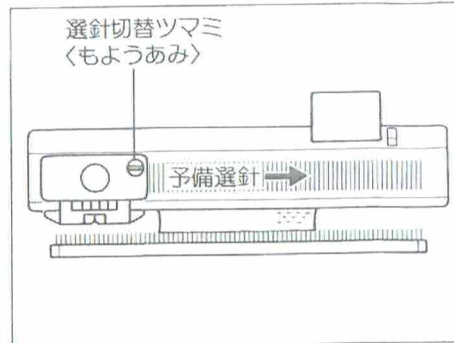
カードNo.6_k



1 糸取装置の左側に配色糸を通します。このとき、配色糸は必ず補助/バネに通してください。

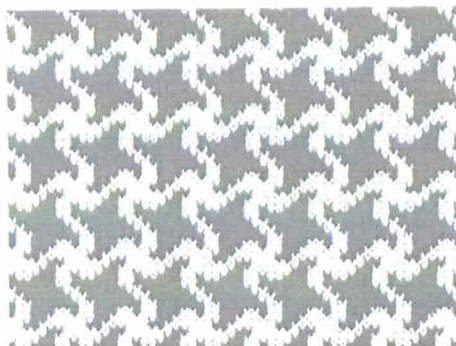


2 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャラジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。

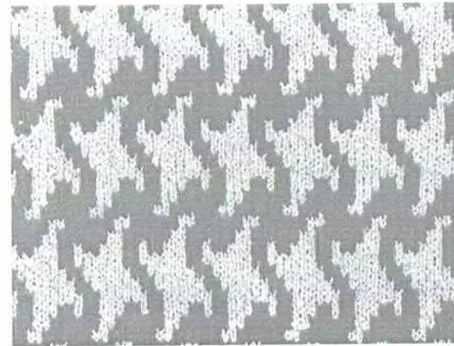


3 **ステップ2** 選針切替ツマミを<もようあみ>に合わせ、Kキャラジをゆつくり右側へ操作し予備選針をします。

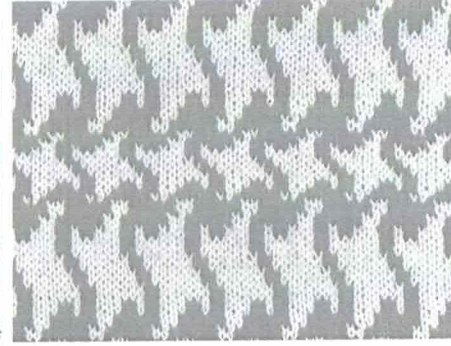
間欠送り編 利用できるカード：同時編込編と同じです。



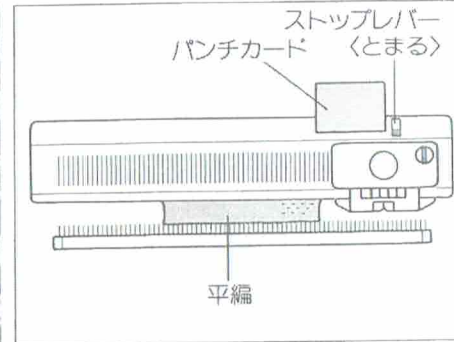
カードNo.4_k
<普通の同時編込編>



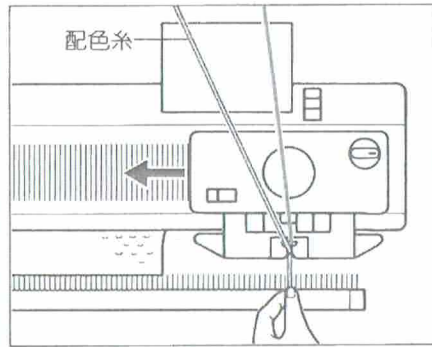
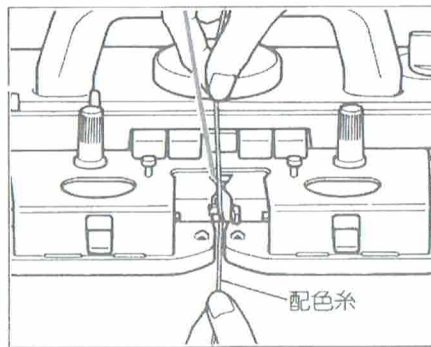
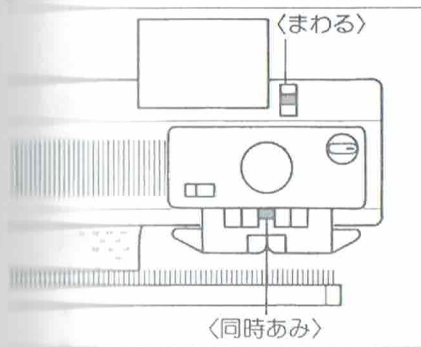
カードNo.4_k
<間欠送り使用>



カードNo.4_k
<間欠送りを部分的に使用>



1 **ステップ1** 平編を10段ほど編みKキャラジを右側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを<とまる>に合わせます。



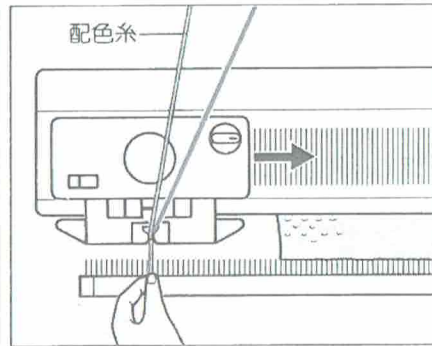
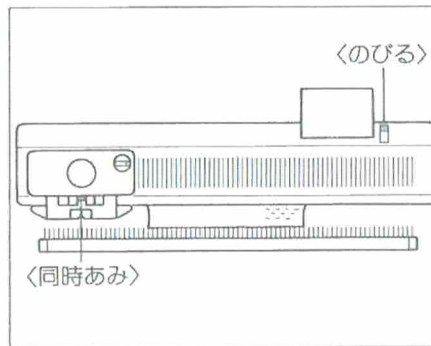
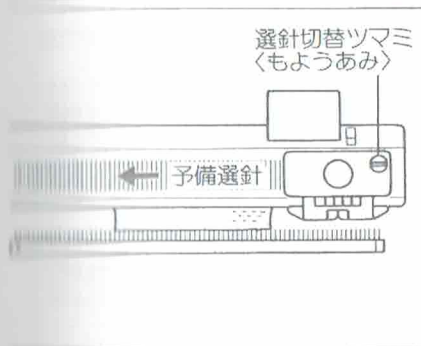
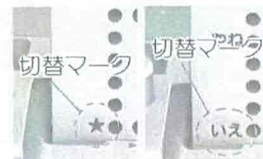
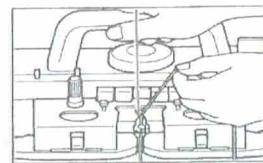
- ③ **ステップ3** カムボタンの「く同時あみ」を押します。
- ④ **ステップ4** ストップレバーを「くまわる」に合わせます。

⑥ 糸口レバーは閉じたままで配色糸を糸口へ入れます。

⑦ 配色糸の糸端を指でつまみ、かるく真下に引くようにしながらKキャリジを操作します。

●2色以上の配色糸を切り替えながら編む場合

- ①地糸を糸取装置の右側に通します。
- ②配色糸を糸取装置に通さずに足元に置きます。
(編む段数が特に多い配色糸は、糸取装置に通します。)
- ③同時編込編と同じ編み方ですが配色糸を配色糸口へ入れ、左手でかるく引きながら編みます。
- ④パンチカードの左側の切替マークがカード差込口にきたときに配色糸を切り替えます。



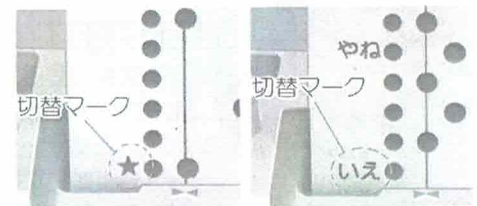
② **ステップ2** 選針切替ツマミを「くもようあみ」に合わせ、Kキャリジをゆっくり左側へ操作し予備選針をします。

- ③ **ステップ3** カムボタンの「く同時あみ」を押します。
- ④ ストップレバーを「くのびる」に合わせます。

⑤ 配色糸を糸取装置に通し、糸口に通します。配色糸の糸端を指でつまみ、かるく真下に引くようにしながらKキャリジを操作します。

●間欠送りを部分的に使う場合

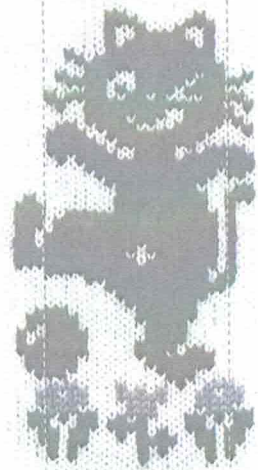
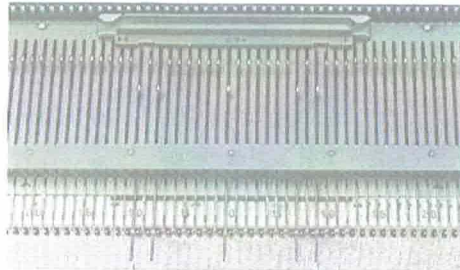
パンチカード左側の切替マークがカード差込口にきたとき(Kキャリジが左側にあるとき)にストップレバーを「くのびる」⇄「くまわる」に交互に切り替えて編みます。
*ストップレバーを「くのびる」に合わせると、カードはKキャリジを右から左へ操作したときのみ1段送られます。



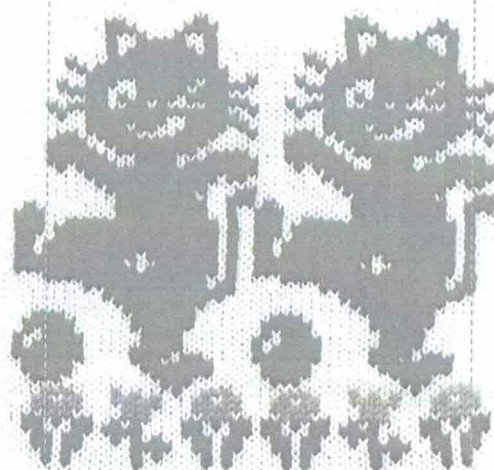
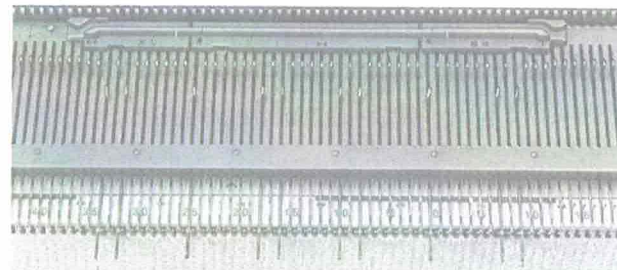
ワンポイント編 利用できるカード：No15_K，同時編込編のカードも利用できます。

ワンポイント編は、ポイントカムを使うことにより、編幅に関係なく、ポイントカムが置かれている部分にだけ模様が編める編み方です。

①24針分(ワンポイント模様)

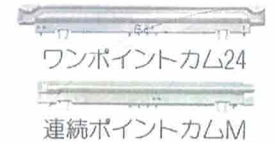


②48針分(2連続模様)



●ポイントカムの組み合わせと接続方法

ポイントカムには、ワンポイントカム24と連続ポイントカムL、M、Rの4種類があります。

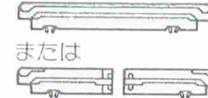


連続ポイントカムL 連続ポイントカムR

連続ポイントカムは組み合わせにより、模様幅を24針、48針、72針の3段階に増大させることができます。

※連続ポイントカムL、M、Rはそれぞれ単独で使うことはできません。

●24針分(ワンポイント模様)



●48針分(2連続模様)



●72針分(3連続模様)

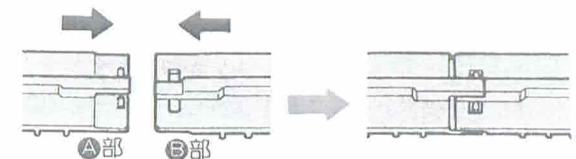



接続の方法

図のように、それぞれの先端A部とB部を合わせて“パチッ”と音がするまではめ込みます。

※接続をはずすときは、引き抜けばはずれます。

※連続ポイントカムを接続する場合は、LとRが必ず両端になる組み合わせで接続します。



ここでは、ワンポイントカム24を使用し、の編地を例にしますが、連続ポイントカムを使用するときも操作は同じです。

用意するもの

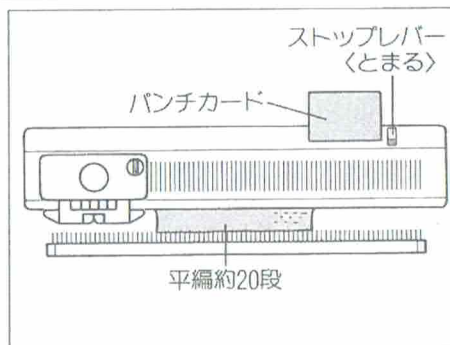
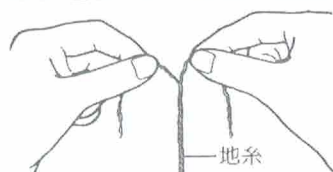
- パンチカードNo15k
- 地糸・配色糸(3色…葉・花・ねこ)
- 別糸—地糸と同じ色で地糸より細い編糸カナイロン糸(2本…各50cm)

●別糸について

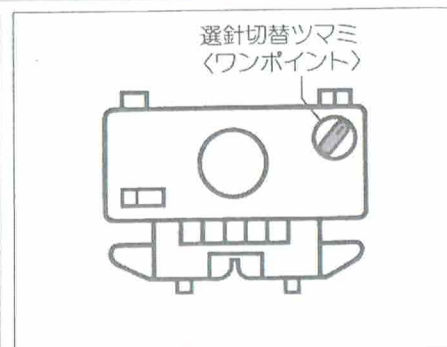
ワンポイント模様は、配色糸が一部分の編地だけに編み込まれますので、そのままでは模様の両側に穴があいた状態になってしまいます。

美しい模様を編むために、毎段Kキャリジのある側に別糸(または透明糸)をかけて編みます。

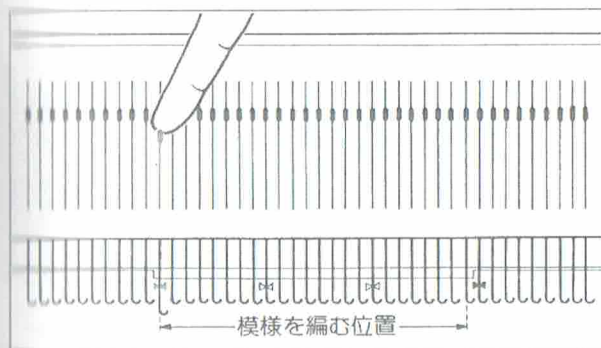
地糸を2本に割って別糸にする方法



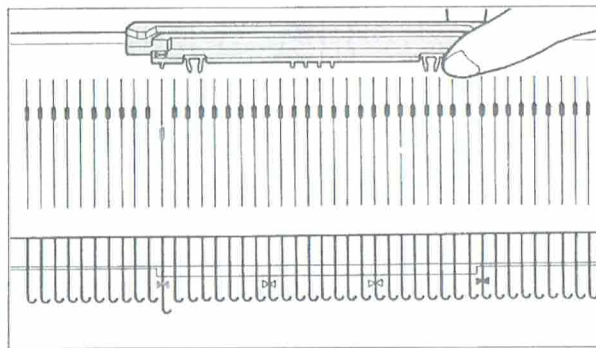
1 **ステップ1** 地糸で平編を20段ほど編み、Kキャリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを「とまる」に合わせます。



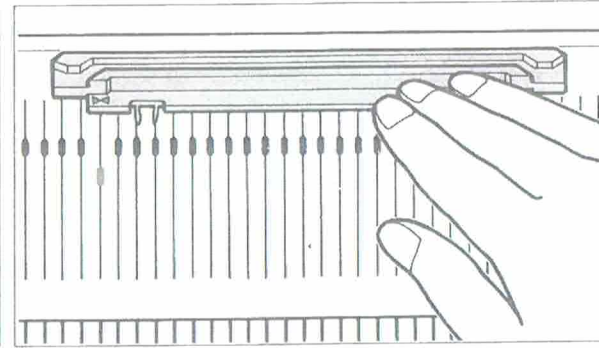
2 **ステップ2** 選針切替ツマミを「ワンポイント」に合わせます。



3 ミゾ板目盛板の選針マークを参照して、カムのセット位置を決めます。
※模様を編む位置の選針マーク左端の▶▶マークの編針を少し出すとポイントカムを置く位置がわかりやすくなります。

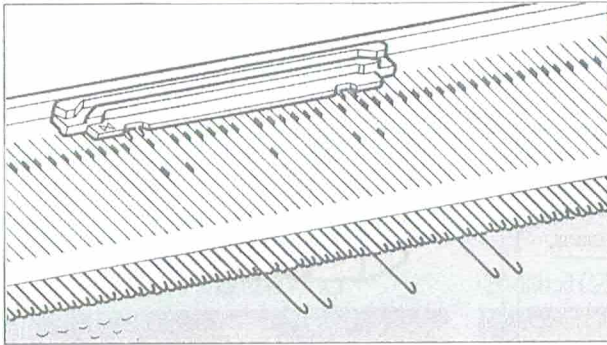


4 ワンポイントカム24の▶▶マークを左側にして持ち、ポイントカムの▶▶マークを出しておいた編針の位置に合わせてセットする位置を決めます。

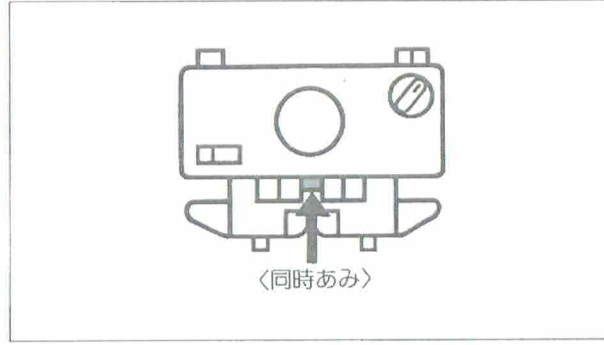


5 ポイントカム表面のツメをミゾ板のミゾにはめ、ポイントカムの後側を少し浮かせながら、後レール側(後レールのピンがかくれるまで)へ平行に押しつけて固定します。
※正確にはまっていないと、ポイントカムがとびだしたり、ポイントカムを痛めることにもなります。

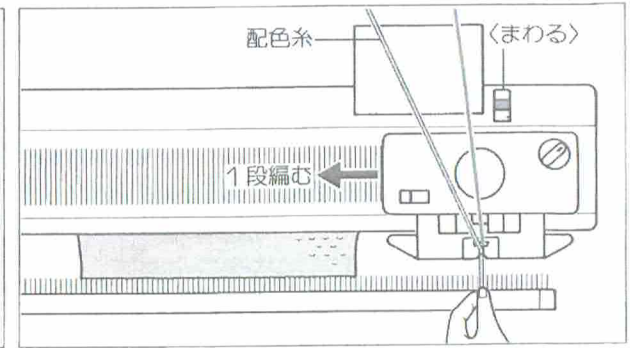
ワンポイント編



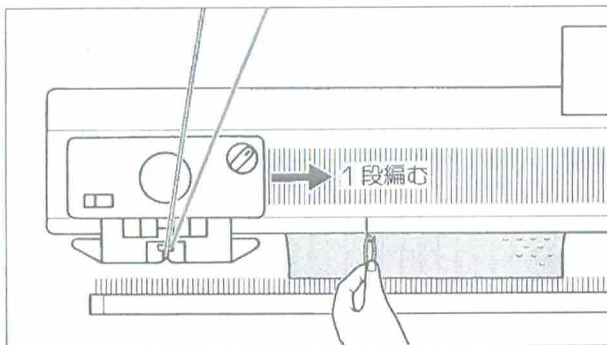
6 Kキャリジを右側へゆっくり操作し予備選針をします。
※ポイントカムをセットした部分だけが選針されます。



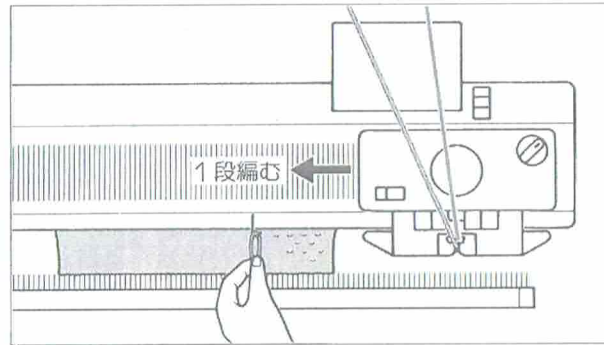
7 **ステップ3** カムボタンの〈同時あみ〉を押します。



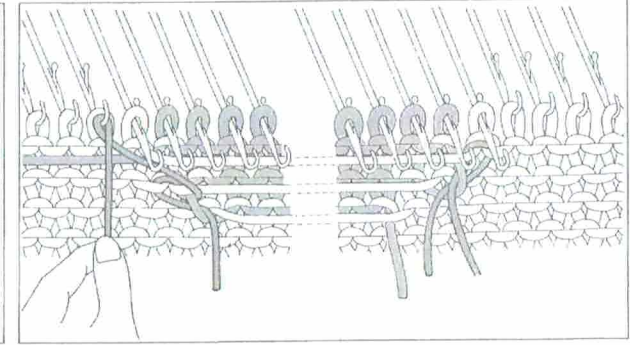
8 **ステップ4** ストップレバーを〈まわる〉に合わせます。配色糸（葉を編む色糸）を糸糸口に入れ、糸端を軽くつまんで左側へ1段編みます。



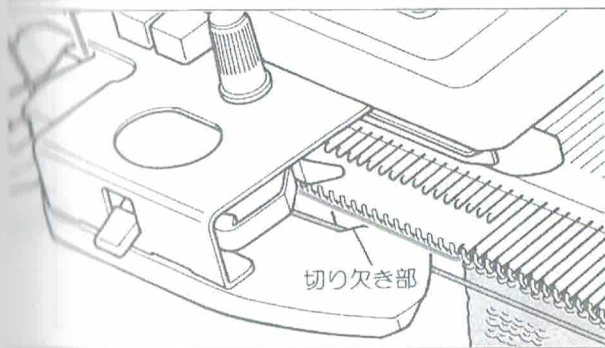
10 別糸を軽く持ったままKキャリジを右側へ1段操作します。



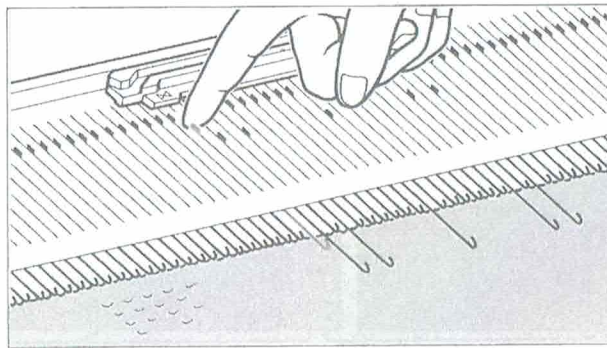
11 右側（Kキャリジのある側）で、選針されている端針のすぐ右隣のB位置の編針に、用意したもう一本の別糸を9と同じ要領でかけ、Kキャリジを左側へ1段操作します。



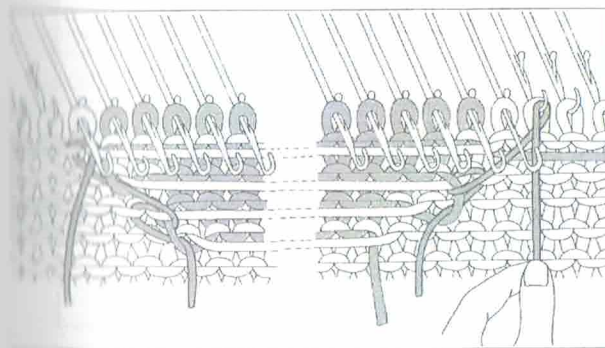
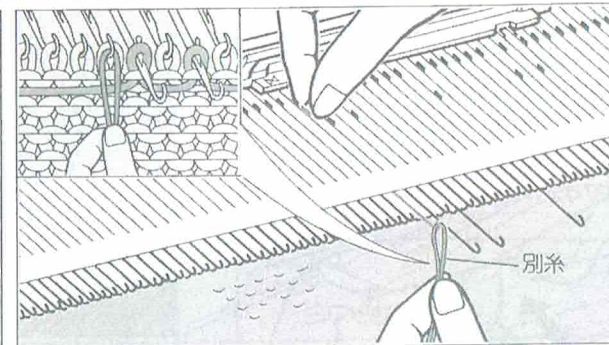
12 1段編むごとにKキャリジのある側で、模様にあがらないように別糸をかけながら編み進みます。
●Kキャリジが左側にきたときは…
別糸を、選針されている端針のすぐ左隣のB位置の編糸に外側から内側へかけ、指でかるく下に引きます。



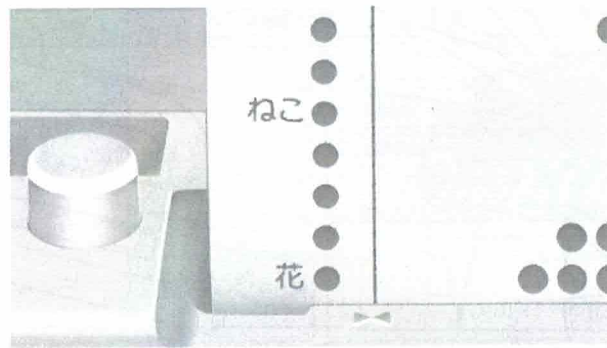
※この隙からは配色糸が編地押えの切り欠き部から下側に通るのを確かめ、編糸の糸たるみをなくしてから編んでください。もしはずれたときは下側に直し直します。



9 左側(Kキヤリジのある側)で、選針されている端針のすぐ左隣のB位置の編針を少し出し、用意した別糸をかけて指で軽く下に引きB位置にもどします。



※キヤリジが右側にきたときは…
別糸巻、選針されている端針のすぐ右隣のB位置の編針に別糸から内側へかけ、指でかるく下に引きます。



13 カード差込口に、切替マーク(花・ねこ)がきたら、いま編んできた配色糸を糸取装置・糸糸口からはずし、これから編む配色糸と入れ替えて編みます。

14 パンチカードのスタートラインが、カード差込口のスタート位置にもどったら、配色糸とワンポイントカム24をはずします。選針切替ツマミを〈ひらあみ〉にもどし、平編を数段編んで終わります。



※同時編込編のパンチカードを使用するときは、編み込みたい部分が編めたところで、平編の操作に切り替えます。

レース編／タックレース編 利用できるカード：レース編はNo16_k～No20_k タックレース編はNo16_k, 17_k, 19_k, 20_k

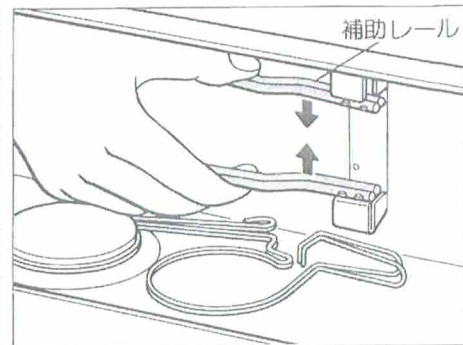
レース編・タックレース編は、LキャリジとKキャリジを使って編みます。LキャリジのL切替ツマミをレース編のときは〈レース〉、タックレース編のときは〈タックレース〉に切り替えて編みます。他の操作は同じです。



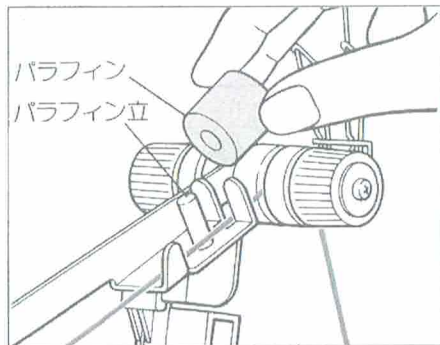
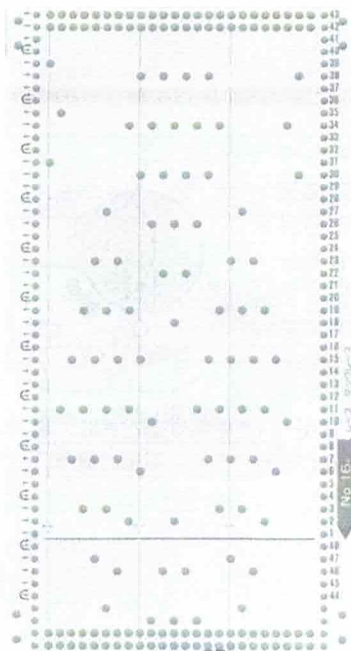
カードNo16_k
レース模様



カードNo16_k
タックレース模様



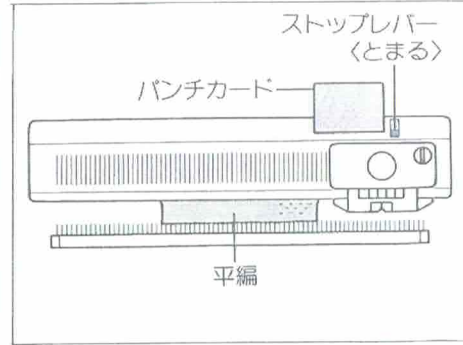
1 補助レール2本をケースから取り出します。



6 パラフィンケースからパラフィンを取り出し、編糸の上になるように糸取装置のパラフィン立にはめます。
※レース編・タックレース編のときは、編糸のすべりをよくするため必ず使用します。

編糸タイプ		編目ダイヤル
極	細	4 ~ 5
合	細	4 ~ 5
綿・化繊レース		4 ~ 5
中	細	5 ~ 6

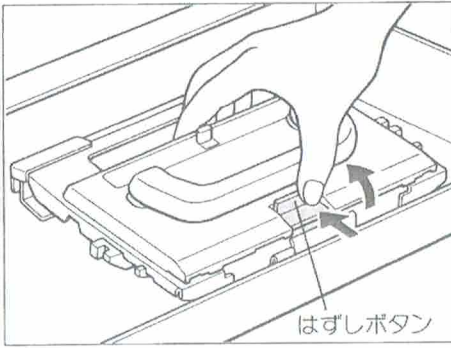
7 編目ダイヤルを、使用する編糸のタイプに応じ、上表の目盛りに合わせます。



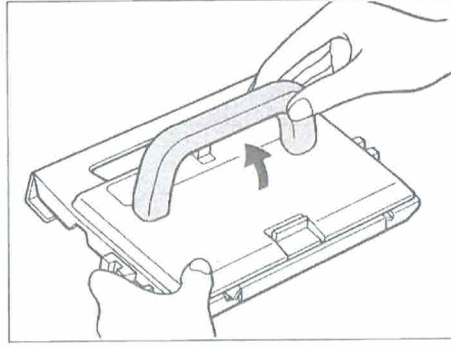
8 平編を10段ほど編み、Kキャリジを右側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを〈とまる〉に合わせます。



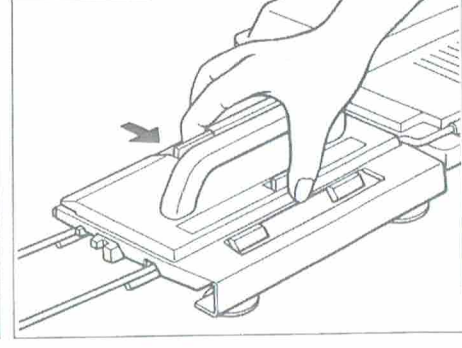
2 補助レールのツメを上にして、本体両端の補助レール差込口と補助レール受け板に、左右とも確実に差し込みます。



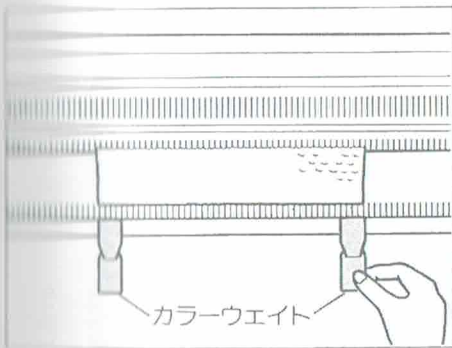
3 ケースに収めてあるLキャリアジのはずしボタンを矢印の方向に押し取り出します。



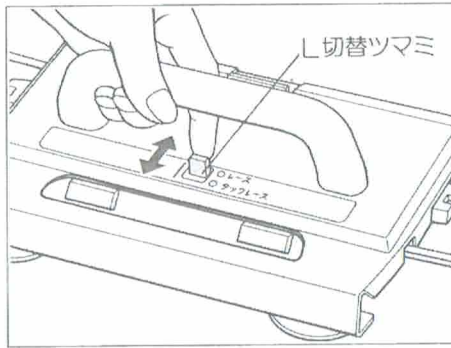
4 ハンドルを矢印の方向に引き上げておこします。



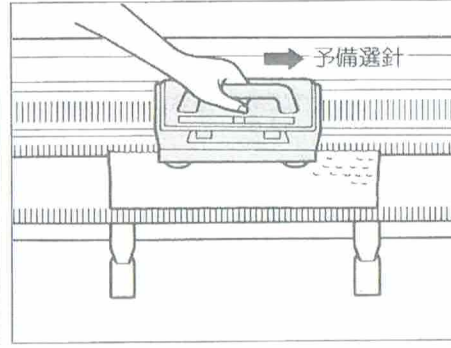
5 はずしボタンを手前に引き、左側の補助レールの上に正しくのせます。
※正しくのっていないとミノ板に滑り込ませることができません。



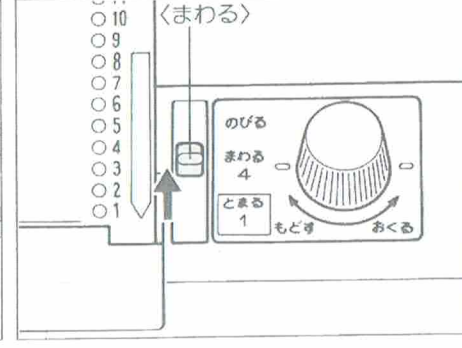
9 カラーウェイトを左右均等にかけます。
※レース編・タックレース編のときは、必ずカラーウェイトをかけます。



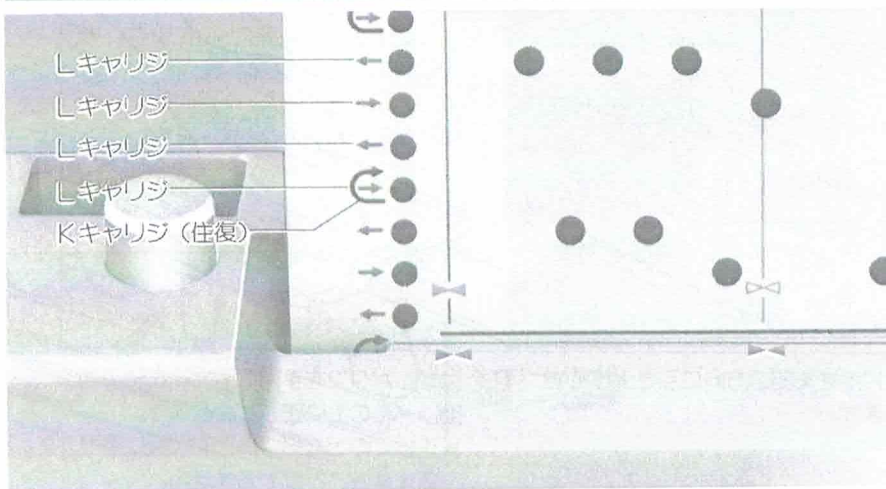
10 LキャリアジのL切替ツマミをレース編のときは〈レース〉、タックレース編のときは〈タックレース〉に合わせます。



11 Lキャリアジを補助レールからミノ板に滑り込ませ、そのまま右側へゆっくりと操作して予備選針をします。

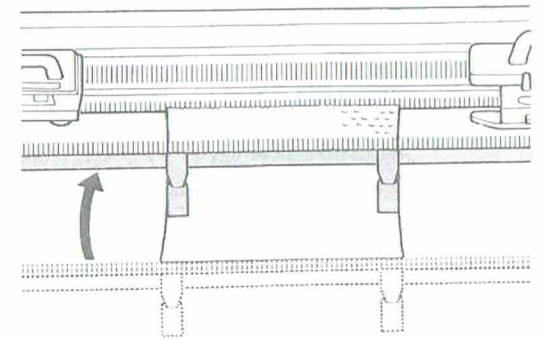


12 ストップレバーを〈まわる〉に合わせます。



- ←……Lキャリジを右から左へ操作します。
- ……Lキャリジを左から右へ操作します。
- ↻……Kキャリジで2段編んでからLキャリジを左から右へ操作します。

※ 編み進んで編地が長くなったら、編出シとカラーウエイトをかけ直します。

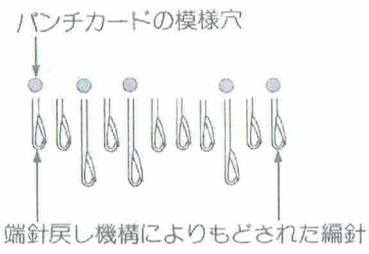


13 パンチカードの矢印に従って、Lキャリジ・Kキャリジを操作して編みます。

◀知識メモ▶

●端針戻し機構

編地の端目を保つため、両端の編針はパンチカードの模様穴に関係なく、自動的にB位置にもどされます。

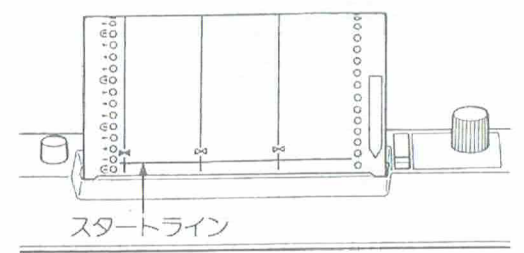


※ LキャリジとKキャリジの混合模様を針抜きで編む場合には、端針戻し機構を解除します。(46ページ参照)

●レース編・タックレース編の場合は、編針が2本以上ならんで選針されると編めません。

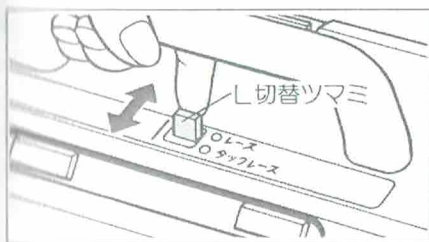


●スタートラインのすぐ下のE印がカード差込口にきたとき、パンチカードが1周したことを示します。



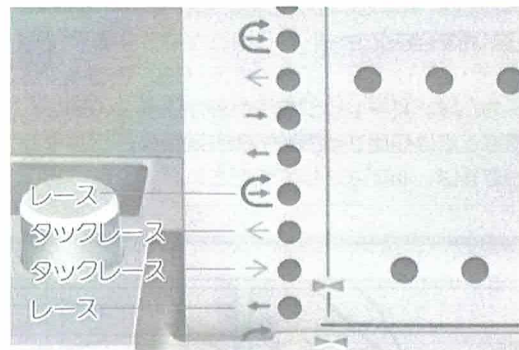
レース・タックレース混合編 利用できるカード：No19k

レース編、タックレース編と同じ編み方ですが、カードの矢印に従って段ごとにL切替ツマミを〈レース〉・〈タックレース〉に切り替えながら編みます。〈レース〉から編み始めるか〈タックレース〉から編み始めるかで、編み上がる模様が異なります。



- 1 レース編、タックレース編の①～④をします。
- 2 パンチカードの赤い矢印によるL切替ツマミの切り替え方を決めます。
 (← をレース、 → をタックレース) のどちらかに決めます。
 (→ をタックレース、 ← をレース)
- 3 L切替ツマミをカードの矢印に従い〈レース〉・〈タックレース〉に切り替えながら編みます。

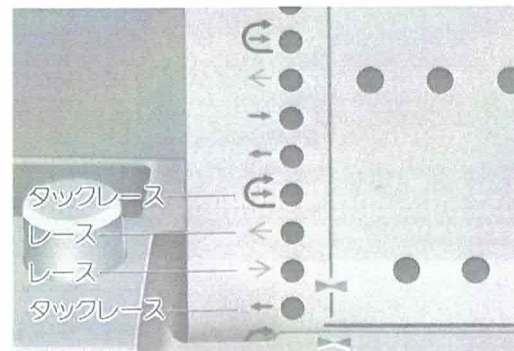
●〈レース〉から編み始める場合
(← : レース、 → : タックレース)



カードNo19k



●〈タックレース〉から編み始める場合
(→ : タックレース、 ← : レース)

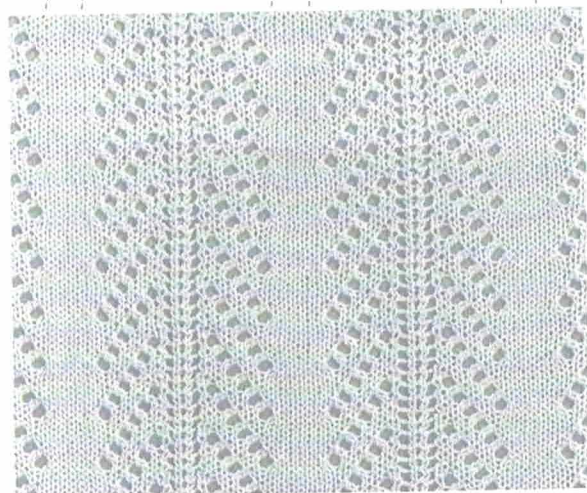
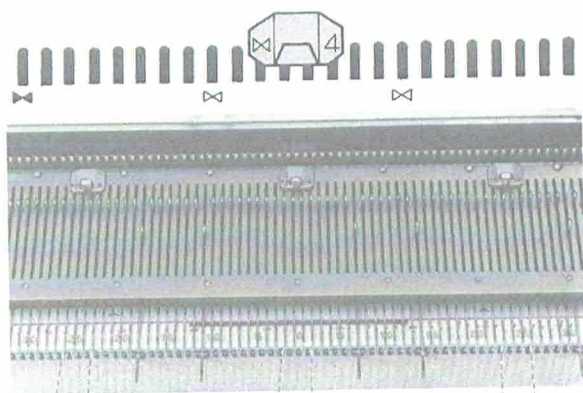


カードNo19k



ポイント・レース編 利用できるカードは、レース模様と同じです。

Lポイントカムを使うと、レース模様・タックレース模様などの模様の一部が消え、レース模様と平編とをミックスした模様を編むことができます。



Lポイントカム

4針用

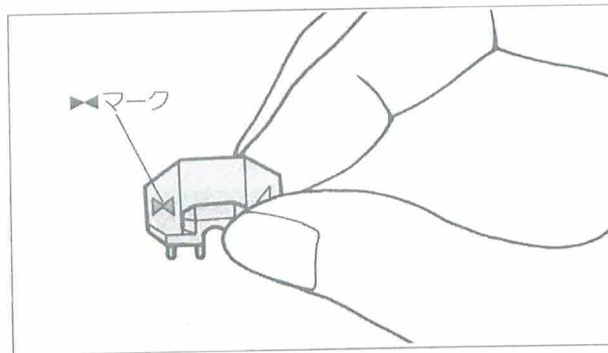


8針用

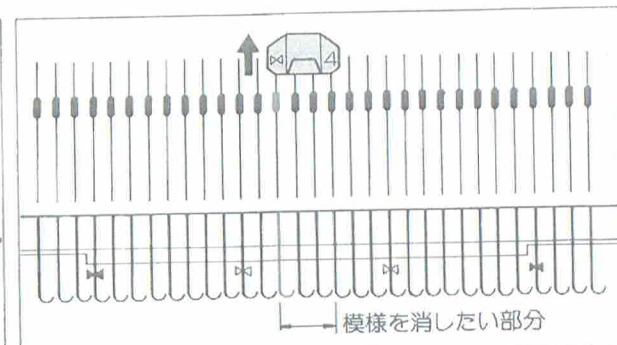


- Lポイントカムが置かれている部分の模様が消え平編を編みます。
 - Lポイントカムは、消したい部分の幅に応じて、4針用・8針用を自由にセットすることができます。
- ※ Lポイントカムは、Kキャリジを使ったワンポイント模様などには使用することができません。編み終わった後は、必ずはずしてください。

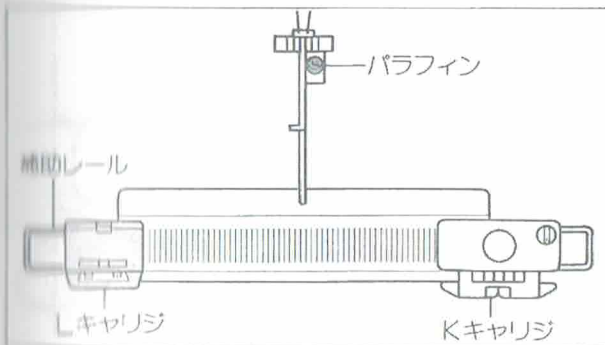
- Lポイントカムのセットのしかたは4針用・8針用とも同じです。
- ここでは4針用のLポイントカムとNo.20kのパンチカードを使用した模様を例に説明します。
- レース模様を編むときと同じように編みます。



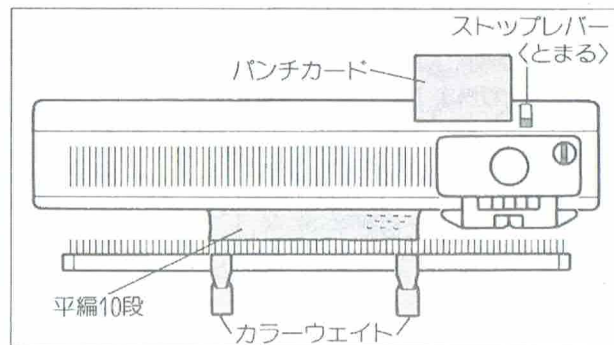
5 Lポイントカムのツメを下にして ◀ マークが左側になるように持ちます。



6 Lポイントカムの▶マークと、模様を消したい部分の左端の編針を合わせ、そのままLポイントカムのツメをB位置の編針の後ろのミゾにはめ込み、後レール側いっぱい押しつけます。

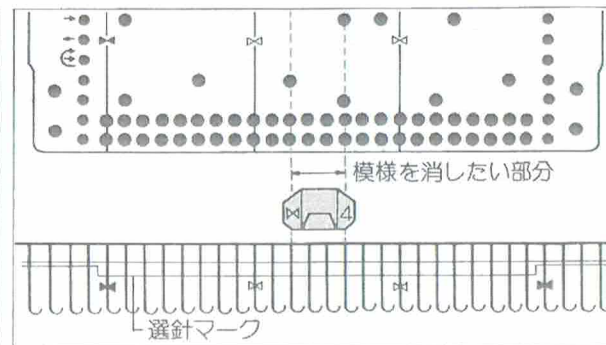


1 補助レール、Lキャリジ、パラフィンを、レース編・タックレース編の①~⑦の要領で取り付けます。

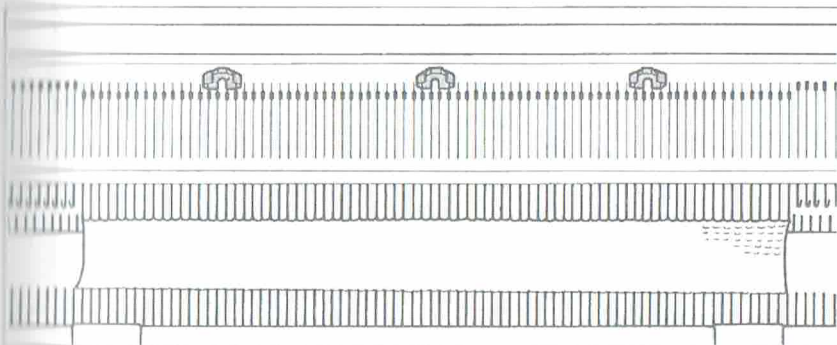


2 平編を10段ほど編み、Kキャリジを右側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを「とまる」に合わせます。

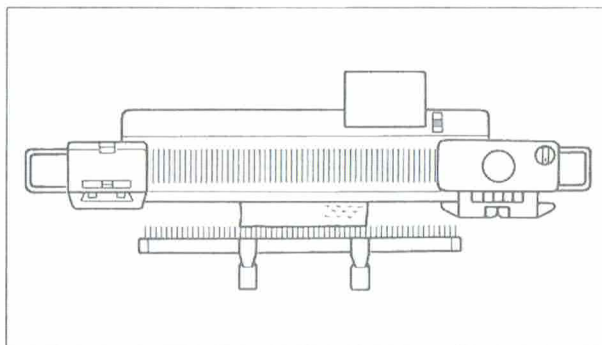
3 カラーウエイトを左右均等にかけます。



4 パンチカードと、ミゾ板目盛板の選針マークを対比させ、模様を消したい部分の位置を決めます。



7 編幅すべての選針マークに対して、模様を消したい部分にLポイントカム4をセットします。

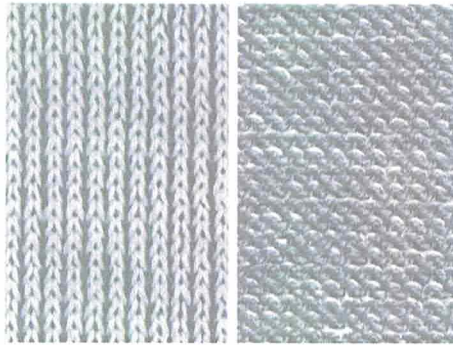


8 レース編・タックレース編の⑩~⑫を行います。

ご注意

Lポイントカムを使ってレース模様・タックレース模様を編むときは、Lキャリジをゆづくり操作してください。

添え糸編



表

裏

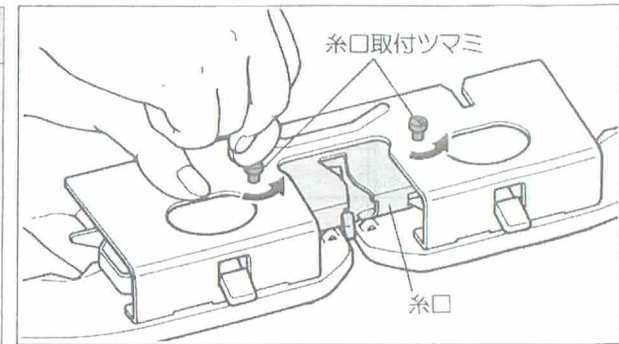
2本の編糸を同時に表裏に編み分ける編み方です。地糸口の編糸が表目側に、添え糸口の編糸が裏目側にあらわれます。

※添え糸・アーガイル用糸口を使用します。

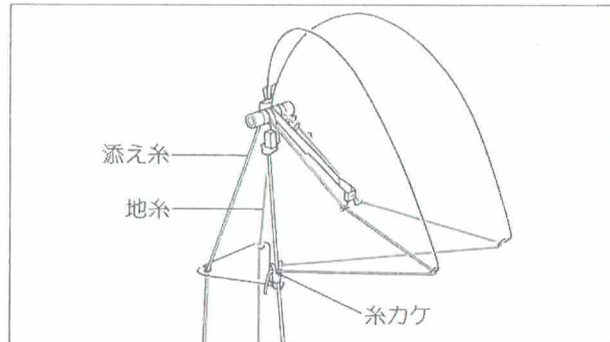
※Kキャラリジは〈ひらあみ〉の状態に編みます。



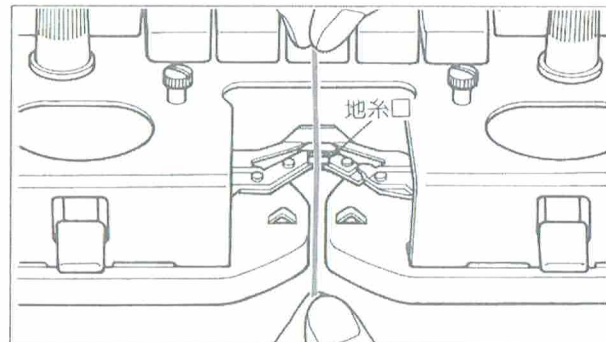
編糸タイプ	編目ダイヤル
極細と極細	4 ~ 5
細と極細	5 ~ 6
細と細	6 ~ 7
合細と極細	6 ~ 7
合細と細	7 ~ 8
合細と合細	8 ~ 9



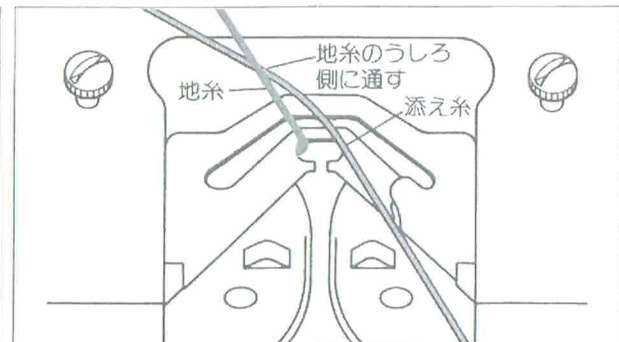
- 1 編地押えをKキャラリジからはずし、編地押え上面の糸口取付つまみを⊖ドライバー・ガコインでゆるめ、糸口をはずします。
※糸口取付つまみはなくさないように注意してください。



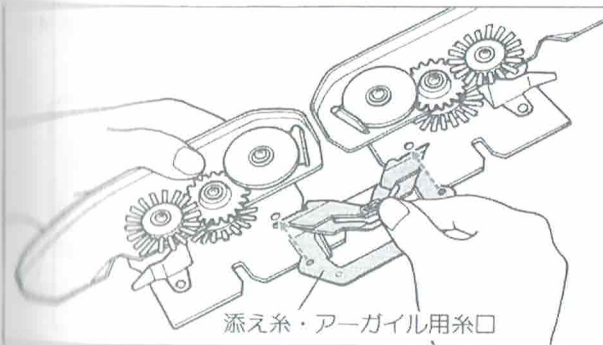
- 5 糸取装置に地糸と添え糸を通します。
※地糸は糸取装置の右側に、添え糸は左側に通します。



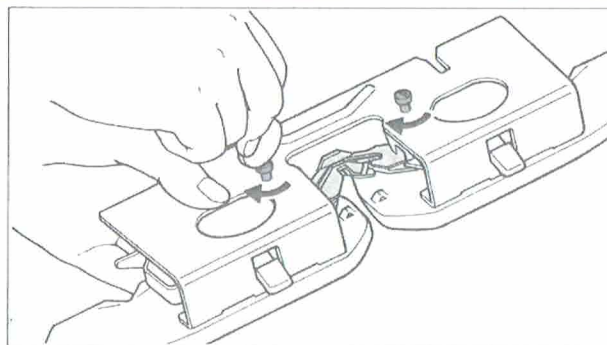
- 6 地糸を地糸口に入れて平編を10段ほど編み、Kキャラリジを右側に置きます。



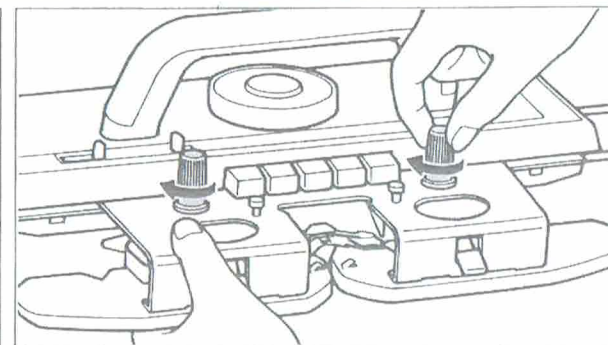
- 7 添え糸を地糸のうしろ側になるように通します。



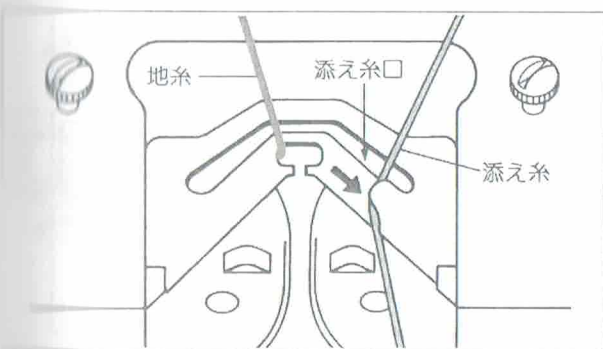
2 添え糸・アーガイル用糸口を図のように合わせます。



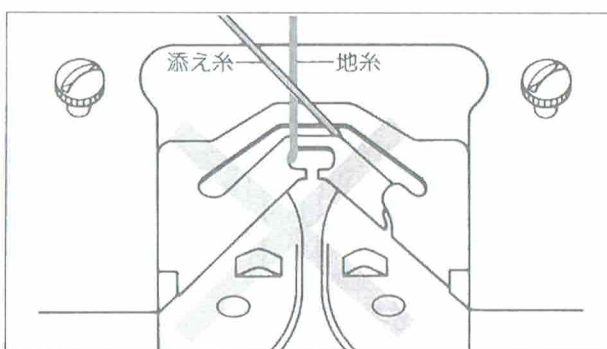
3 2本の糸口取付ツマミを編地押えの上面の穴から差し込み、そのまま締め付けます。



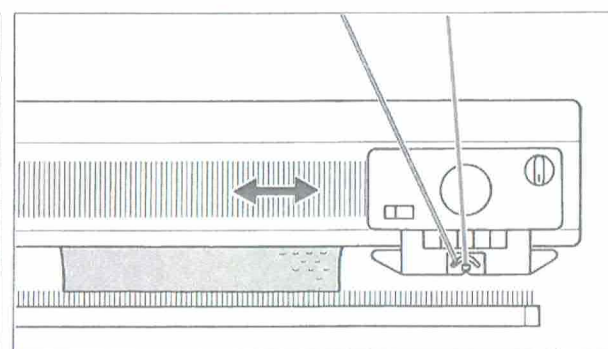
4 糸口の取り替えがすんだら、編地押えをKキャリジに取り付けます。



5 糸端を添え糸口に入れます。

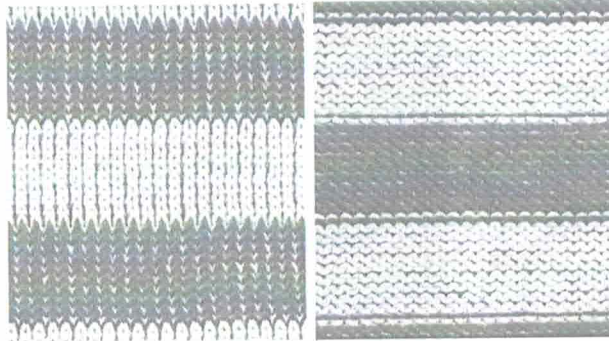


※添え糸を添え糸口に入れるときは、地糸と添え糸を交差させないようにしてください。



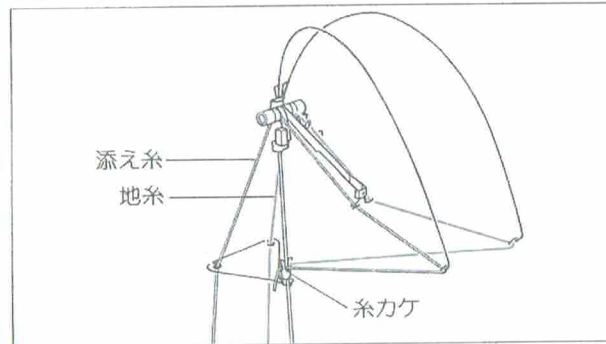
9 Kキャリジを左右に操作します。

添え糸編 (地糸と添え糸を入れ替えて編んだ場合)

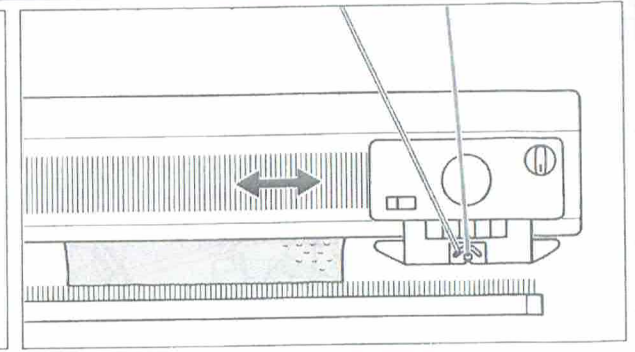


表

裏

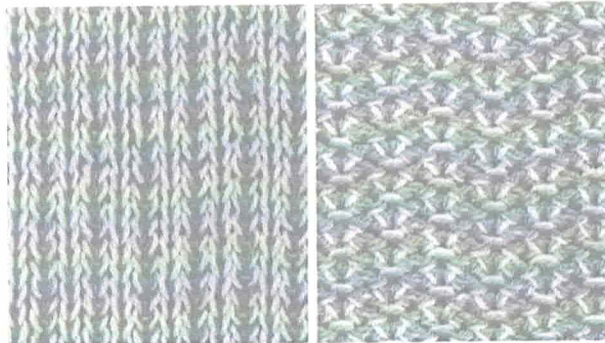


- 添え糸編と同じ操作ですが、地糸と添え糸の糸口を切り替えて編みます。
- ※ 編糸を入れ替えるときは必ず、地糸口の編糸からはずし添え糸口に入れる編糸から入れます。



- 1 地糸で平編を10段ほど編み・添え糸を添え糸口へ入れ編み進みます。

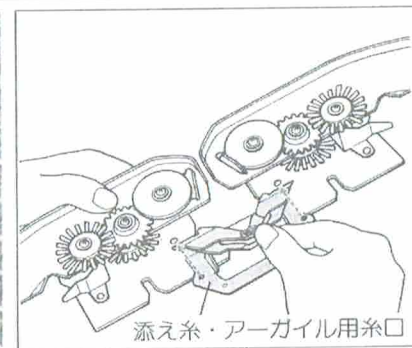
添え糸タック編 利用できるカード：No.1k, 3k, 8k



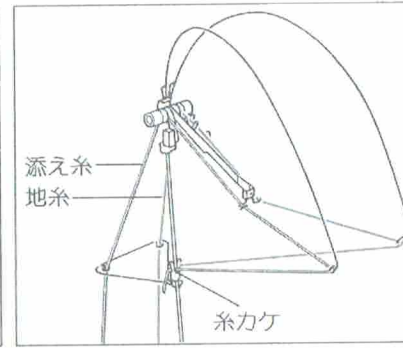
カードNo.3k
表

裏

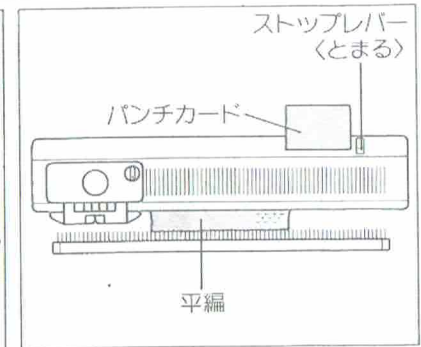
添え糸タック編は、添え糸・アーガイル用糸口を使用し、タック編と同じ手順で編みます。



- 1 添え糸編と同じ要領で、糸口と添え糸・アーガイル用糸口とを入れ替えます。

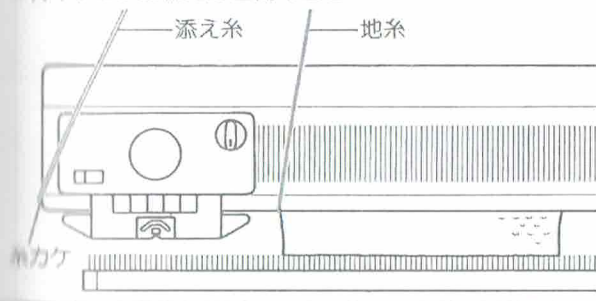


- 2 糸取装置に地糸と添え糸を通します。

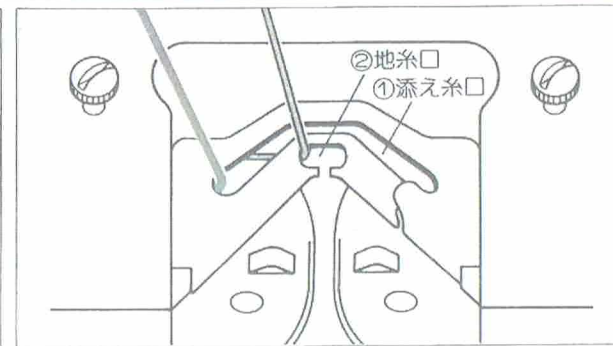
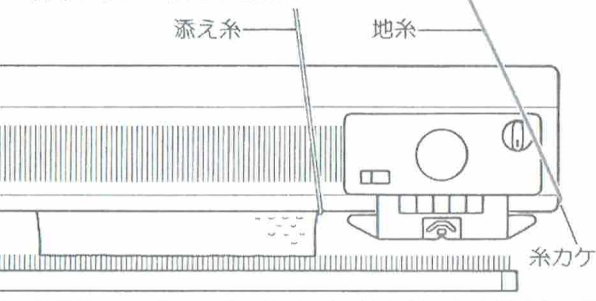


- 3 **ステップ1** 地糸を地糸口に入れ平編を10段ほど編みKキャリジを左側に置きます。パンチカードをセットし、ストップレバーを「とまる」に合わせます。

● Kキャリジが編地の左側するとき



● Kキャリジが編地の右側するとき



② 地糸と添え糸を糸口からはずし休めます。

① 地糸口の編糸をはずし休めます。

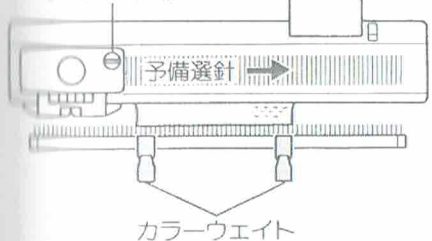
② 添え糸口の編糸をはずし休めます。

● 地糸 (糸取装置の右側に通した編糸) — 糸口より右側で休めます。

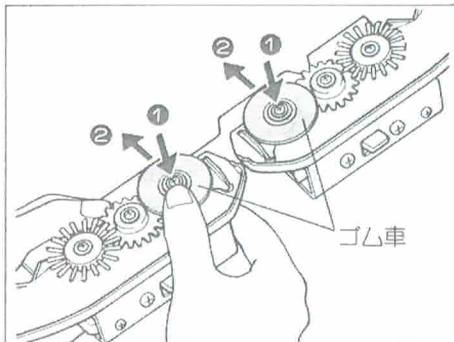
● 添え糸 (糸取装置の左側に通した編糸) — 糸口より左側で休めます。

③ ①添え糸口、②地糸口の順に編糸を入れ替えて通します。

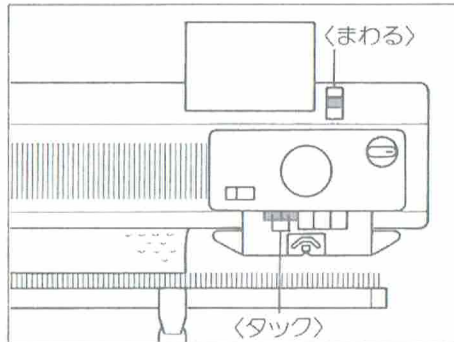
選針切替つまみ
(もようあみ)



② **ステップ2** 選針切替つまみをくもようあみ)に合わせ、予備選針をします。
③ カラーウェイトを左右均等にかけます。

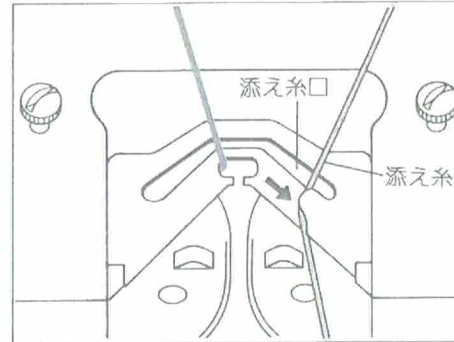


⑥ タック編と同じ要領でゴム車を出します。



⑦ **ステップ3** カムボタンの「くまわる」左右を同時に押します。

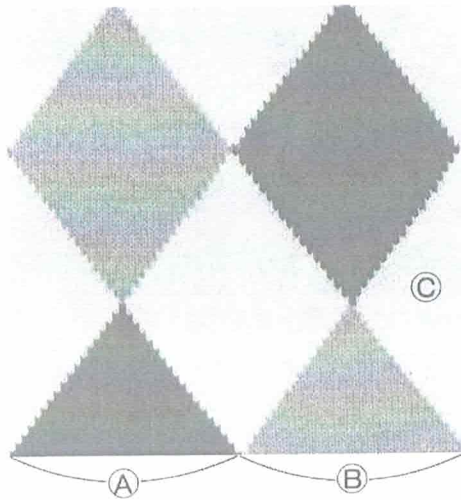
⑧ **ステップ4** ストップレバーを「くまわる」に合わせます。



⑨ 添え糸を添え糸口に入れ、Kキャリジを左右に操作し編み進みます。

アーガイル編

裏面に編糸が渡らない編み方です。



- 1段の間で何色でも編め、しかも変化のある模様を好みの大きさに編むことができます。
- 図案は、お好みにより自由に決めてください。楽しい図案を考えていろいろ編んでみましょう。
- ※ 編糸の本数は、模様に関係なく、編糸を交換する回数分だけ用意します。
- ※ 編糸は、糸取装置に通さずに足もとに置きます。
- ※ Kキャリジは平編の状態にセットし、糸口を添え糸・アーガイル用糸口に取り替えます。

← Kキャリジを右から左へ操作する場合

糸口取付つまみ 地糸口
Aの編糸 Bの編糸

糸口取付つまみ 地糸口
Bの編糸 Aの編糸

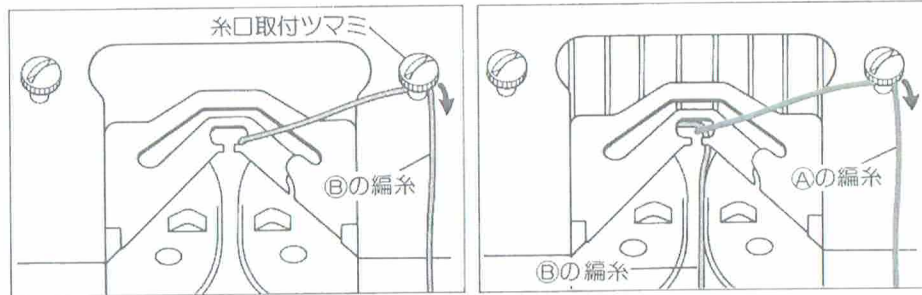
② 編糸の交換位置まで編めたら、②の部分
を編む編糸を地糸口に入れ、上図のよう
にAの編糸をはずし、Bの部分を編みます。

① Aの部分で編む編糸を地糸口に入れ、糸
口取付つまみにかけてKキャリジを操作
します。

③ ②の部分で編む編針 編糸交換位置 Aの部分で編む編針

→ Kキャリジを左から右へ操作する場合

- ③ 編糸を交換する回数分繰り返して、編み進みます。

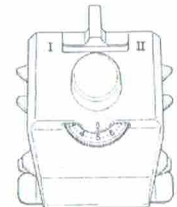


- ④ 1段編み終わったら、編糸を反対側の糸口取付つまみにかけ、Kキャリジを操作します。

- ⑤ 編糸の交換位置まで編めたら、編糸を入れ替え、上図のように糸口の部分で交差させるようにして編み進みます。
(編糸の交換位置で穴があかないようにするためです。)

アーガイルキャリジ (別売) について

アーガイル模様をより早く美しく編むためにアーガイルキャリジをおすすめします。

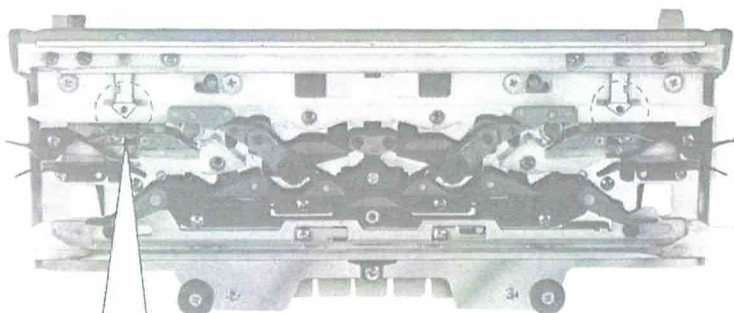


前もって編針のフックに編糸を手渡ししておき、アーガイルキャリジを操作するだけで編むことができます。

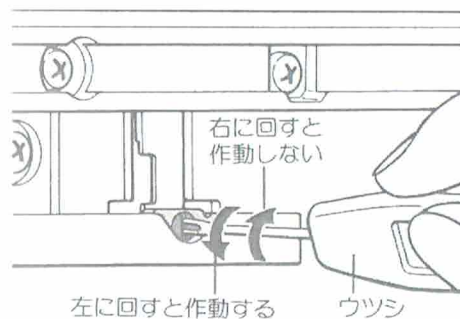
●針抜きで模様編を編む場合

選針切替ツマミが〈もようあみ〉の位置のときに、次の操作を行います。

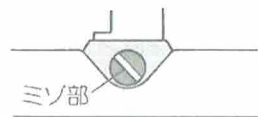
- ① Kキャラジを本体からはずし、裏返します。
- ② Kキャラジの端針選針機構を左右とも作動しないようにします。(下図参照)
- ③ Kキャラジを本体にもどして編み進みます。



●左側の場合



作動しないときのミノ部の状態



作動するときのミノ部の状態



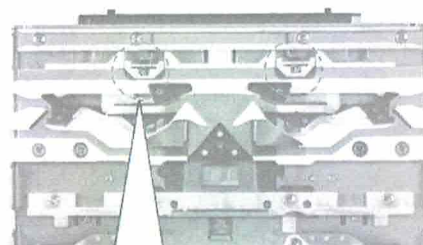
●右側の場合

左側とは作動切替のミノ部を回す方向が逆になります。

※針抜き模様を編み終えたあとは、必ず端針選針機構を左右とも、作動するようにしておきます。

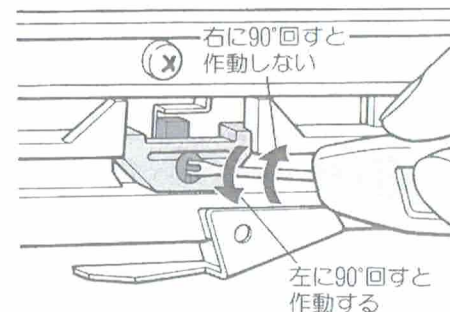
●LキャラジとKキャラジの混合模様を針抜きで編む場合

- ① LキャラジとKキャラジを本体からはずし、両方とも裏返します。
- ② Lキャラジの端針戻し機構と、Kキャラジの端針選針機構を左右とも作動しないようにします。(下図参照)
※Kキャラジの端針選針機構を作動させたり、または作動しないようにするには左記を参照してください。
- ③ それぞれの機構を作動しないようにしたら、LキャラジとKキャラジを本体にもどし、カードの指示に従って編み進みます。



※Lキャラジの端針戻し機構が作動していないあいだは、Lポイントカムによる部分消しはできません。

●左側の場合



作動しないときのミノ部の状態



作動するときのミノ部の状態



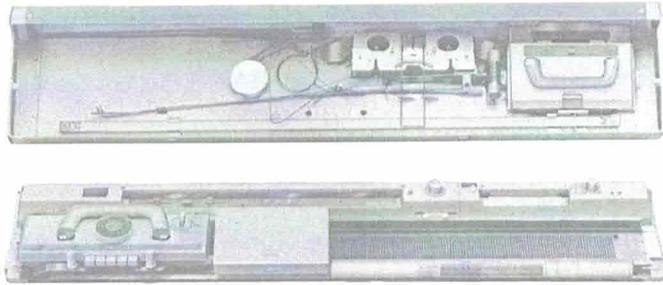
●右側の場合

左側とは作動切替のミノ部を回す方向が逆になります。

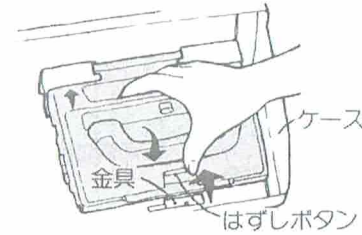
※編み終えたあとは、必ず両キャラジの機構を左右とも、作動するようにしておきます。

編機のしまい方

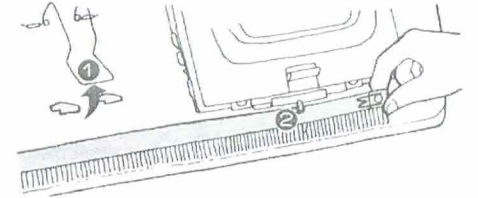
収納状態 ケース内側に表示してある番号順に収めます。



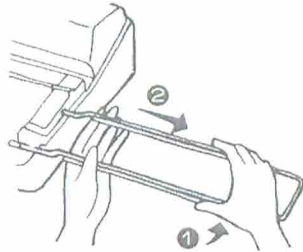
1 Lキャリジのハンドルをたおして絵の上
に正しくのせ、はずしボタンを押し
て金具にかけます。



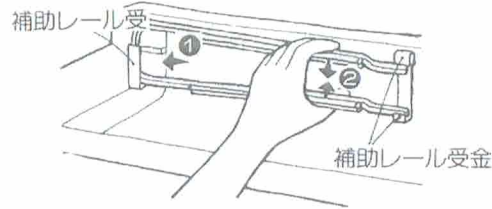
2 編地押えバネを開き、編出シの糸カケを上
にして切り欠き部を金具にはめ、正しく置きま
す。(左の金具にもはめめます。)



7 補助レールは端を少し持ち上げて
はずします。



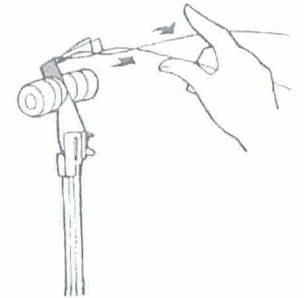
8 輪の方を補助レール受にはめ、先端を
せばめて補助レール受金にかけます。



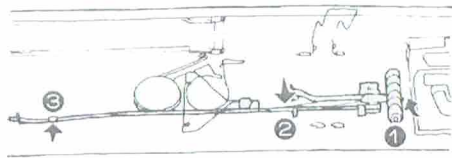
9 糸取装置を編機からはずし、
糸取アームを止まるまで押し
下げます。



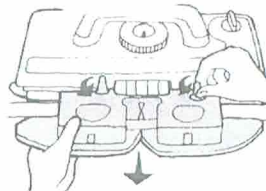
10 糸取バネを2~3回ねじり合
わせませす。



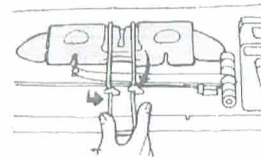
15 糸取装置を①・②・③の順にケース金
具にはめます。



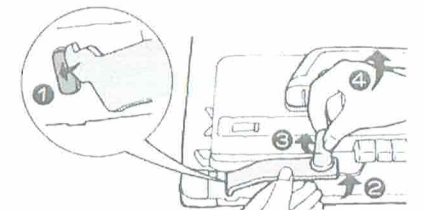
16 Kキャリジの左右の編地押え
ツマミをゆるめ、編地押えを
はずします。



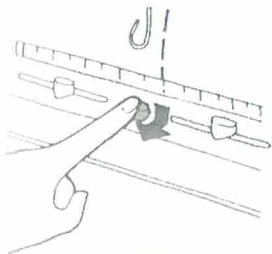
17 編地押えをケースの中に正しく置き、
編地押えバネを押しつけ、金具にかけ
ます。



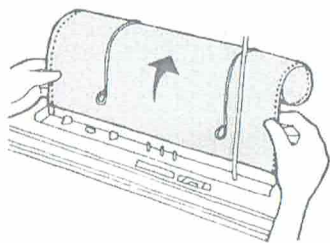
18 キャリジ止め金を取り付け、ハンドル
をたおします。



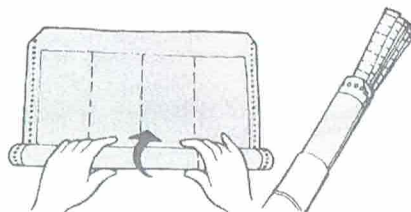
- 3 クラッチボタンをいっぱい
に押し、手前に引いてロッ
クします。



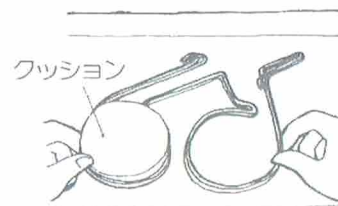
- 4 シートを抜き取ります。



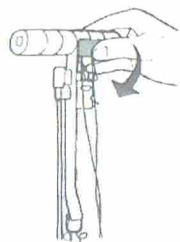
- 5 シートは文字が正しく読める方を外側
にして、文字の書いていない方から巻
き、はずした編目スケールとともに収
めます。



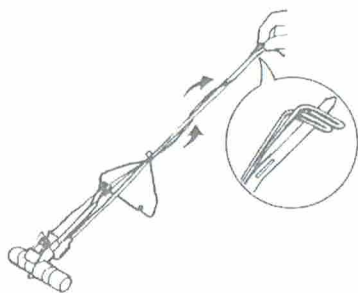
- 6 シートガイドをはずし、ケースの
クッションにはめ、正しく収めま
す。



- 11 糸取パネの根元を持ち、止まる
まで押し下げます。



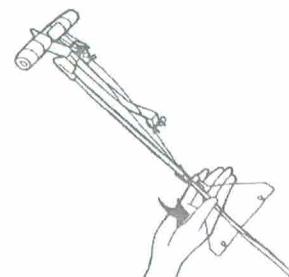
- 12 糸取パネを糸取棒に2~3回巻き付
け、先端をひっかけます。



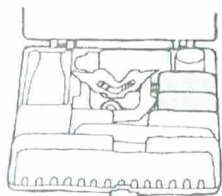
- 13 補助パネを糸取棒にはめます。



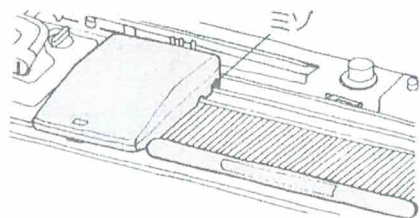
- 14 後糸案内を、つかえるまで押
し下げます。



- 19 取付金具をテーブルから
はずし、他の部品ととも
に部品箱に収めます。



- 20 部品箱のミソを後レールに合わせKキ
ャリジの横にピッタリつくように置き
ます。
シートケースを置きます。



- 21 ケースをななめにしてそのまま押しつ
け、錠前をかけます。

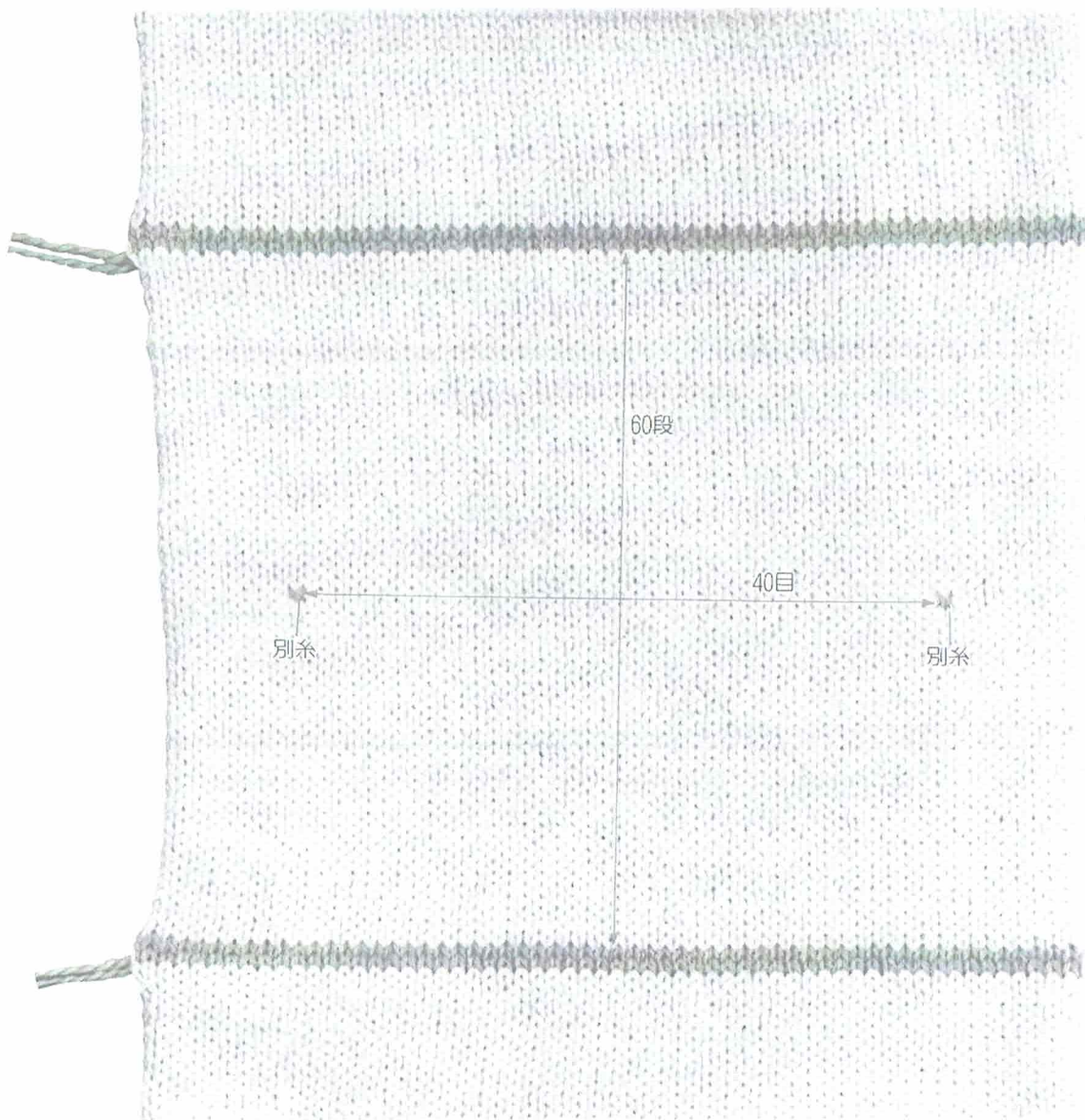
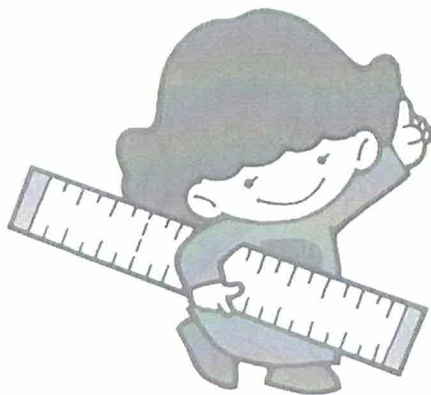


- 編機を次の状態で保管しないでください。
- 直射日光の当たるところ
 - ヒーターの横のような高温なところ
 - 湿度の高いところ



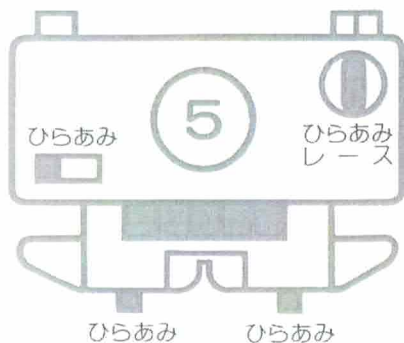
編ゲージについて

- 作品を、希望どおりの寸法に編み上げるため、作品に使う編糸で作品と同じ模様の編地を編み、編目の大きさを測るものです。
- 段数（たて方向）60段、目数（よこ方向）40目の長さを測ります。

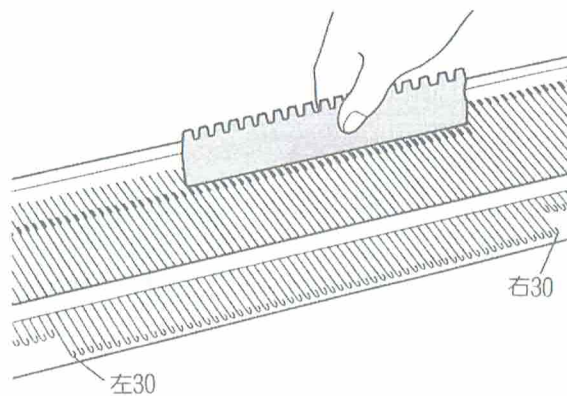


編ゲージの作り方 ここでは中細毛糸を使った平編の編ゲージを作ってみましょう。

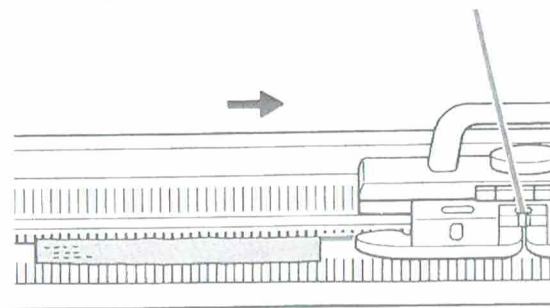
Kキャリジを図のようにセットします。
 ※糸取装置の右側に地糸を、左側に別糸を通しておきます。



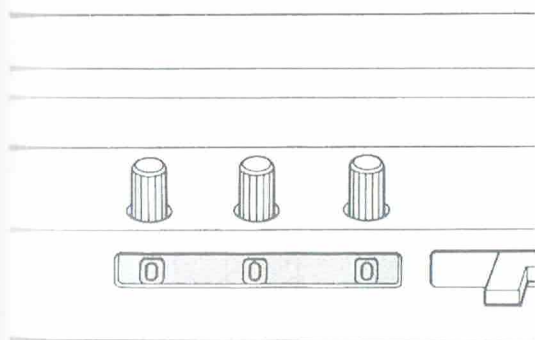
1 中心より左30～右30までの編針をB位置に出します。



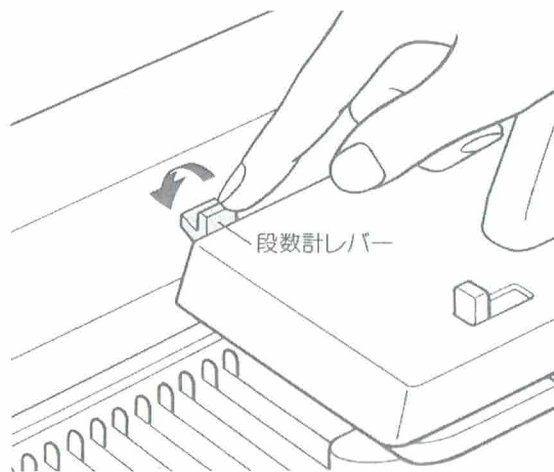
2 地糸で平編を数段編みKキャリジを右側に置きます。



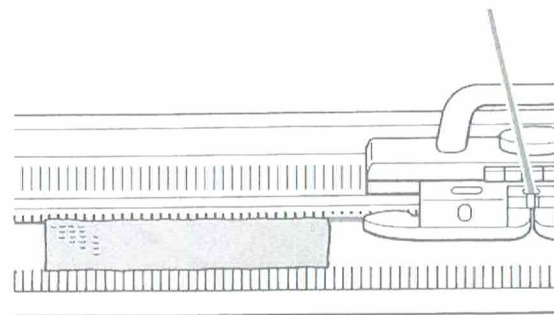
3 段数計を000にセットします。



4 段数計レバーを向こう側に押し下げます。

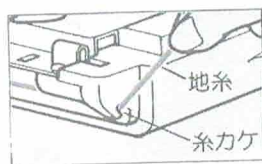
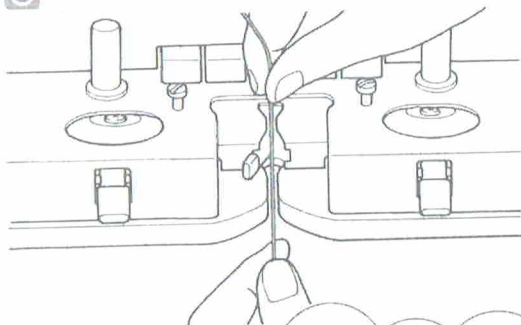


5 20段編みます。



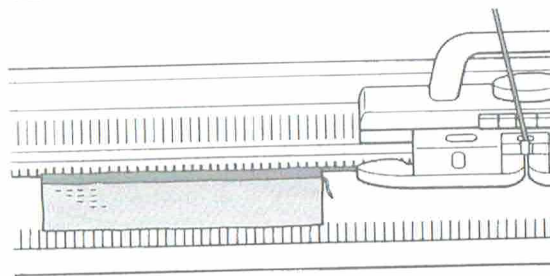
段数計は **020** を示します。

6 地糸を地糸口からはずし、別糸に入れ替えます。



はずした地糸は本体の右端にある糸カケに休めます。

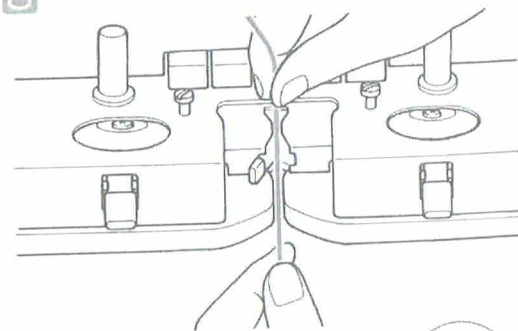
7 2段編みます。



段数計は

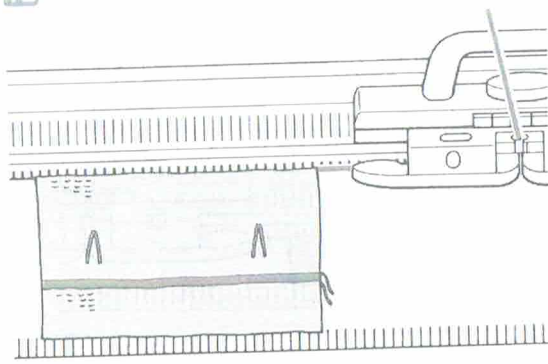
022 を示します。

8 別糸を地糸口からはずし、地糸に入れ替えます。



はずした別糸は糸端を5cmぐらい残して切っておきます。

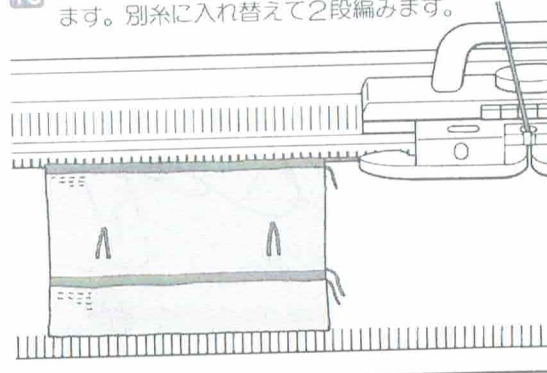
12 さらに30段編みます。



段数計は

082 を示します。

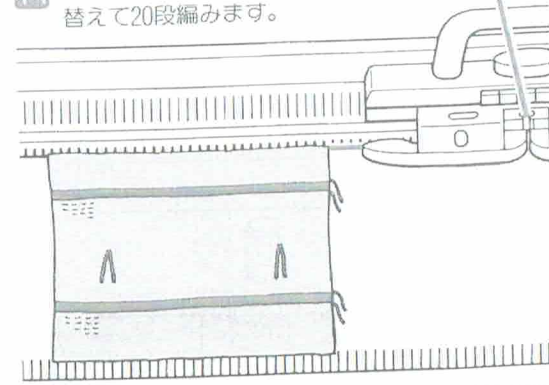
13 地糸を地糸口からはずし、本体右の糸カケに休めます。別糸に入れ替えて2段編みます。



段数計は

084 を示します。

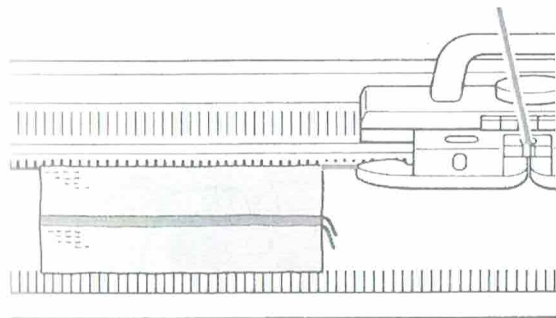
14 別糸を切り、地糸口からはずします。地糸に入れ替えて20段編みます。



段数計は

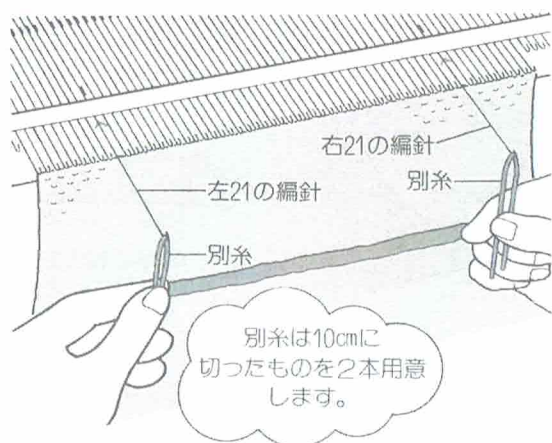
104 を示します。

9 30段編みます。

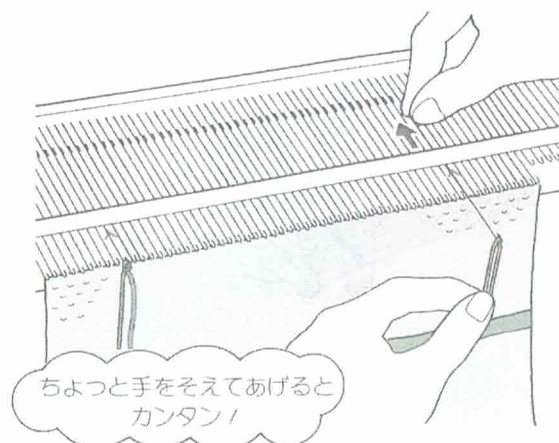


段数計は
052 を示します。

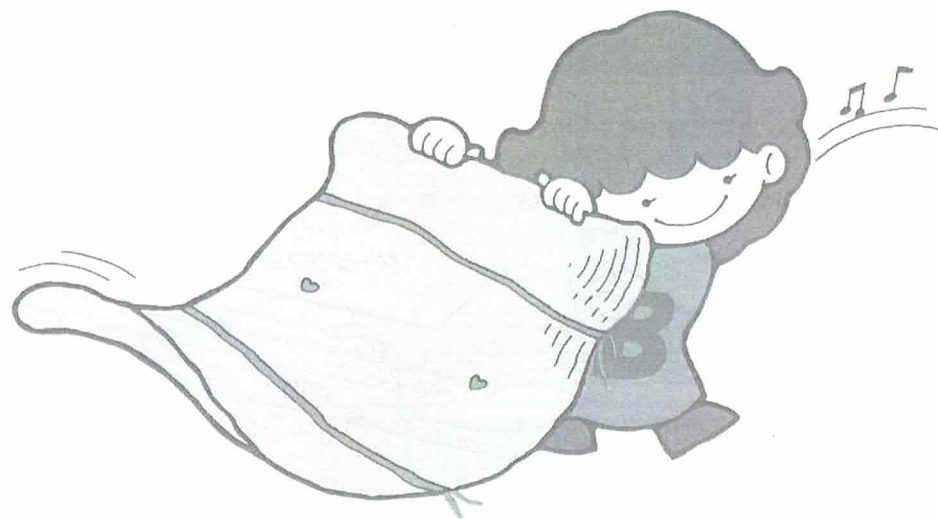
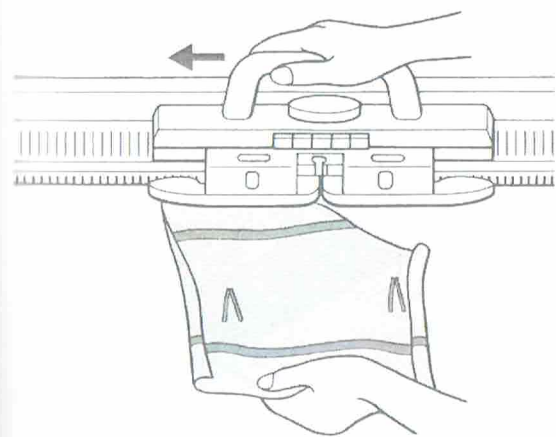
10 中心より左右21本目（ミゾ板目盛板のA印）の編針を1本ずつE位置に出し、別糸をかけます。



11 E位置の2本の編針をB位置までもどし、編目を作ります。



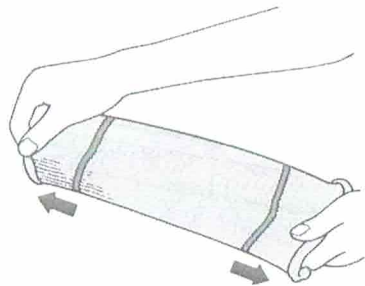
12 地糸を切り、地糸口からはずします。
Kキャリジを動かして編地をはずします。



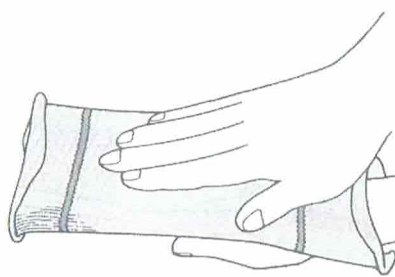
編ゲージの測り方

編ゲージの長さが作品の寸法を決めます。

- 1 はずしたばかりの編地は横に伸びていますので、縦に2~3回かるく引き伸ばします。



- 2 かるく手でたたいて、編目を整えます。



- 3 スチームアイロンで編地全体に2~3分蒸気を当てます。



編地の端は表と裏にクルッと巻いています。アイロンの先と端を上手に使うって開いてあげましょう。

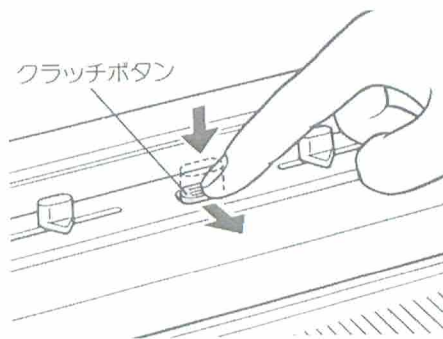


編ゲージのセットのしかた

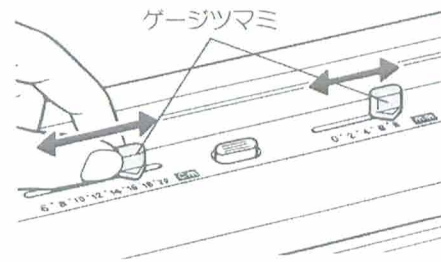
- 段数 (60段) の長さはゲージツマミでセットします。
- 目数 (40目) の長さは編目スケールでセットします。

ゲージツマミ<60段が17.8cmの場合>のセットのしかた

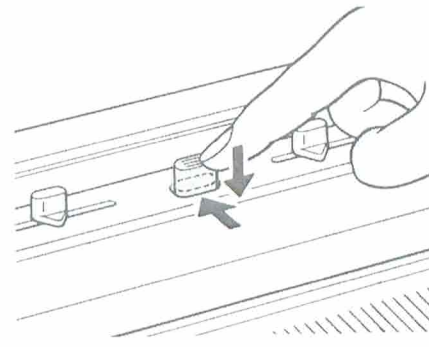
- 1 クラッチボタンを押して、手前に少し引きロックします。



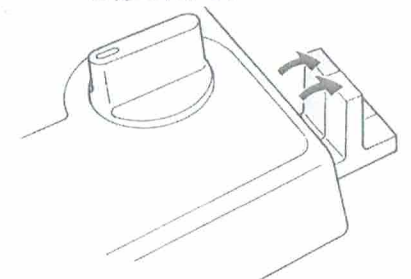
- 2 左側のゲージツマミ [A] を17に、右側のゲージツマミ [B] を8に合わせます。



- 3 セットできたらクラッチボタンを向こう側に押しロックをはずします。

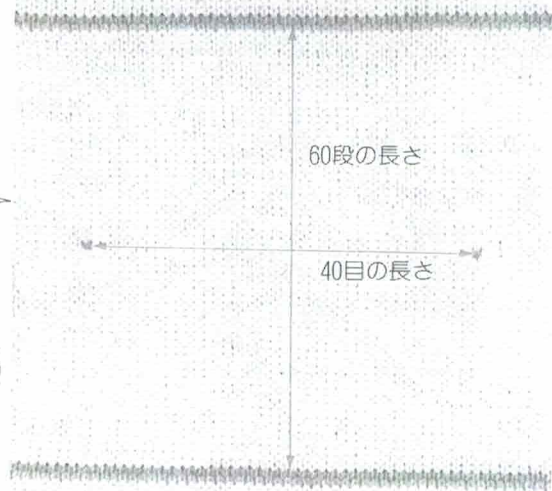


- 4 Kキャリジのリーダーレバー (ピンク色と白色) を下げます。
※ 作品を編むとき、Kキャリジを1段操作することにより1段ずつシートが送られます。



4 蒸気を当てた後、5~10分放置し、編地の表目で寸法を測ります。

- ① 段数 (たて方向...別糸の内側60段) の長さを測ります。
- ② 目数 (よこ方向...別糸の内側40目) の長さを測ります。



綿・麻・化繊などの場合

編ゲージが編めたら、水に浸しかるくしぼってから、自然乾燥(約1昼夜)させたあと、①~④の方法で蒸気を当てて測りましょう。

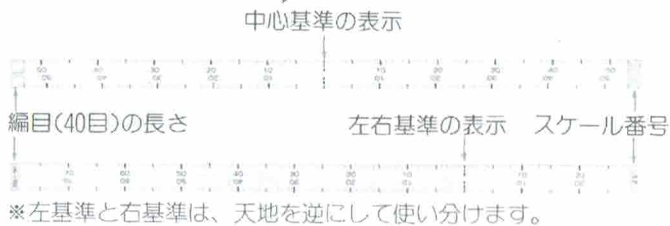
編目スケール(40目が15.6cmの場合)のセットのしかた

1 目数15.6cm=156mmです。シートケースの編目スケール早見表から156は赤・17の編目スケールだということがわかります。



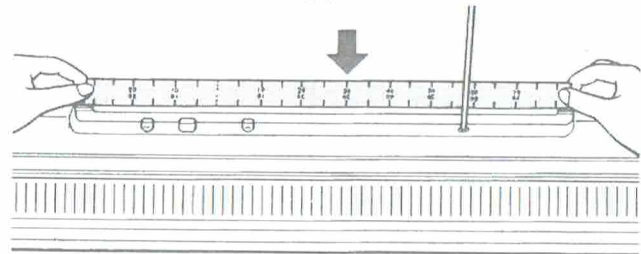
2 シートケースの中から、赤・17の編目スケールを選び出します。

同じ番号の編目スケールは、中心基準と左右基準の2種類があります。



3 選び出した編目スケールを、必要とする面を手前にして編目スケール差込口へ差し込みます。

※左基準は基準線が左側に、右基準は基準線が右側になるようにセットします。



シートへのパターンの写し方

編ゲージを測ったとき、ニットリーダーにセットできない場合

●選ぶ編目スケールがない場合

40目の長さが、6.0cm未満の場合

例 5.6cmのときには

$$5.6 \times 2 = 11.2$$

112の編目スケールを選び編目スケールの1目盛を2目と読みます。

40目の長さが、18.6cm以上の場合

例 19.4cmのときには

$$19.4 \div 2 = 9.7$$

97の編目スケールを選び編目スケールの2目盛を1目と読みます。

●ゲージつまみがセットできない場合

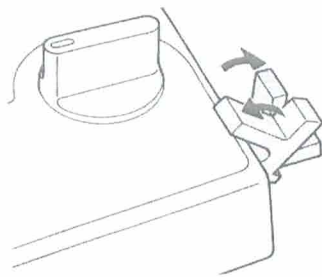
60段の長さが、6.0cm未満の場合

例 5.4cmのときには

$$5.4 \times 2 = 10.8$$

ゲージつまみ \square を10に、ゲージつまみ \square を8に合わせます。

Kキャリジのリーダーレバーのピンク色を下げ、右側の白色は上げて使います。



※Kキャリジを2回操作するとシートが1段送られます。

60段の長さが、21.0cm以上の場合

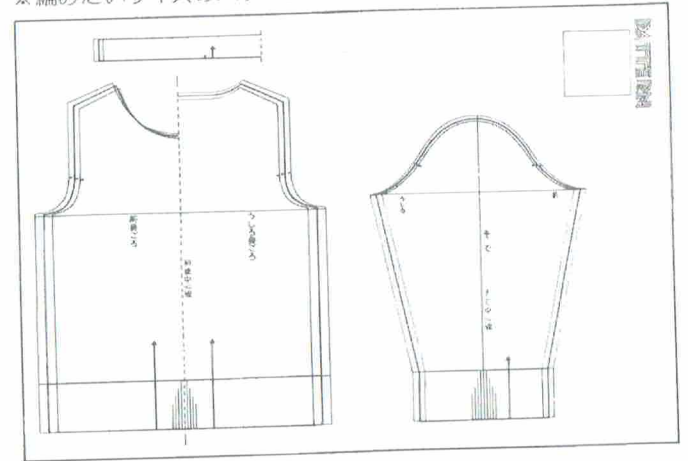
例 21.8cmのときには

$$21.8 \div 2 = 10.9$$

ゲージつまみ \square を10に、ゲージつまみ \square を9に合わせます。

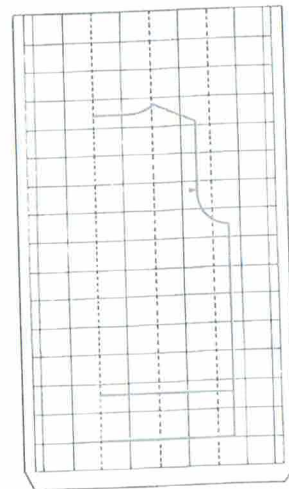
毎段Kキャリジを操作した後、シート送りレバーを指で1段送りながら編みます。

- 1 別売りのブラザーニットینگパターンを平らなところにひろげます。
※編みたいサイズのパターンを選んでください。



●うしろ身ごろの場合

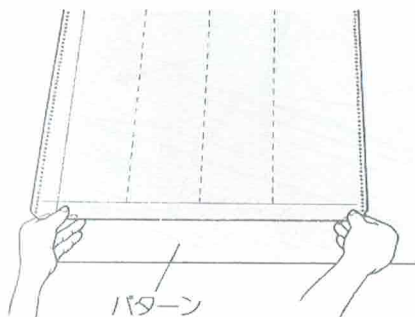
パターンの中心線をシートの左基準線に合わせます。
※編目スケールは左基準を使います。



●前身ごろの場合

パターンの中心線をシートの右基準線に合わせます。
※編目スケールは右基準を使います。

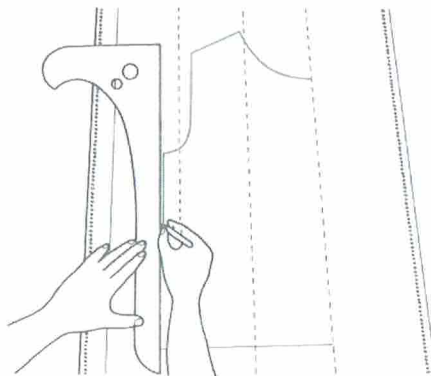
2 シートを表側(文字が正しく読める側)にしてパターンの上に置きます。



3 1枚のシートに3本の基準線がありますので、作品により各基準線をパターンの中心線に合わせてください。(下段の図参照) シートの目盛り5cmの線をパターンの編み始める線に合わせてください。



4 ブラザーペンでパターンのとおりに写します。

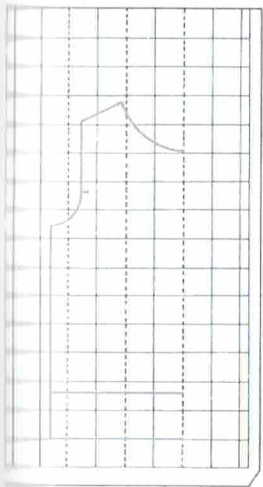


●シートの取り扱いについて

- ★写しまちがえたときや描き直したいときは、布に水を含ませ、上から軽くふき取ればきれいに消えます。
- ★シートの汚れは、中性洗剤を布にしみ込ませてふき取ってください。
- ※シンナー、アルコール、ベンジンなどは使わないでください。
- ※シートの表裏の使い分けはできません。必ず表側(文字が正しく読める側)だけを使用してください。
- ※シートを折りたたんだり、折り目をつけないようにしてください。

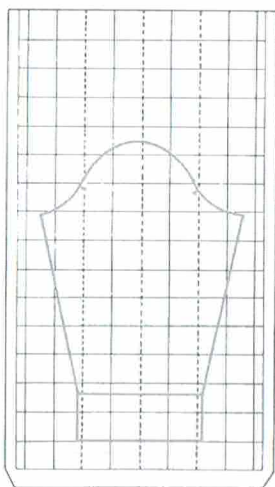
●そでの場合

そでのように幅のせまいものは、パターンの中心線をシートの中心基準線に合わせてください。
※編目スケールは中心基準を使います。



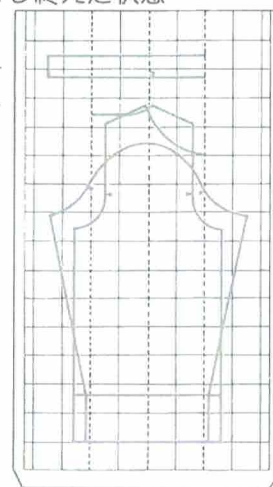
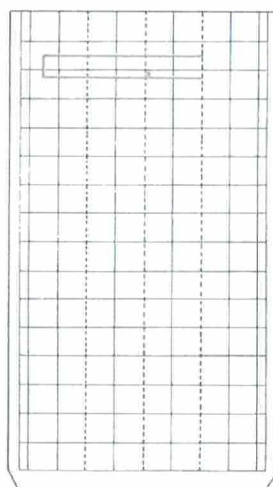
●えりの場合

パターンの中心線をシートの右基準線に合わせてください。
※編目スケールは右基準を使います。



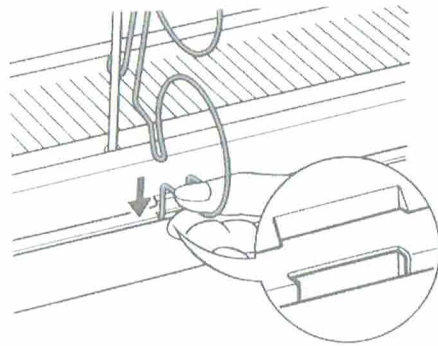
●パターンを写し終えた状態

基準線に合わせて、それぞれのパターンを1枚のシートに写します。



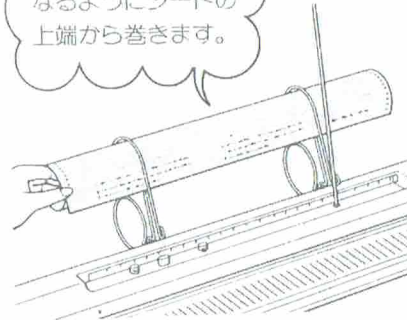
シートのセットのしかた

- 1 シートガイドをケースから取り出し、シートガイド取付穴に差し込みます。

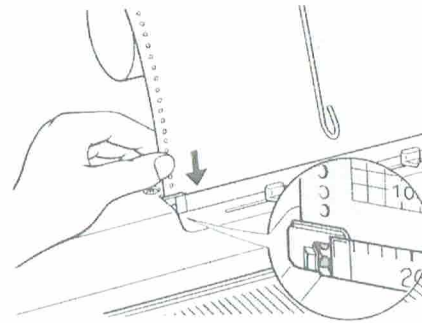


- 2 シートをシートガイドに通します。

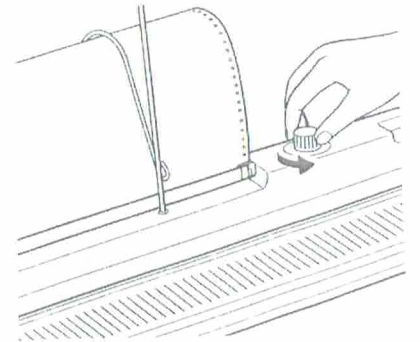
シートは表が外側になるようにシートの上端から巻きます。



- 3 シートの左下端をニットリーダーのシート差込口に入れ、シート送りダイヤルを回して送り歯にシートの送り穴をかけます。

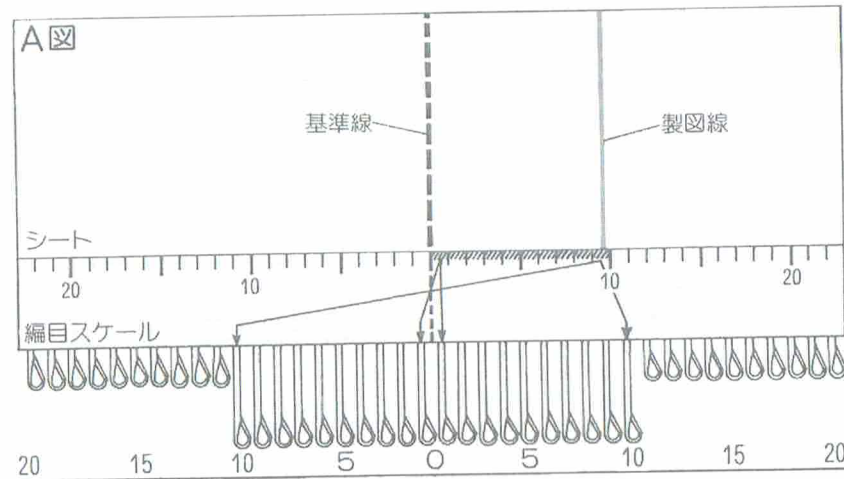


- 4 シート送りダイヤルを回し、シートを2~3段送ります。



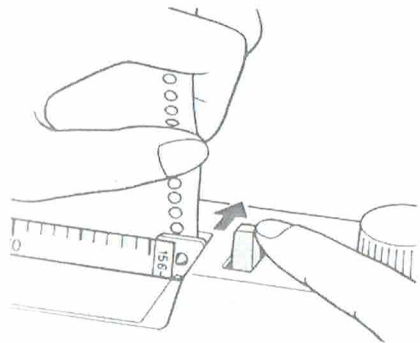
編目スケールの目盛りの読み方

編目スケールの目盛りは、編針に対応します。たとえば、編目スケールの////部分の編針は、中心から左10~右10の間の20本の編針で編むことを示しています。

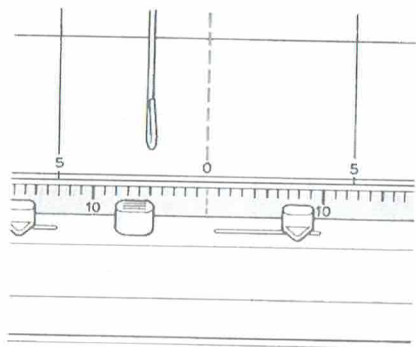


- ※シートの製図線がB・C図のように移動したら、編目の増減をしてください。
- ※シートの製図線が同じ目盛内にあるあいだは、編目を増したり、減らしたりせず、そのまま編み続けてください。

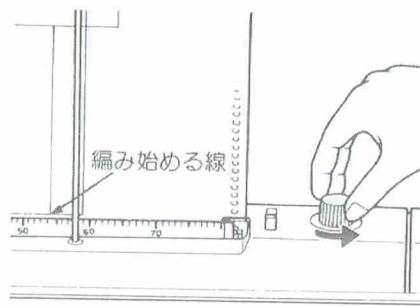
6 シートレバーを押したまま、シート
の右側を上下に動かしシート
の傾きを直します。



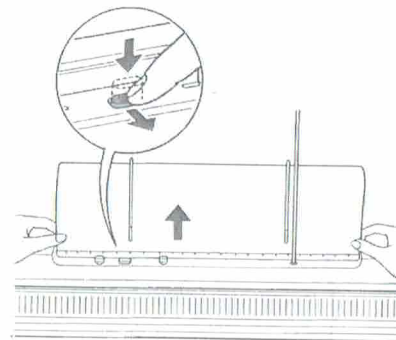
6 シートの基準線に編目スケールの
基準線を合わせます。



7 シート送りダイヤルを回し、シ
ートに写した編み始める線を編目ス
ケールの上端に合わせます。

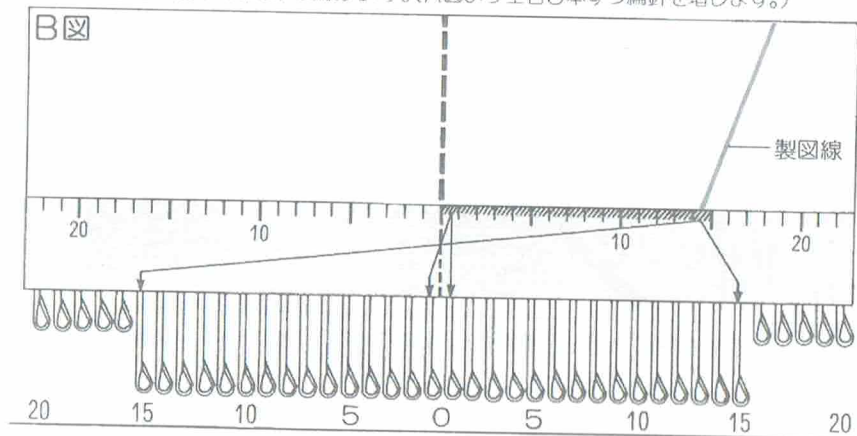


●シートをはずすときは…
クラッチボタンをロックして、シ
ートを手で引き抜きます。



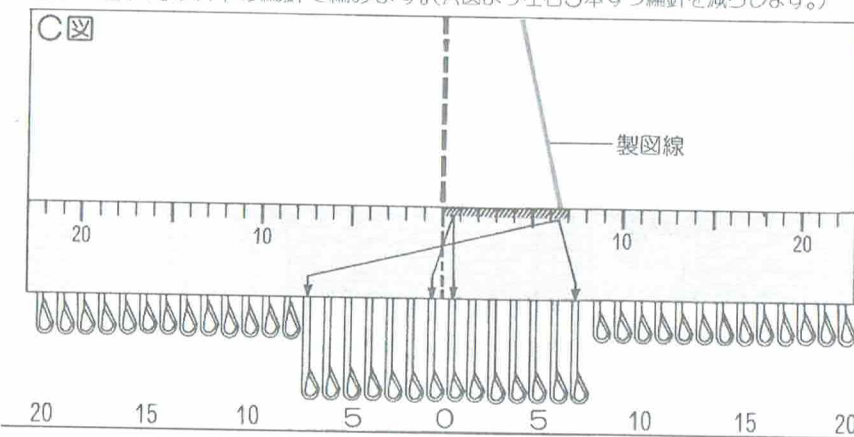
■増し目をする場合

左15~右15間の30本の編針で編みます。(A図より左右5本ずつ編針を増します。)



■減らし目をする場合

左7~右7間の14本の編針で編みます。(A図より左右3本ずつ編針を減らします。)

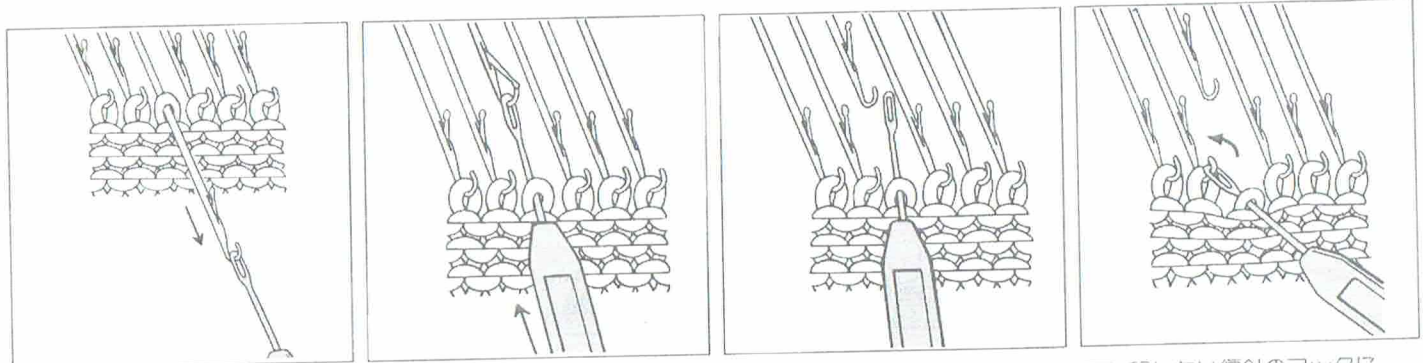
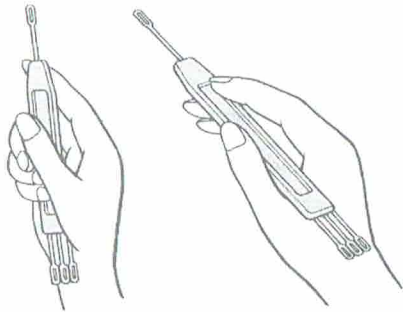


編物知識

ウツシの使い方 ●ウツシは増し目、減らし目、移し目などに使います。

★ウツシの持ち方

2つの持ち方があります。自分が使いやすいと思われる方法で行ってください。



1 編針が止まるまで手前に引きます。

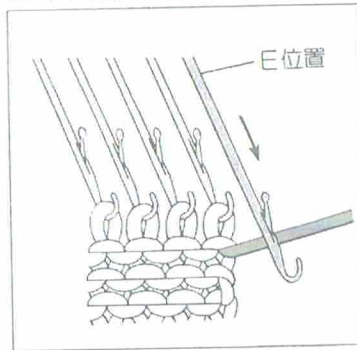
2 まっすぐ編針をもどすと、編目がウツシに移ります。

3 ウツシの先をはずします。

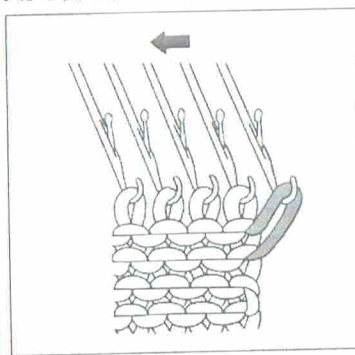
4 移したい編針のフックにウツシの穴をかけ、編目を移します。

編目の増し方

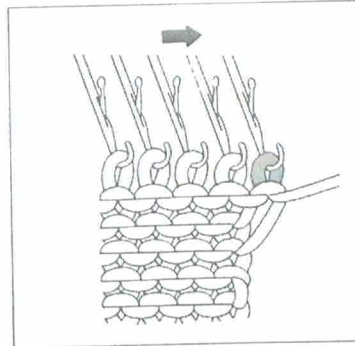
■ 1目端で増す場合 — 編糸のある側で行います。



1 増し目をする編針をE位置に出します。

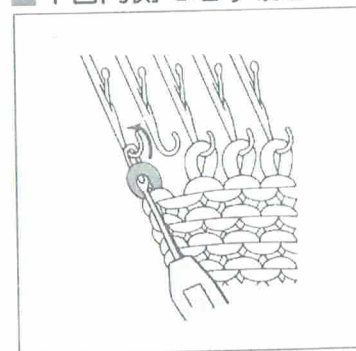


2 Kキャラジを左へ操作します。

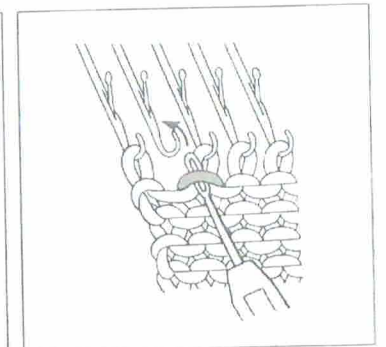


3 Kキャラジを右へ操作します。

■ 1目内側で増す場合



1 端の1目を1目外側の編針に移します。



2 端から2本目の編針の、1段下の編目を引き上げます。

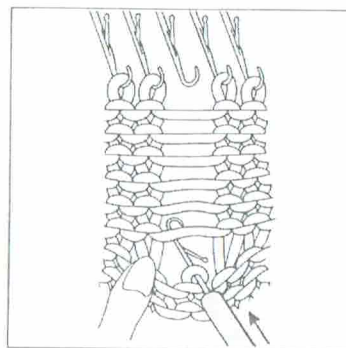
タツピの使い方

●タツピはゴム編や、編目がおちたときなどに使います。

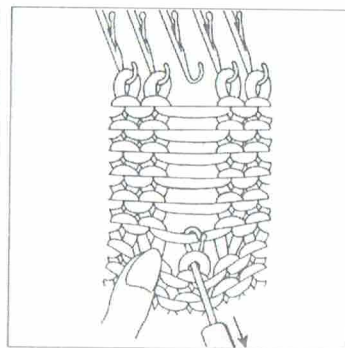
★タツピの持ち方

鉛筆を持つようにして持ち、ペラを上
にします。

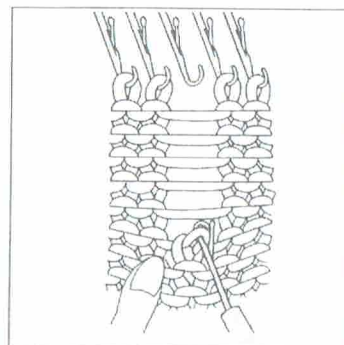
フック ← ペラ



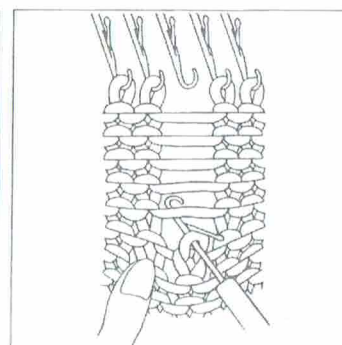
1 編目がペラを通り抜けるま
でタツピを差し込みます。



2 タツピを手前に引いて、上
段の横糸をフックにかけま
す。

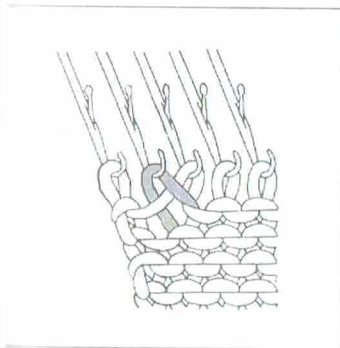


3 そのまま引くと編目ができ
ます。

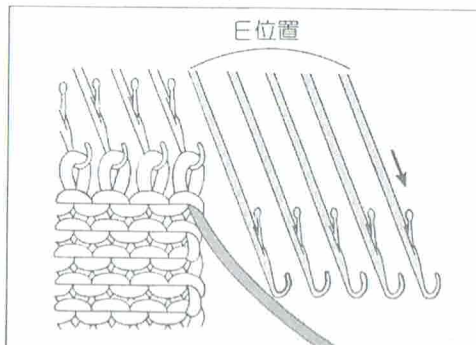


4 さらにタツピを差し込み1
～3を繰り返します。

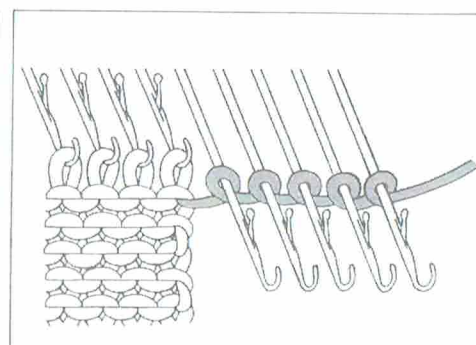
■2目以上増す場合—編糸のある側で行います。



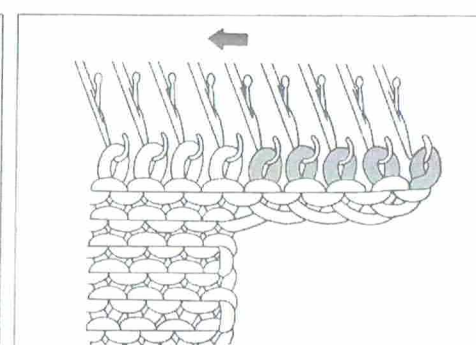
3 編目を移します。



1 増し目をする編針をE位置に出します。



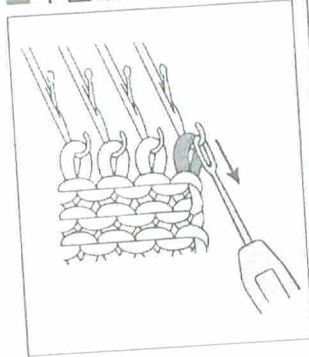
2 巻き目をします。



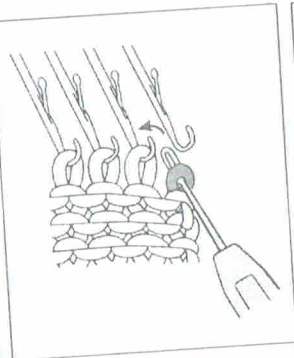
3 Kキャリジを左へ操作します。

編目の減らし方

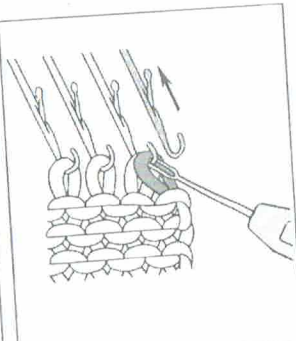
■ 1目端で減らす場合



1 端の目をウツシに移しとります。

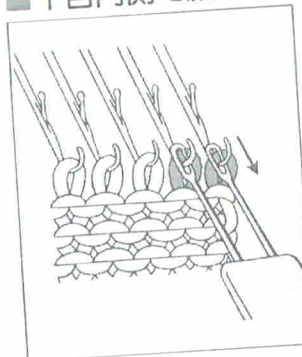


2 内側の編針に移します。

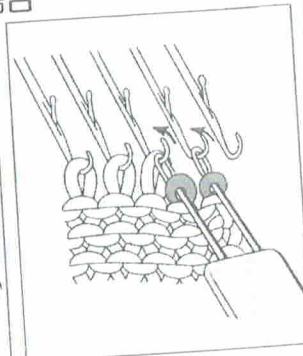


3 カラ針をA位置にもどします。

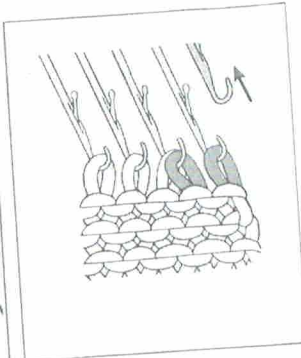
■ 1目内側で減らす場合



1 2本針のウツシを使い、端の2目を同時に移しとります。

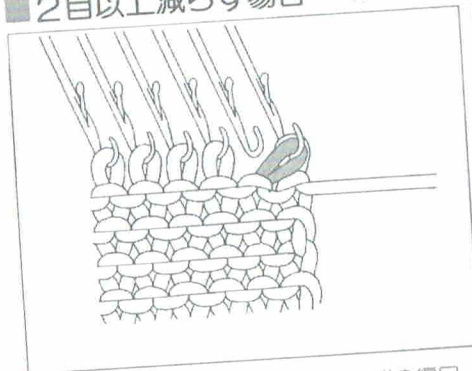


2 内側へ1針分ずらして編針に移します。

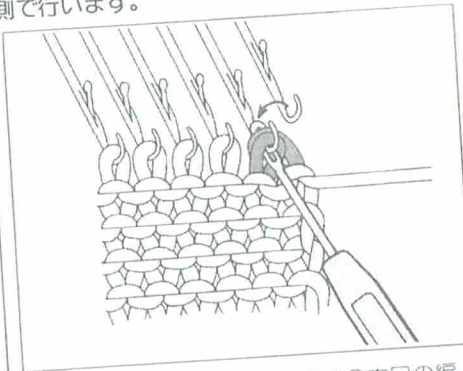


3 カラ針をA位置にもどします。

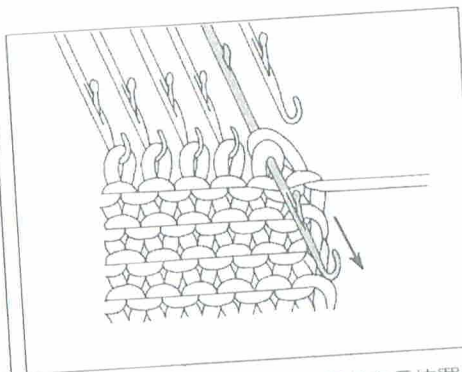
■ 2目以上減らす場合 — 編糸のある側で行います。



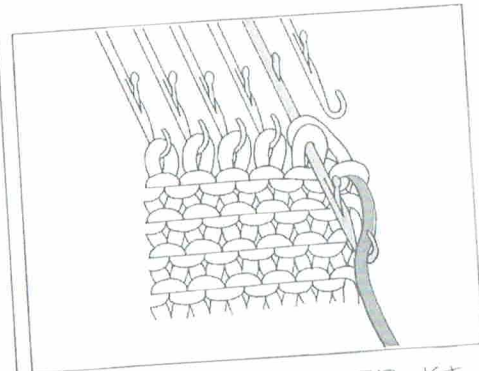
1 端から2本目の編針の編目を端の編目に重ねます。



2 端の重なった2目を同時に2本目の編針に移します。

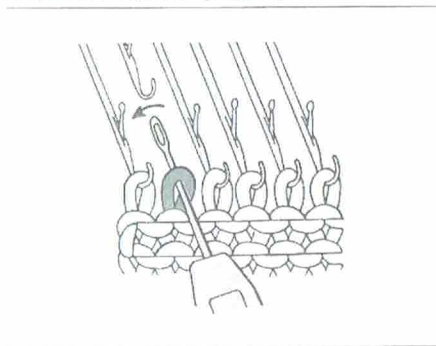


3 編目が2目重なっている編針をE位置に出します。編目はペラのうしろに移ります。

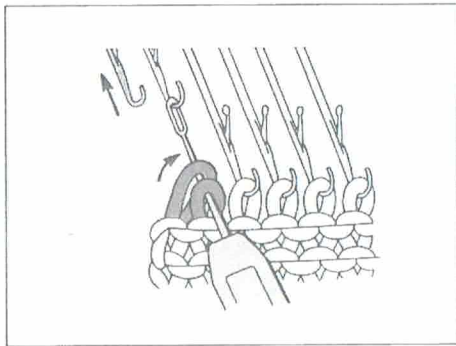


4 E位置に出した編針のフックに、Kキヤリジに渡っている編糸を入れます。

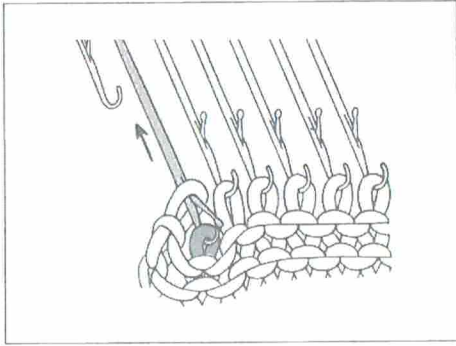
12目以上減らす場合—編糸のない側で行います。



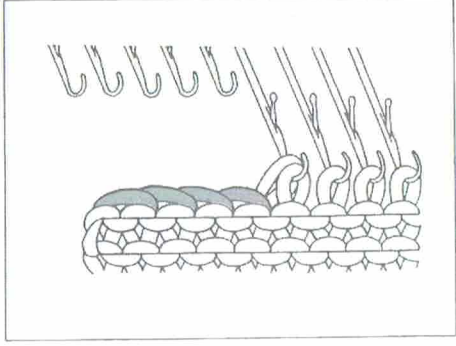
1 ウツシを使って端から2本目の編目を端の編針に移します。



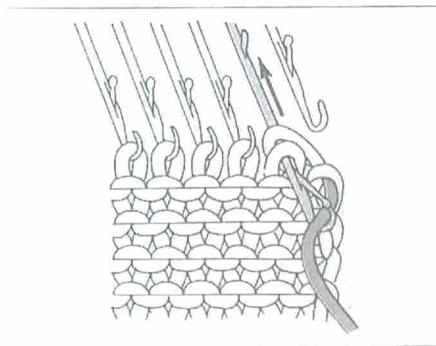
2 端の重なった2目を同時に2本目の編針に移します。カラ針はA位置へもどします。



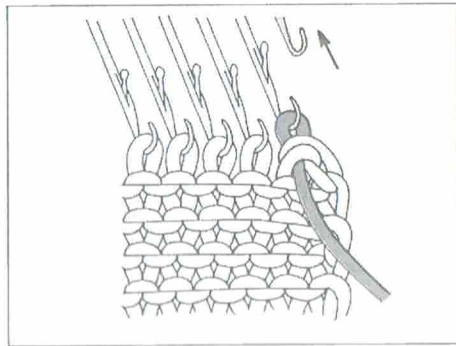
3 重なった2目のうち、編機側の目をべら抜けさせて編針をB位置にもどし編目を作ります。



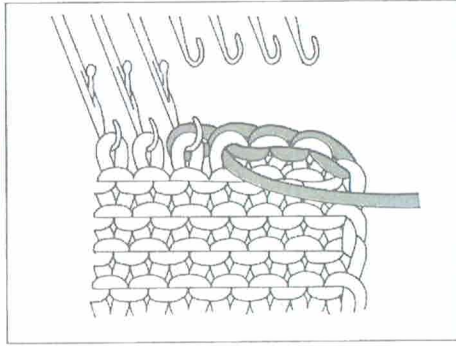
4 減らし目する編目の数だけ1~3を繰り返します。
※減らし目の終わり目は、1と2だけ行い編針には2目かかった状態にします。



5 指で編針をB位置に押しもどします。



6 減らし目したカラの端針をA位置（編まない位置）にもどします。



7 減らし目する編目の数だけ1~6を繰り返します。
※減らし目の終わり目は、1と2だけ行い編針には2目かかった状態にします。

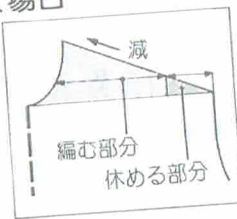
ご注意

減らし目するときに、編目がきつくなならないように注意してください。

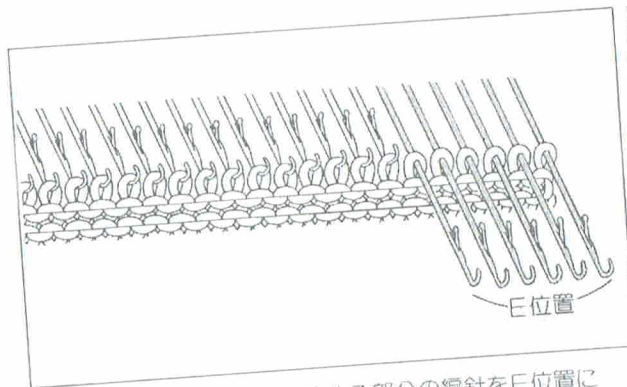
引返し編 (平編・模様編の場合)

■ 編む部分を減らしてゆく場合

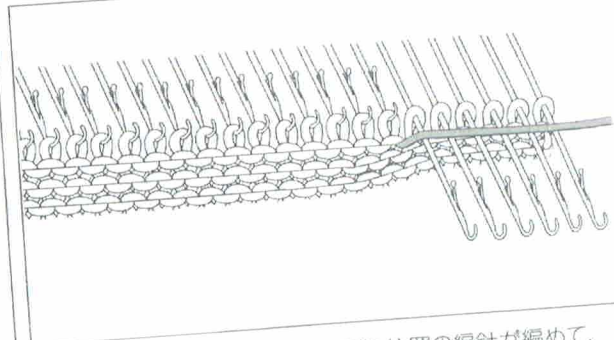
- 編針のE位置を利用して、休める編針を少しずつ増していけます。
- 肩さがりなどの傾斜した編地を編むときに使います。



- 1 引返しレバーを〈引返し〉にセットします。カムボタン、選針切替ツマミは、編む模様の状態に合わせておきます。



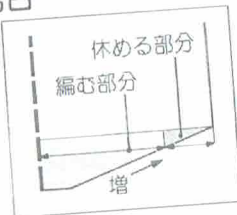
- 2 Kキャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。



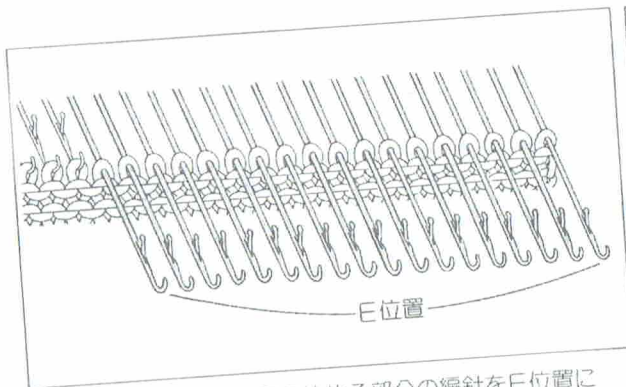
- 3 1段編みます。B位置およびD位置の編針が編めて、E位置に出した編針の上に編糸が渡ります。

■ 編む部分を増してゆく場合

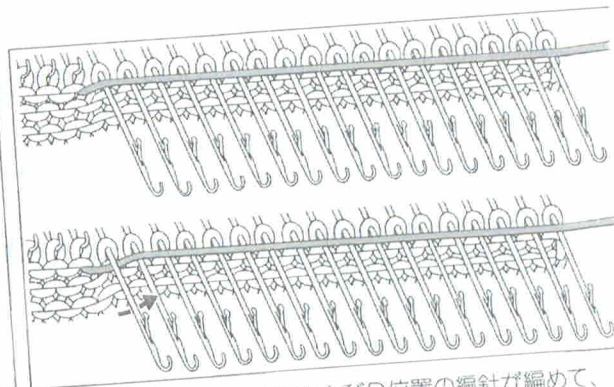
- 最初に編針をたくさん休めておき、編む部分を少しずつ増していきます。
- スカートのすそなどの傾斜した部分を編むときに使います。



- 1 引返しレバーを〈引返し〉にセットします。カムボタン、選針切替ツマミは、編む模様の状態に合わせておきます。

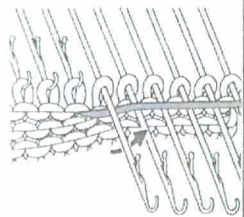


- 2 Kキャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。



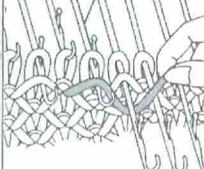
- 3 1段編みます。B位置およびD位置の編針が編めて、E位置に出した編針の上に編糸が渡ります。編み終わりのとなりのE位置に出してある編針の下へ編糸をくぐらせます。(模様編のときは64ページ参照)

2編の場合



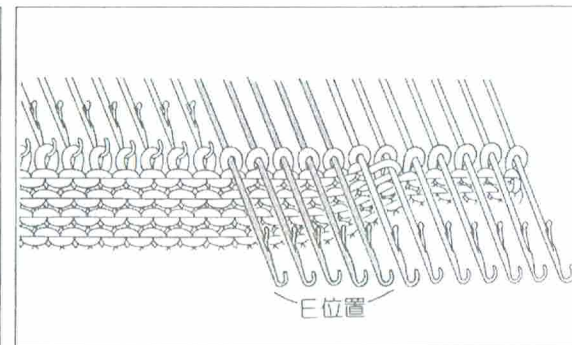
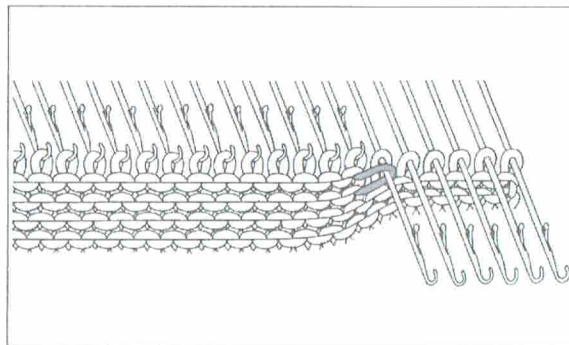
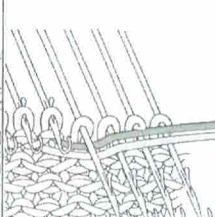
タック編で、編み終わりの編針が選針されている場合

編み終わりの編針



フックの上を渡す

スレッド編・同時編込編の場合



編み終わりのとなりのE位置に出してある編針の下へ編糸をくぐらせます。

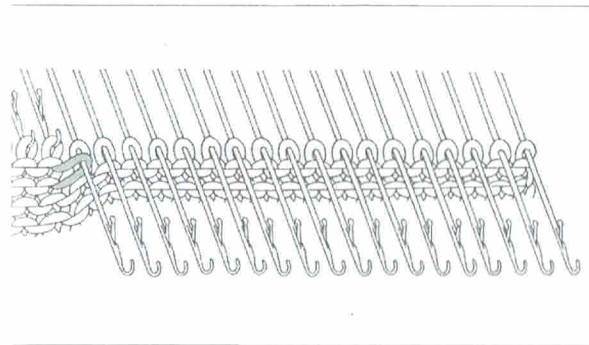
●タック編で編み終わりの編針が選針されている場合
フックの上をわたしてからくぐらせます。

●スレッド、同時編込編の場合
スレッド糸や配色糸も地糸とつしよにくぐらせます。

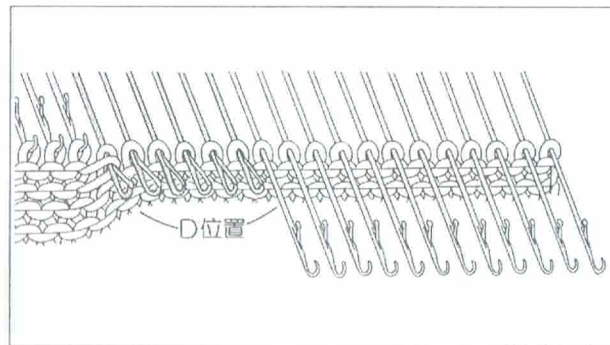
5 1段編みます。

6 次に休める編針をE位置に出し、3~6を繰り返して編み進みます。

※引返し編が終わったら、引返しレバーを〈ひらあみ〉にもどします。



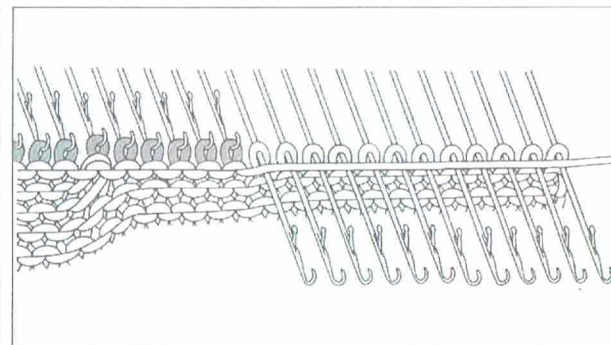
1 段編みます。



5 次に編む部分の編針をD位置にもどします。

模様編の場合

編めている部分の選針状態をよく確認して、D位置の編針のうちB位置にもどる編針の編目を、ウツシを使ってフックの中にもどしB位置に下げます。



6 Kキャリジを操作するとD位置にもどした編針も編めます。

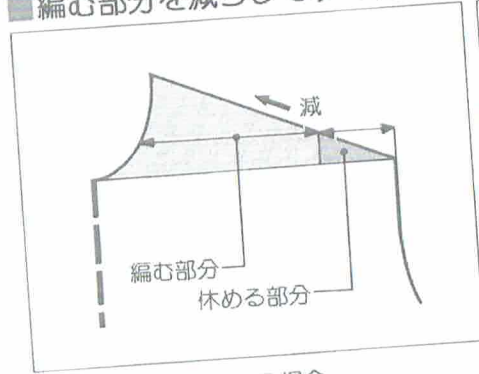
3~6を繰り返して編み進みます。

※引返し編が終わったら、引返しレバーを〈ひらあみ〉にもどします。

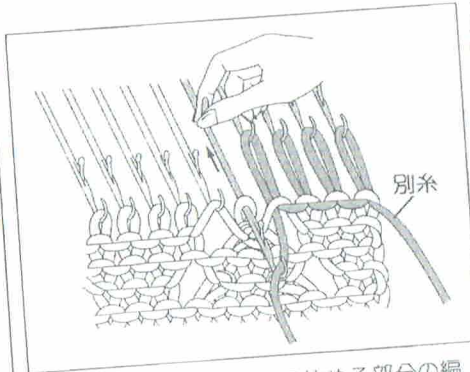
引返し編 (レース・タックレース編の場合)

●引返し編を行う側によって操作の手順が異なります。

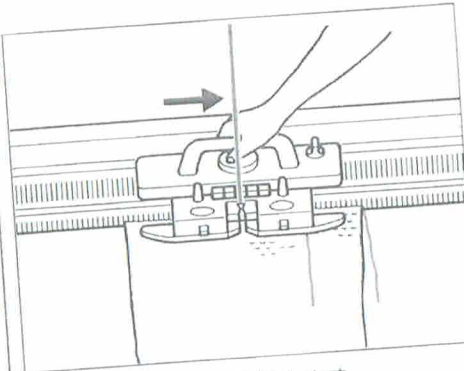
■ 編む部分を減らしてゆく場合



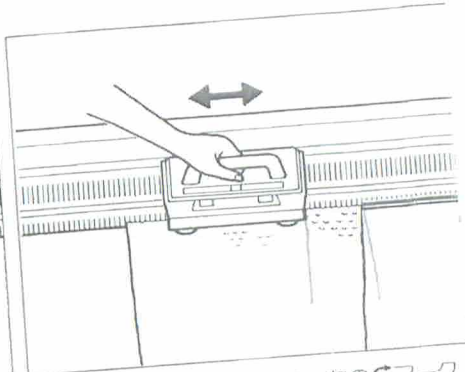
●右側で引返し編を行う場合
Lキヤリジを操作し、Cマークまできたら、Kキヤリジで左側へ1段編んでから引返し編を行います。



1 Kキヤリジの反対側の休める部分の編目を、別糸で1目ずつ手で編みながら編針をA位置に下げます。

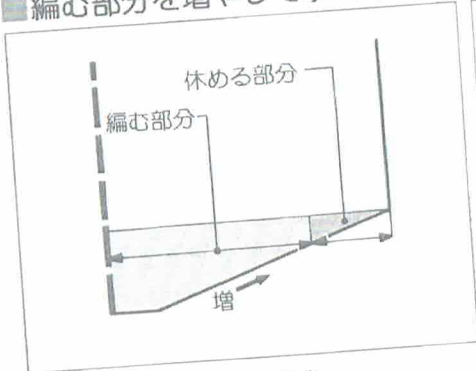


2 Kキヤリジで1段編みます。

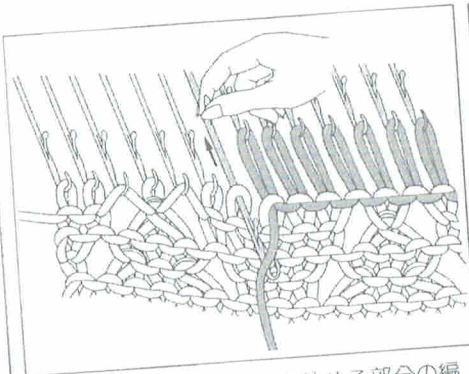


3 パンチカードに従って、次のCマークまでLキヤリジを操作します。

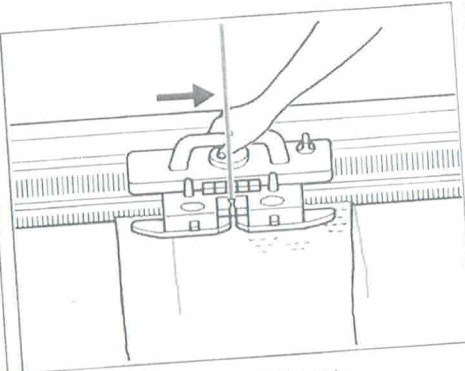
■ 編む部分を増やしてゆく場合



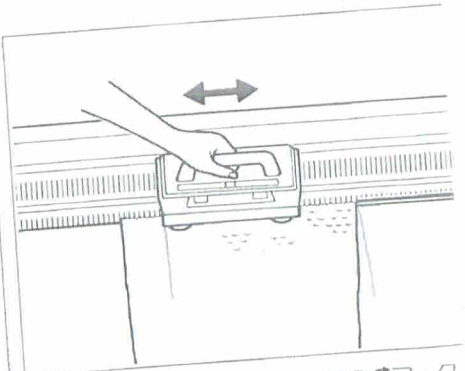
●右側で引返し編を行う場合
Lキヤリジを操作し、Cマークまできたら、Kキヤリジで左側へ1段編んでから引返し編を行います。



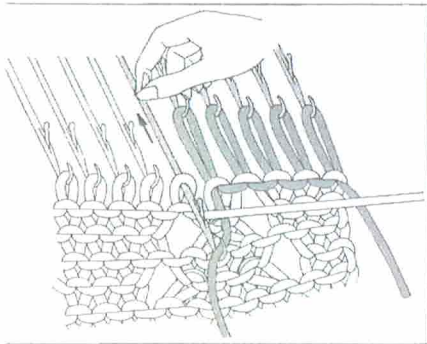
1 Kキヤリジの反対側の休める部分の編目を、別糸で1目ずつ手で編みながら編針をA位置に下げます。



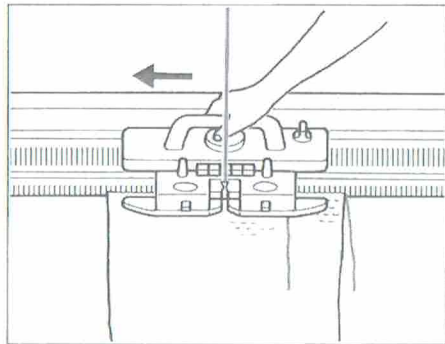
2 Kキヤリジで1段編みます。



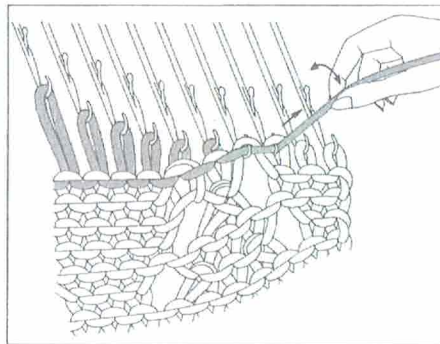
3 パンチカードに従って、次のCマークまでLキヤリジを操作します。



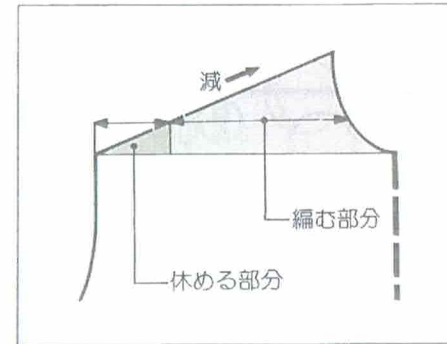
1 Kキャリジ側のB位置の端目1目を別糸で編み、A位置に下げます。



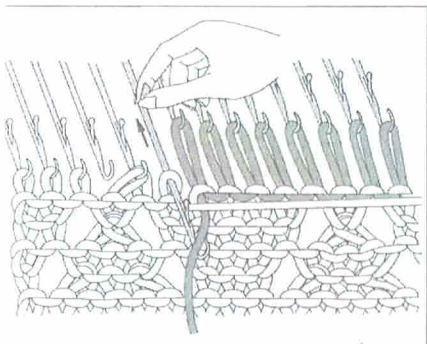
2 Kキャリジで1段編みます。



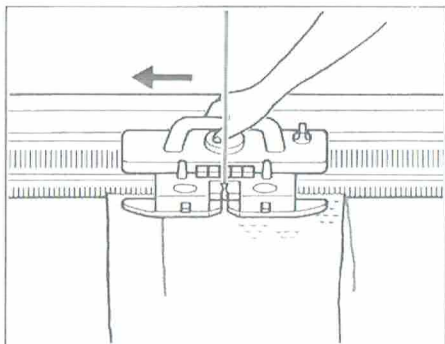
3 1~2をくり返します。
※引返し編が終わったら、A位置に休めておいた部分は、別糸をほどきB位置にもどします。



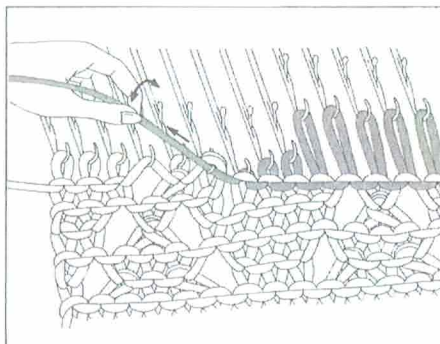
●左側で引返し編を行う場合
Lキャリジを操作し、Cマークまでできたら、1→2→4→5→3→6の順で編みます。



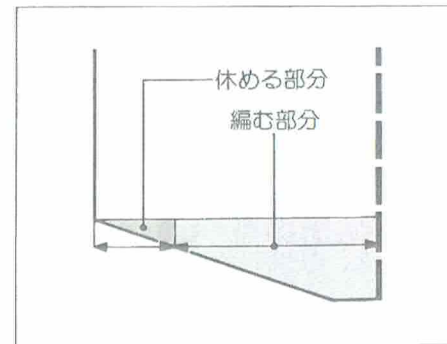
1 Kキャリジ側のB位置の端目1目を別糸で編み、A位置に下げます。



2 Kキャリジで1段編みます。



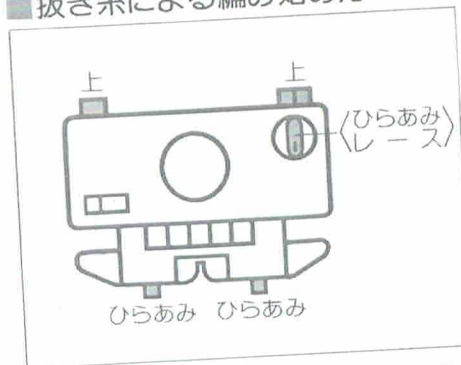
3 次に編む部分は、別糸をほどき、B位置にもどして1段編みます。
4 3~4をくり返します。



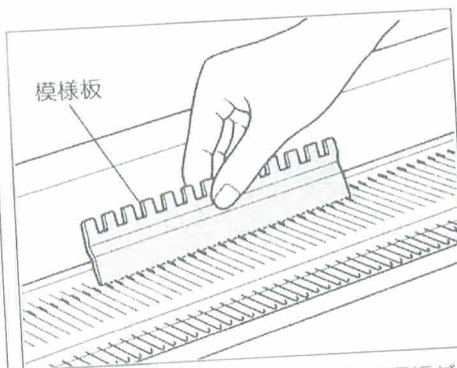
●左側で引返し編を行う場合
Lキャリジを操作し、Cマークまでできたら、1→2→4→5→3→6の順で編みます。

編出しを使わないで編み始める方法

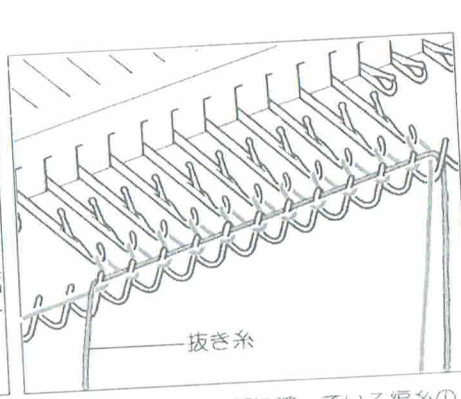
■ 抜き糸による編み始め方



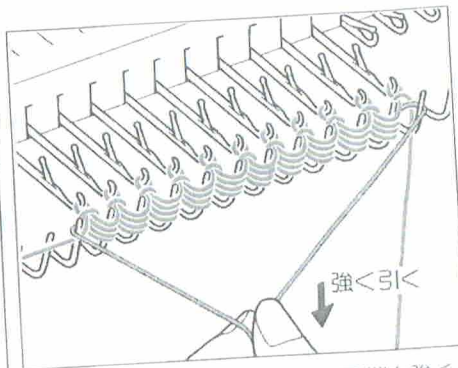
1 Kキャリジを図のようにセットし、ミソ板の右側に置きます。



2 模様板の目盛側を使い、編針を編幅だけB位置に出します。
3 地糸口に編糸を入れKキャリジを左へゆつくり動かします。



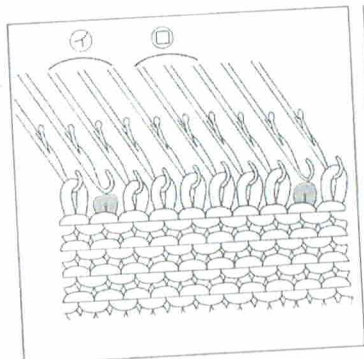
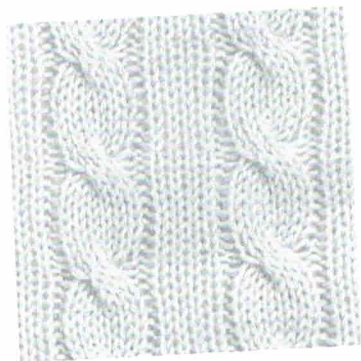
4 編針とクシバの間に渡っている編糸の上に、抜き糸を渡します。



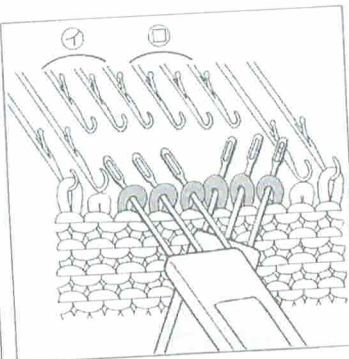
5 抜き糸がゆるまないように両端を強く引き、ゆつくり4~5段編みます。
6 抜き糸を引き抜きます。

なわ編 (交差模様)

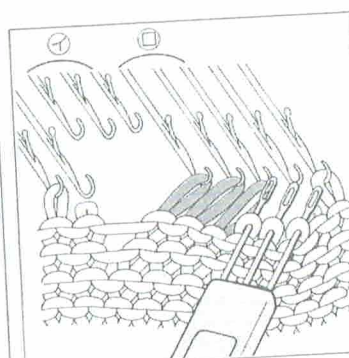
- 編目を交差させて模様を作ります。
- ここではウツシの1×3、2×3の3本針側を使用します。



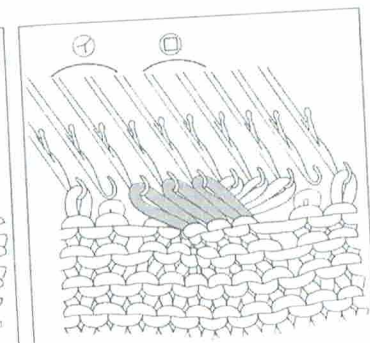
1 平編を10段編み、交差させる編目(㊦㊧)の両どりの編目を、1目ずつ編針からはずします。



2 交差させる㊦と㊧の部分の編目3目ずつをウツシにとります。

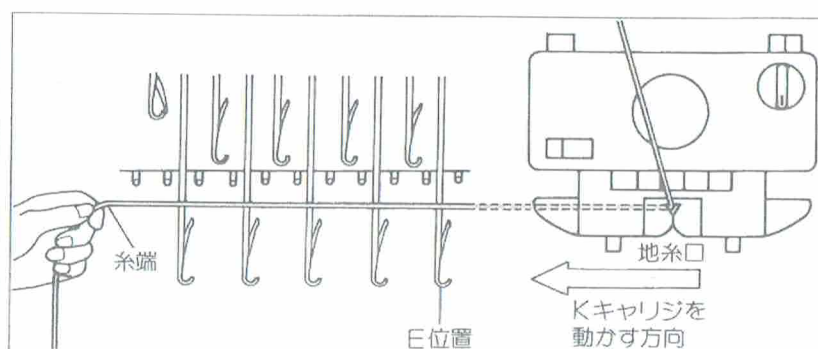
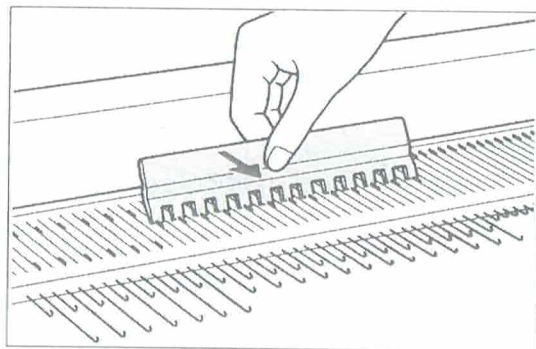
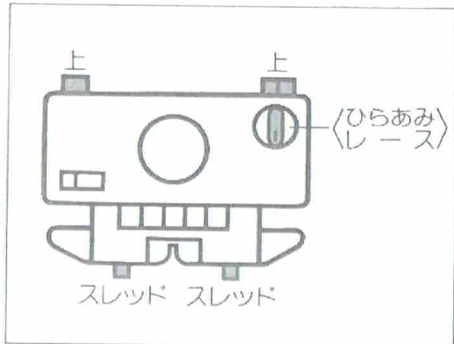


3 ㊦の編目を㊧のカラ針に移します。



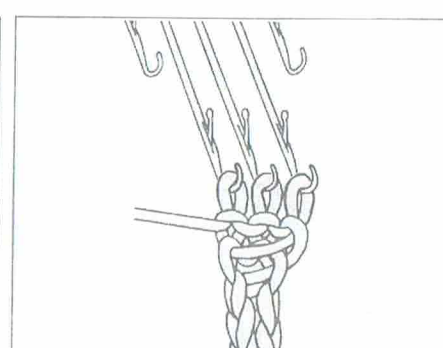
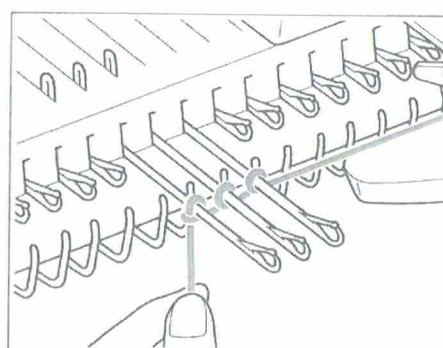
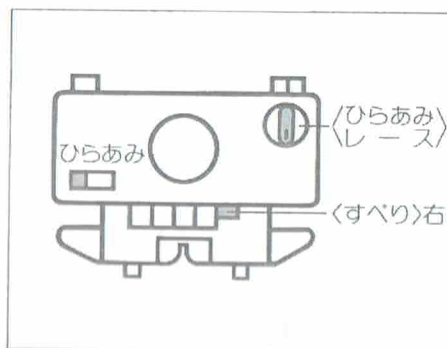
4 ㊧の編目を㊦のカラ針に移し、1ではずした編目を10段下からタップを使って表目に直します。
5 1~4を繰り返します。

■スレッド編による編み始め方



- 1 Kキャリジを図のようにセットし、ミゾ板の右側に置きます。
- 2 模様板の目盛側を使い、編針を編幅だけB位置に出します。
- 3 模様板の1/4側を使い、B位置の編針を1本おきにE位置に出します。
- 4 地糸口に編糸を入れ、糸端をそのままE位置の編針の上に渡します。
- 5 渡した編糸がたるまないように、かるく指で支え、ゆっくり4~5段編みます。
- 6 編み始めができれば、左右のスレッドレバーを〈ひらあみ〉にもどします。

ひも編

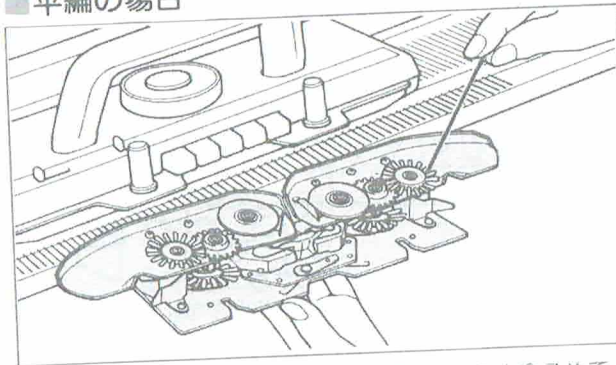


- 編地の左右の編目がつながり、丸くひも状に編み上がります。
- 1 Kキャリジをミゾ板の右側に置き、カムボタンの〈すべり〉右または左を押します。
※編目をきれいにするために編目ダイヤルを標準より小さめに合わせます。
 - 2 ミゾ板中央の編針3~4本をE位置に出し、巻き目で作り目します。
 - 3 左手で糸端を持ち、かるく下に引きながらKキャリジを左右に操作します。

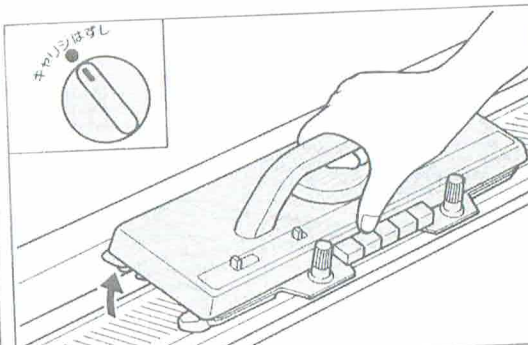
こんなときには

編んでいる途中でKキャリジが動かなくなったときには

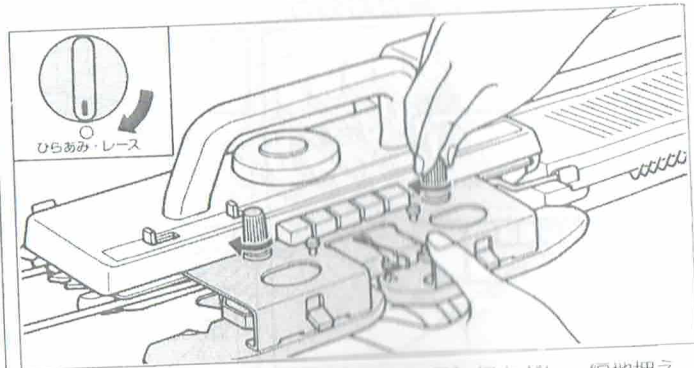
■平編の場合



1 地糸口から編糸をはずし、編地押えつまみをゆるめて編地押えをはずします。
編糸がハケ車、ゴム車にからんでいたらはずします。

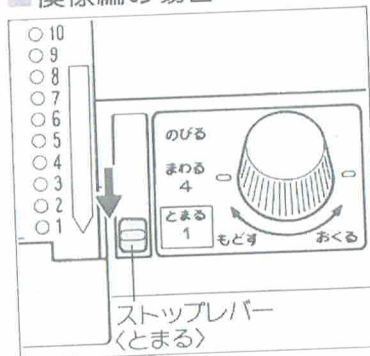


2 選針切替つまみを〈キャリジはずし〉にセットし、Kキャリジを手前に持ち上げてミノ板からはずします。

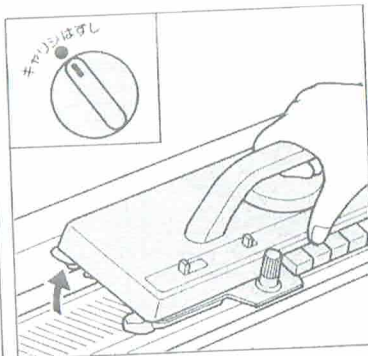


3 選針切替つまみを〈ひらあみ・レース〉にもどし、編地押えを取り付けて、進入側のミノ板の端からKキャリジをはめます。

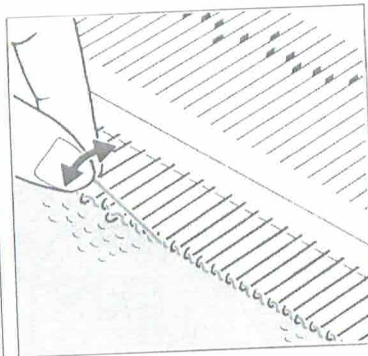
■模様編の場合



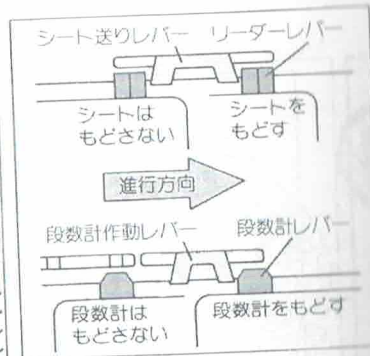
1 ストップレバーを〈とまる〉にします。



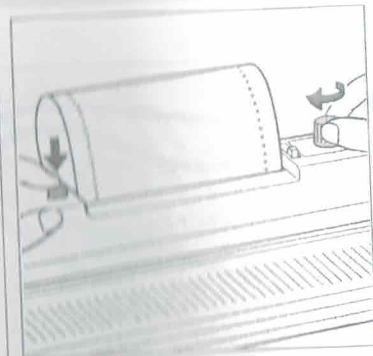
2 編糸・編地押え・Kキャリジをはずします。
※編針が沈んだままになっているときには、カード送りボタンを押すと自動的に浮き上がります。



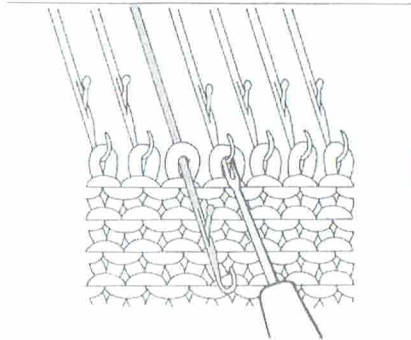
3 平編の場合の2~5を参照して、不ぞろいになった編針をB位置にそろえ編糸をほどこします。
※間欠送り模様の場合は奇数段ほどこします。



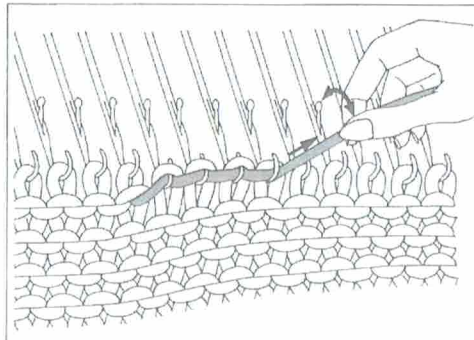
4 編地をほどこした段数だけ、ニットリーダー、段数計をもどします。



5 編地をほどこした段数だけパンチカードをもどします。
※間欠送り模様の場合は右表のようにもどします。



1 ベラの向こう側にある編目をウツシを使ってフックの中にもどし、編針をB位置にそろえます。



5 途中まで編んだ編糸を、クシバの線と平行に引いて編目を引きしぼり、前後に振りながらフックからはずすようにほどこきます。前の段の編目はフックにかかります。

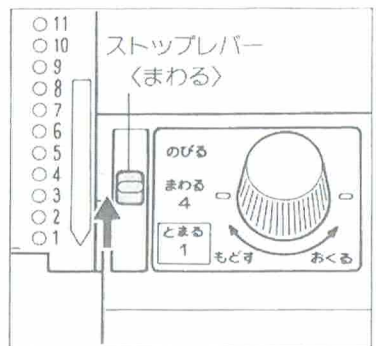
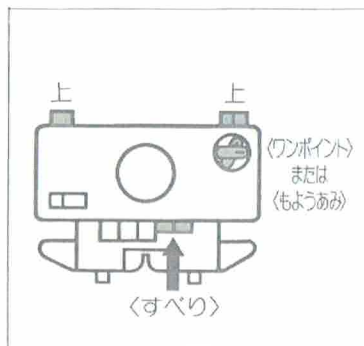
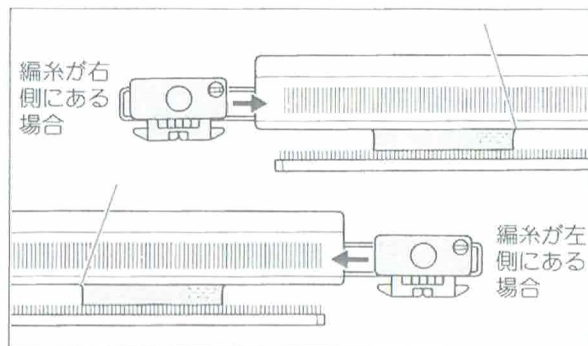
●ニットリーダーを使っている場合
シート送りダイヤルを右に回してシートをもどします。

6 ほどこいた段数だけニットリーダー、段数計をもどし、糸のたるみを直してから編み始めます。

●段数計を使っている場合
訂正したい桁の段数計ツマミを回して訂正します。

※途中まで編んだ時点で、シートや段数計が送られていないときはもどす必要はありません。

編地を どいた段数	パンチカードをもどす段数	
	編糸が左側にある場合	編糸が右側にある場合
1	0	1
3	1	2
5	2	3
7	3	4
...



間欠送り模様の際のパンチカードをもどす段数早目表

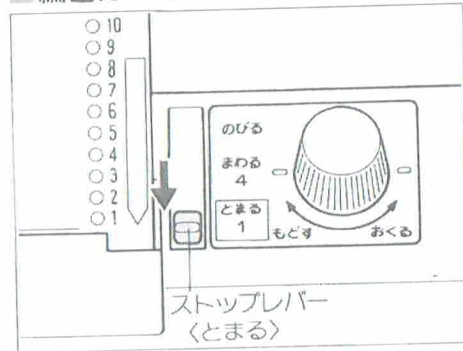
6 選針切替ツマミをくもようあみまたはくワンポイントに合わせ編糸の出ている反対側のミノ板の端からKキャリジをはめます。

7 リーダーレバー、段数計レバーを上げ、カムボタンのくすべりを左右を押して、Kキャリジを編糸のある側へ動かして選針します。

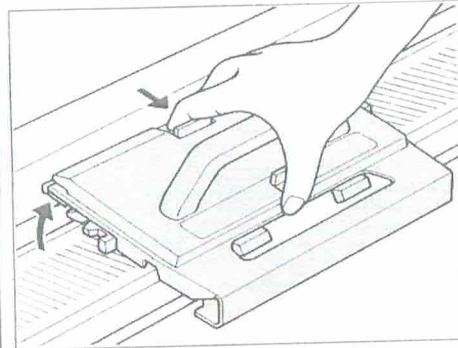
8 糸口に編糸を通し、ストップレバーをくまわるにしてKキャリジを各模様編の状態に直します。リーダーレバー、段数計レバーを下げて編み始めます。

編んでいる途中でLキャリジが動かなくなったときには

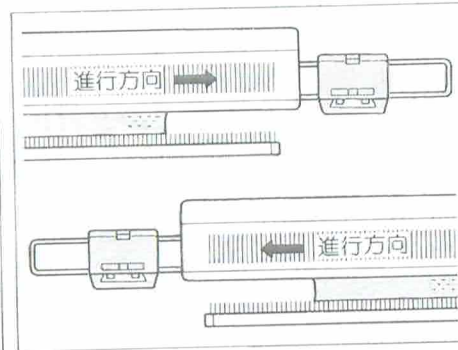
■ 編目がおちていない場合



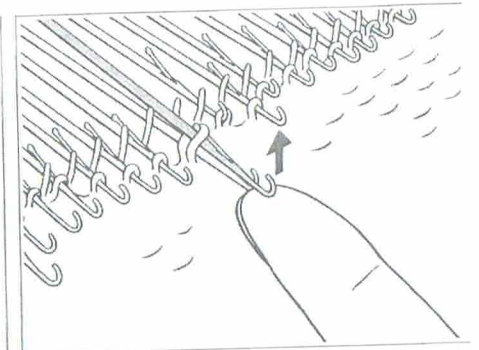
1 ストップレバーを「とまる」に合わせます。



2 Lキャリジのはずしボタンを手前に引きながら、ミソ板からはずします。
* 編針が引っかかっているときは、よく見て無理のないようにはずします。

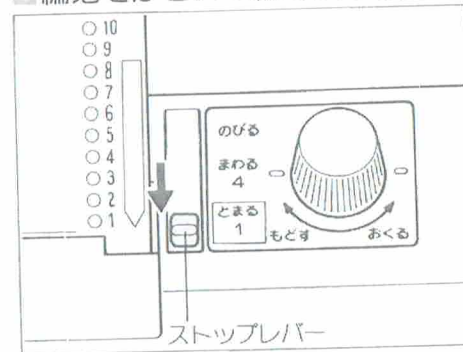


3 はずしボタンを手前に引きながら、進行方向側の補助レールにLキャリジをのせます。

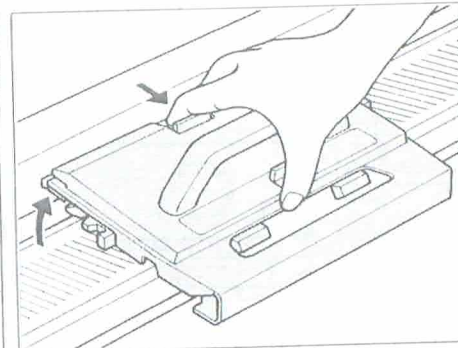


4 2本重っている編針があったら、針先を指で持ち上げてはずします。

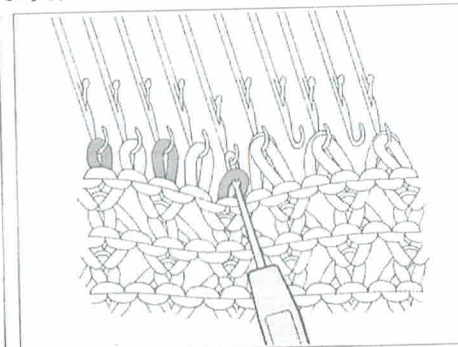
■ 編地をほどいて編み直す場合 (いったんCマークの部分までもどり、編み直します。)



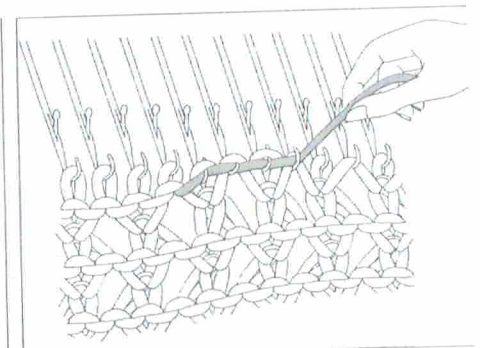
1 ストップレバーを「とまる」に合わせます。



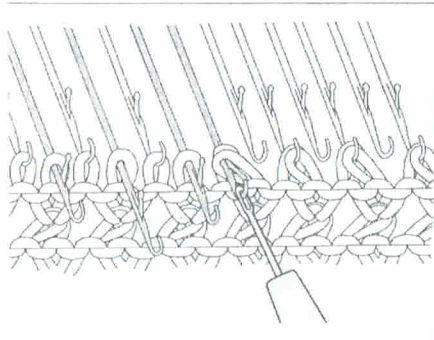
2 Lキャリジのはずしボタンを手前に引きながらミソ板からはずし、左の補助レールにのせます。



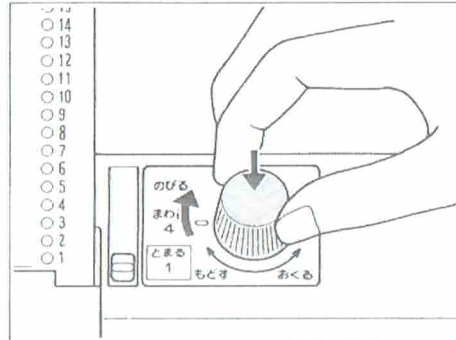
3 ウツシを使って移った編目をもとの編針にもどし、平編の状態にしてB位置にそろえます。



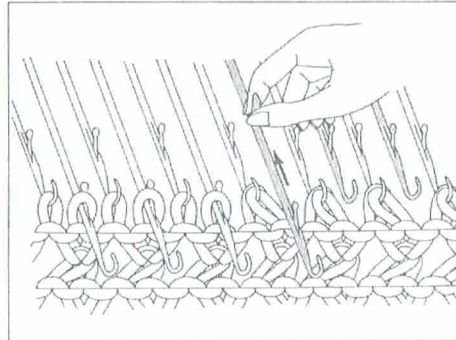
4 編目を2段ほどきます。



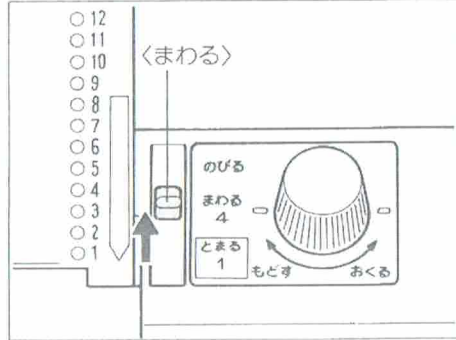
ベラの向こう側にある編目をウツシを使ってフックにもどし、選針されている編針をB位置にもどしてそろえます。



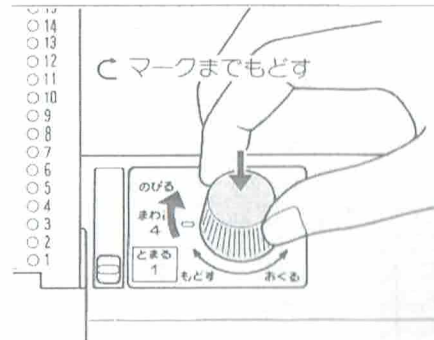
6 カード送りつまみを「もどす」方向に回し、パンチカードを1段もどします。



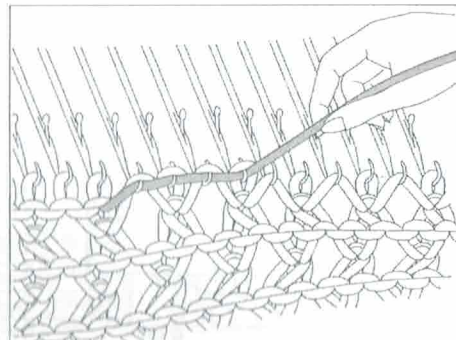
7 Lキャリジを反対側へ1回操作し、選針された編針のうち、編目がとなりに移っている編針をB位置にもどします。



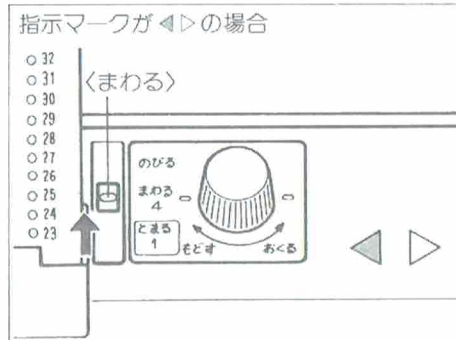
8 ストップレバーを「くまわる」に合わせ、Lキャリジをパンチカードの矢印に従って操作します。



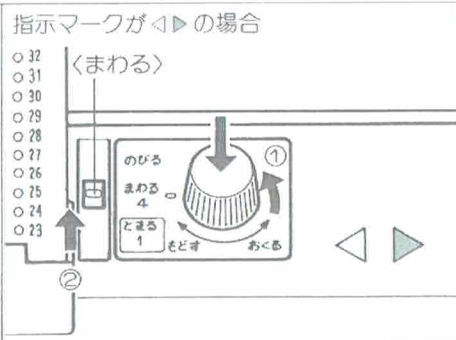
パンチカードを1つ前のCマークまでもどします。
段数計、ニットリーダーは2段もどします。



6 ③～⑤を繰り返してほめていきます。



7 指示マークが◀▶の場合
ストップレバーを「くまわる」に合わせ、Kキャリジで2段編み、パンチカードの矢印に従ってキャリジを操作し編んでいきます。

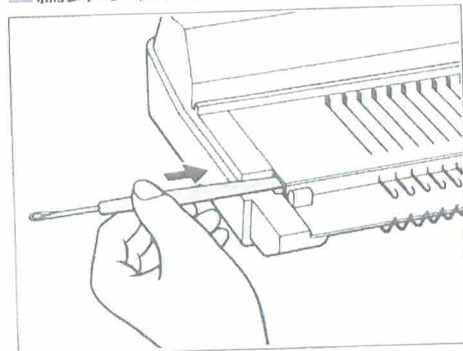


指示マークが◀▶の場合
カード送りつまみでパンチカードを1段送ってから、ストップレバーを「くまわる」に合わせ、Kキャリジで2段編み、パンチカードに従ってキャリジを操作し編んでいきます。

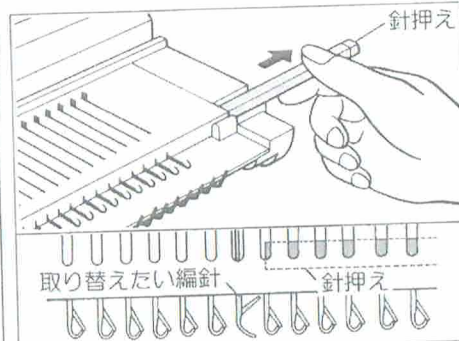
編針が曲がったときには

●編針が曲がっていたり、折れたり、また傷がついたりしていると、さまざまなトラブルの原因となりますので次の順序で編針を取り替えてください。

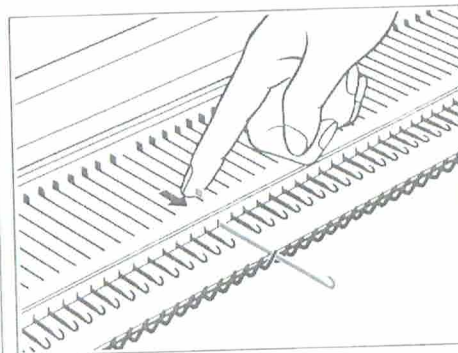
■ 編針の取り替え方



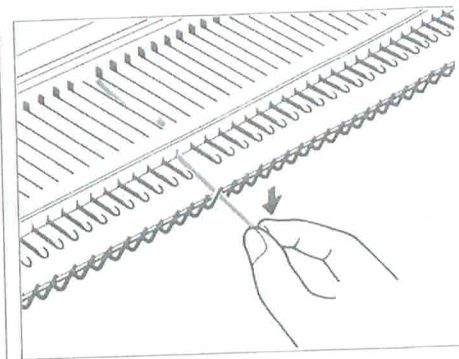
1 針押えを、タッピの柄を使って押し出します。



2 針押えの端が、取り替えたい編針を通り過ぎるところまで引き抜きます。



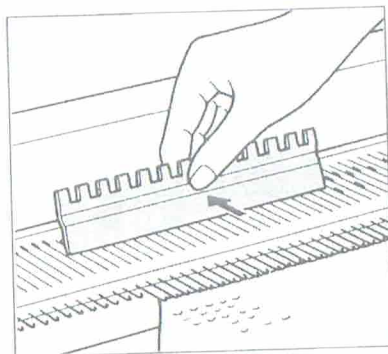
3 編針をE位置まで出します。



4 編針のフック部分を押し下げ、シャックルをミソ板の上へ出します。

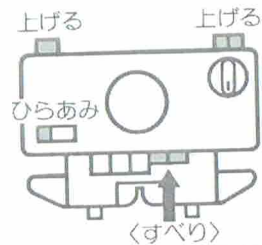
Kキャリジをカラ送りするには

●Kキャリジを、ミソ板に取り付けたまま編まずに移動することができます。



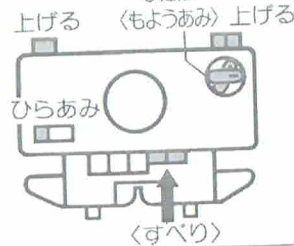
1 編目がベラの向う側にある場合はフックにもどしてから、E位置以外の編針をB位置へもどします。

●編針がすべてB位置にあるとき

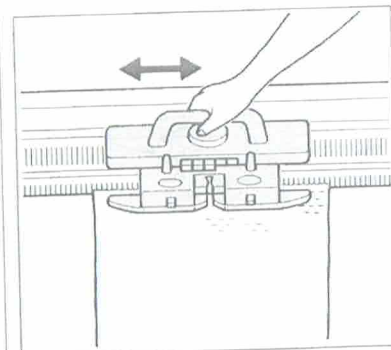
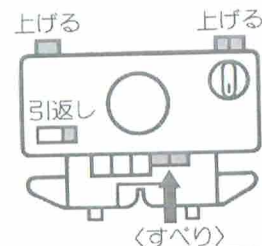


2 それぞれの場合によってKキャリジをセットします。

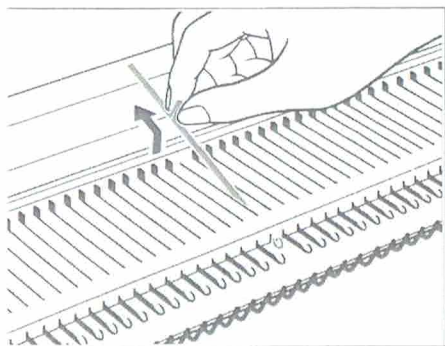
●選針しながらカラ送りするとき
(ワンポイント) または
(もようあみ) 上げる



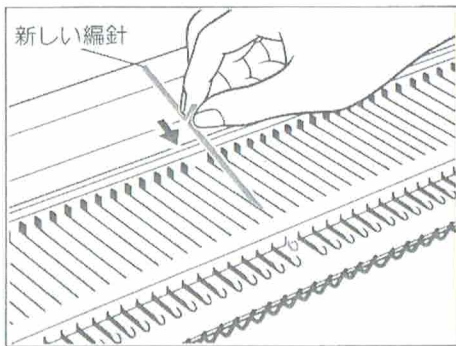
●編針がB位置とE位置にあるとき



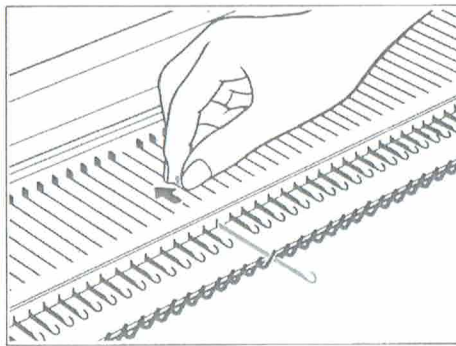
3 Kキャリジを動かしカラ送りします。



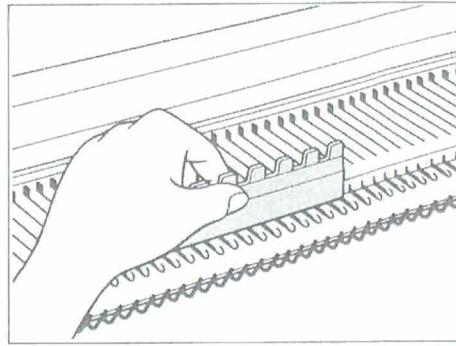
5 編針をつまんで、後へ引き抜きます。



6 新しい編針のペラを開いてミソ板の中に入れ、そのままE位置まで差し込みます。



7 編針をミソ板の中に押し下げ、そのままA位置にもどします。

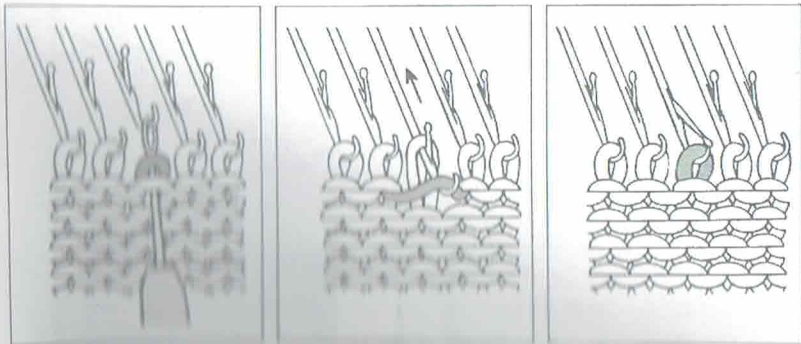


8 フック部分が浮き上がっている編針を、模様板を使って編針の先を押さえ、針押えを押し込みます。

編目がおちてしまったときには (編目の拾い方)

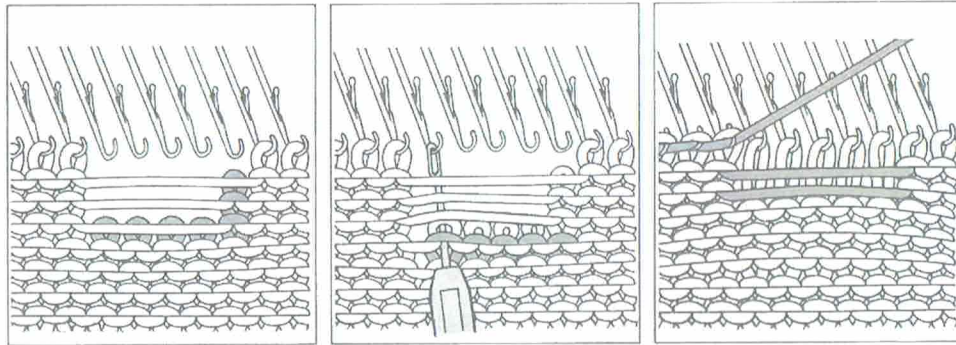
●ウツシを使って編目を拾っていきます。

■おちた目が少ない場合



おちた編目のすぐ下の編目を拾い上げ、編針にかけて編目を作り直します。

■おちた目が多い場合

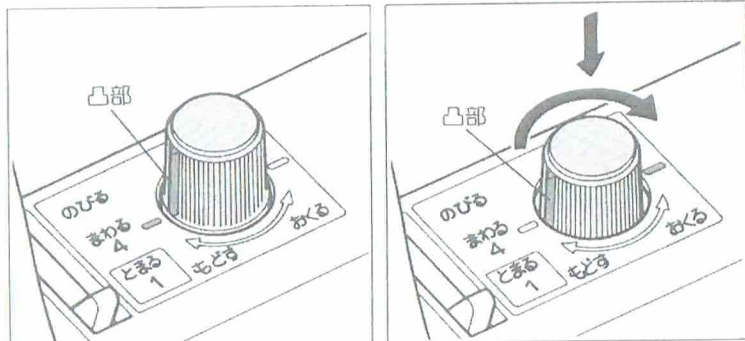


1 おちた部分から2~3段下の編目を拾って編針にかけます。

2 拾った編目の段まで編地をほどき、正しい状態にもどします。

お手入れ

■正しく選針されているかどうか確認したいときには



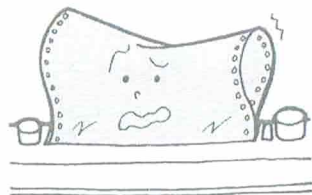
1 カード送りつまみを押さずに回し、凸部を表示板の一印に合わせます。

2 送りつまみをいっぱい押し下げ、〈もどす〉方向に180°回して、反対側の一印に合わせるとカードは7段もどり、現在編んでいる段の様穴がカード差込口に現われます。

■編針がまちがって選針されていた場合

次のような原因が考えられます。

- パンチカードが正しく入っていないとき



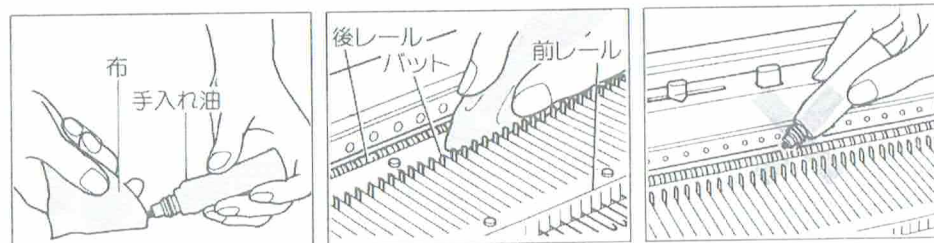
カードが斜めに入っていたら、まっすぐに入れ直します。

- 編針が曲がっているとき



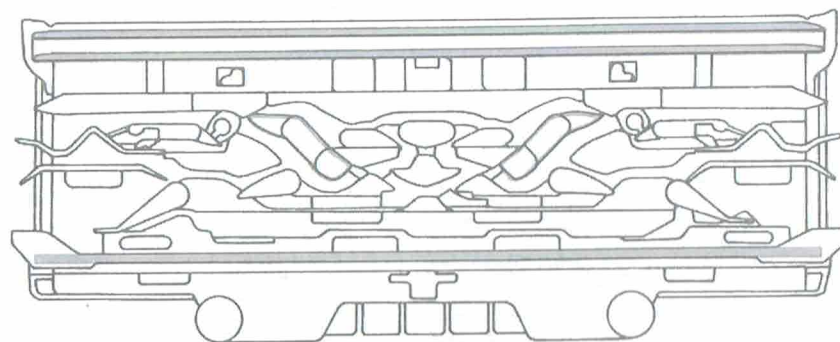
まちがって選針されている編針をE位置まで出し、曲がっていたら取り替えます。
(73~74ページ参照)

- Kキャリジ・Lキャリジを本体からはずし、手帕や布でほこりやゴミを取り除いてください。
- 金属部分は付属の手入れ油をしみ込ませた布で、プラスチック部分は中性洗剤などをしみ込ませた布でふいてください。
- シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリンなどを使用しないでください。



ミゾ板の部分は、編針をB位置にそろえ、後レール・前レール・編針のバットを付属の手入れ油をしみ込ませた布でふきます。

編機へ直接注油しないでください。



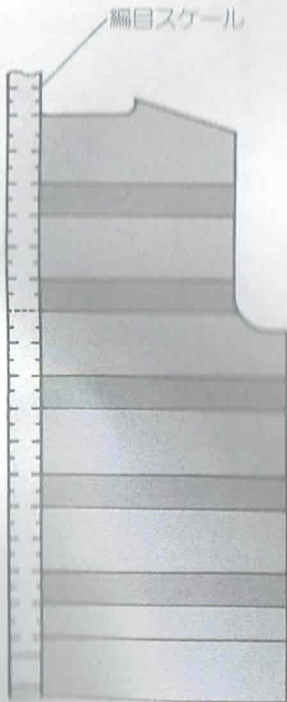
Kキャリジの裏側は上図の一部分に沿って、手入れ油をしみ込ませた布でふきます。Kキャリジの操作が重いときもふいてください。

編機を長く保存しておいて再び使用するときは、油をしみ込ませた布でよくふき取り、古い毛糸で20~30段平編を編んでからご使用ください。古い油が取れ、作品をよごしません。

編目スケールを段方向(段数)に使うときの早見表

●編目スケールの選び方

60段の編目スケールの長さから、右表をご覧いただき、編目スケールを選びます。例えば、段編模様を編むとき、60段の長さが11.8(118mm)の場合、右表より118を探し、その横方向に対応する(赤17の156~158)の編目スケールを取り出し、段方向に当てて段縞の目盛を製図に書いてください。線に従って編糸を交換すればきれいな段縞模様ができます。



ゲージツマミを合わせた位置 (60段の長さ)		使用する編目スケール		ゲージツマミを合わせた位置 (60段の長さ)		使用する編目スケール		ゲージツマミを合わせた位置 (60段の長さ)		使用する編目スケール		ゲージツマミを合わせた位置 (60段の長さ)		使用する編目スケール		
色	番号	数字		色	番号	数字		色	番号	数字		色	番号	数字		
60 *	青	1	80~81	99 *	赤	17	156~158	138	青	4	92~93	174	黄	10	116~117	
61 *			80~81	100 *			156~158	139			92~93	175			116~117	
62 *			82~83	101 *	13	135~137	159~161	140			92~93	176			116~117	
63 *			84~85	102 *			159~161	141			94~95	177			118~119	
64 *		2	84~85	103 *			159~161	142			94~95	178			118~119	
65 *			86~87	104 *			153~155	143			94~95	179			118~119	
66 *			88~89	105 *			153~155	144			96~97	180			120~122	
67 *		3	88~89	106 *			153~155	145			96~97	181			120~122	
68 *			90~91	107 *			153~155	146	黄緑	5	96~97	182			120~122	
69 *			92~93	108 *			153~155	147			98~99	183			120~122	
70 *		4	92~93	109 *			153~155	148			98~99	184		11	123~125	
71 *			94~95	110 *			153~155	149			98~99	185			123~125	
72 *	黄緑	5	96~97	111 *			153~155	150			100~101	186			123~125	
73 *			96~97	112 *			153~155	151			100~101	187			123~125	
74 *			98~99	113 *			153~155	152			100~101	188			123~125	
75 *			100~101	114 *		16	153~155	153		6	102~103	189			126~128	
76 *			100~101	115 *			153~155	154			102~103	190			126~128	
77 *		6	102~103	116 *			153~155	155			102~103	191			126~128	
78 *			104~105	117 *			153~155	156			104~105	192			126~128	
79 *			104~105	118 *	赤	17	156~158	157			104~105	193		12	129~131	
80 *			106~107	119 *			156~158	158			104~105	194			129~131	
81 *			108~109	120 *			156~158	159		7	106~107	195			129~131	
82 *			108~109				156~158	160			106~107	196			129~131	
83 *		8	110~111				156~158	161			106~107	197			129~131	
84 *			112~113	121			80~81	162			108~109	198			132~134	
85 *	黄	9	112~113	122			80~81	163			108~109	199			132~134	
86 *			112~113	123	青	1	82~83	164			108~109	200			132~134	
87 *			114~115	124			82~83	165			110~111	201			132~134	
88 *			116~117	125			82~83	166			110~111	202			135~137	
89 *			116~117	126			84~85	167			110~111	203			135~137	
90 *			118~119	127			84~85				112~113	204			135~137	
91 *			120~121	128			84~85				112~113	205			135~137	
92 *			120~122	129		2	86~87				112~113	206			135~137	
93 *			120~122	130			86~87				114~115	207			138~140	
94 *			123~125	131			86~87			黄	9	114~115	208		14	138~140
95 *			123~125	132			88~89				114~115	209			138~140	
96 *			126~128	133			88~89				114~115				138~140	
97 *			126~128	134			88~89								138~140	
98 *			126~128	135		3	90~91								138~140	
99 *			129~131	136			90~91								138~140	
100 *			129~131	137			90~91								138~140	

※ *印の場合は60段の内、1段の長さが編目スケールの1目盛分に足りないため、編目スケールの1目盛を2段と読みます。

※この表は、中心基準・左右基準の編目スケールを共用できます。

●アフターサービスについて

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください。) それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこの編機の補修用性能部品を、お買い上げ日から最低5年保有しています。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

北海道支店	〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL:(011) 261-6631
東北支店	〒980 仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022) 227-8877
関越支店	〒330 大宮市仲町1-124-2	TEL:(048) 642-1271
東京支社	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	TEL:(03) 273-0231
中部支店	〒467 名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL:(052) 824-3192
関西支店	〒542 大阪市中央区心斎橋筋1-2-19	TEL:(06) 252-1797
中国支店	〒730 広島市中区胡町4-28	TEL:(082) 240-3762
四国支店	〒760 高松市寿町1-1-5	TEL:(0878) 51-7341
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	TEL:(092) 431-6561
沖縄出張所	〒900 那覇市泊3-1-2	TEL:(0988) 68-4511

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467
TEL:(052)824-2511(代表)

取扱店